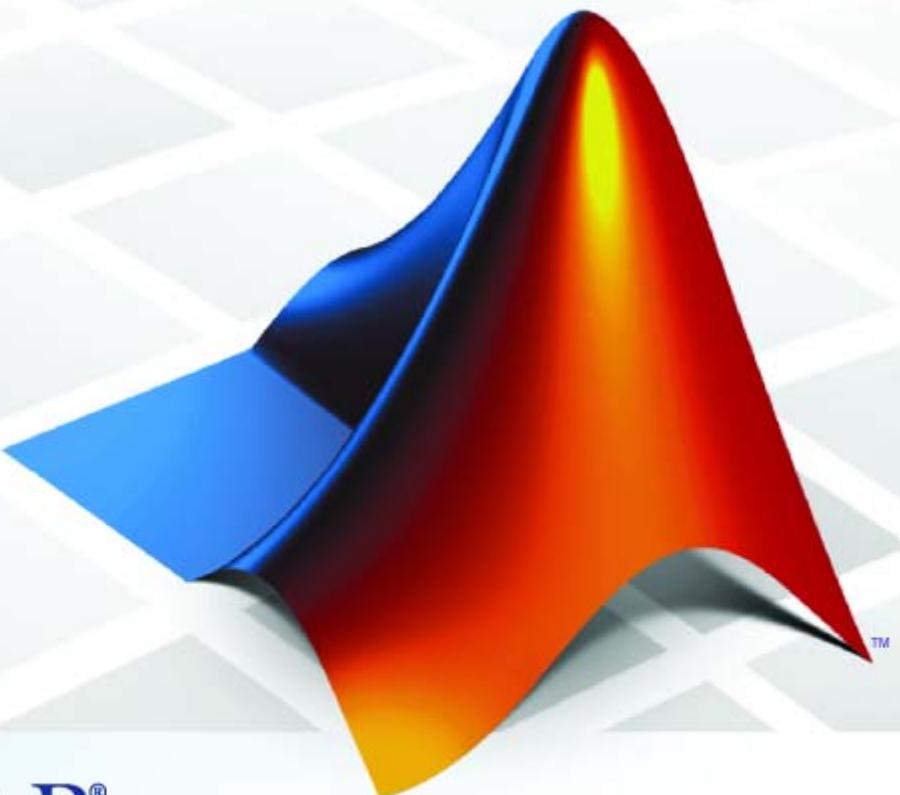


# MATLAB® および Simulink® リリース 2010a インストール ガイド Windows® 版



# MATLAB®

## How to Contact The MathWorks



[www.mathworks.com](http://www.mathworks.com)  
[comp.soft-sys.matlab](mailto:comp.soft-sys.matlab)  
[www.mathworks.com/contact\\_TS.html](http://www.mathworks.com/contact_TS.html)

Web  
Newsgroup  
Technical Support

Product enhancement suggestions  
Bug reports  
Documentation error reports  
Order status, license renewals, passcodes  
Sales, pricing, and general information



[suggest@mathworks.com](mailto:suggest@mathworks.com)  
[bugs@mathworks.com](mailto:bugs@mathworks.com)  
[doc@mathworks.com](mailto:doc@mathworks.com)  
[service@mathworks.com](mailto:service@mathworks.com)  
[info@mathworks.com](mailto:info@mathworks.com)



508-647-7000 (Phone)



508-647-7001 (Fax)



The MathWorks, Inc.  
3 Apple Hill Drive  
Natick, MA 01760-2098

For contact information about worldwide offices, see the MathWorks Web site.

インストール ガイド Windows® 版

© COPYRIGHT 1996–2010 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

**FEDERAL ACQUISITION:** This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by, for, or through the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program or Documentation, the government hereby agrees that this software or documentation qualifies as commercial computer software or commercial computer software documentation as such terms are used or defined in FAR 12.212, DFARS Part 227.72, and DFARS 252.227-7014. Accordingly, the terms and conditions of this Agreement and only those rights specified in this Agreement, shall pertain to and govern the use, modification, reproduction, release, performance, display, and disclosure of the Program and Documentation by the federal government (or other entity acquiring for or through the federal government) and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this License fails to meet the government's needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to The MathWorks, Inc.

### Trademarks

MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See [www.mathworks.com/trademarks](http://www.mathworks.com/trademarks) for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

### Patents

The MathWorks products are protected by one or more U.S. patents. Please see [www.mathworks.com/patents](http://www.mathworks.com/patents) for more information.

#### Revision History

1996 年 12 月	初版	MATLAB 5.0 新版 (リリース 8)
1997 年 5 月	第 2 版	MATLAB 5.1 改定版 (リリース 9)
1998 年 3 月	第 3 版	MATLAB 5.2 改定版 (リリース 10)
1999 年 1 月	第 4 版	MATLAB 5.3 改定版 (リリース 11)
1999 年 11 月	第 5 版	MATLAB 5.3.1 改定版 (リリース 11.1)
2000 年 11 月	第 6 版	MATLAB 6.0 改定版 (リリース 12)
2001 年 6 月	第 7 版	MATLAB 6.1 改定版 (リリース 12.1)
2002 年 7 月	第 8 版	MATLAB 6.5 改訂版 (リリース 13)『インストール ガイド Windows 版』と名称変更
2004 年 6 月	第 9 版	MATLAB 7.0 改定版 (リリース 14)
2004 年 10 月	第 10 版	MATLAB 7.0.1 改定版 (リリース 14SP1)
2005 年 3 月	第 11 版	MATLAB 7.0.4 改定版 (リリース 14SP2)
2005 年 9 月	第 12 版	MATLAB 7.1 改定版 (リリース 14SP3)
2006 年 3 月	第 13 版	MATLAB 7.2 改訂版 (リリース 2006a)
2006 年 9 月	第 14 版	MATLAB 7.3 改定版 (リリース 2006b)
2007 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.4 改訂版 (リリース 2007a)
2007 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 7.5 改訂版 (リリース 2007b)
2008 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.6 改訂版 (リリース 2008a)
2008 年 10 月	オンラインのみ	MATLAB 7.7 改訂版 (リリース 2008b)
2009 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.8 改訂版 (リリース 2009a)
2009 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 7.9 改訂版 (リリース 2009b)
2010 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.10 改訂版 (リリース 2010a)



## 標準インストールとアクティベーションの手順

### 1

スタンドアロン環境での MathWorks ソフトウェアのインストール .....	1-2
ステップ 1: インストールの準備 .....	1-2
ステップ 2: インストーラーの起動 .....	1-4
ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認 .....	1-6
ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン .....	1-7
ステップ 5: インストールするライセンスの選択 .....	1-9
ステップ 6: インストール タイプの選択 .....	1-12
ステップ 7: インストール フォルダーの指定 .....	1-13
ステップ 8: インストールする製品の指定(カスタム インストールのみ) .....	1-14
ステップ 9: インストール オプションの選択(カスタム インストールのみ) .....	1-16
ステップ 10: 選択内容の確認 .....	1-18
ステップ 11: インストールの完了 .....	1-19
 インストールのアクティベーション .....	1-21
ステップ 1: アクティベーション アプリケーションの起動 .....	1-21
ステップ 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択 .....	1-21
ステップ 3: MathWorks アカウントへのログイン .....	1-24
ステップ 4: アクティベートするライセンスの選択 .....	1-26
ステップ 5: アクティベーション タイプの選択 .....	1-28
ステップ 6: ユーザー名の指定 .....	1-29
ステップ 7: アクティベーション情報の確認 .....	1-30
ステップ 8: アクティベーションの完了 .....	1-31
 インターネット接続なしのインストールとアクティベーション .....	1-33
ステップ 1: インストールの準備 .....	1-33
ステップ 2: インストーラーの起動 .....	1-34
ステップ 3: ライセンス許諾書の確認 .....	1-35
ステップ 4: ファイル インストール キーの指定 .....	1-36
ステップ 5: インストール タイプの選択 .....	1-38
ステップ 6: インストール フォルダーの指定 .....	1-39
ステップ 7: インストールする製品の指定(カスタム インストールのみ) .....	1-40

ステップ 8: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ) .....	1-41
ステップ 9: 選択内容の確認とファイルのコピーの開始 .....	1-43
ステップ 10: インストールの完了 .....	1-44
ステップ 11: インストールのアクティベーション .....	1-45
ステップ 12: ライセンス ファイルのパスの指定 .....	1-45
ステップ 13: アクティベーションの完了 .....	1-48
 インストールの完了後 .....	1-49
MATLAB ソフトウェアの起動 .....	1-49
ライセンスの更新 .....	1-49
初期の現在のフォルダーの設定 .....	1-50
MATLAB 環境オプションの設定 .....	1-50
MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース .....	1-50
 MATLAB のアンインストールとアクティベーションの停止 .....	1-52
MathWorks 製品のアンインストール .....	1-52
ライセンスのアクティベーションの停止 .....	1-54
アンインストール プログラムの非対話モードでの実行 .....	1-60
 システム要件 .....	1-62
Windows .....	1-62
ライセンス管理 .....	1-62

## ネットワークライセンス オプションのインストール 2

---

概要 .....	2-2
 サーバーへのライセンス マネージャーのインストール .....	2-3
ステップ 1: インストールの準備 .....	2-3
ステップ 2: インストーラーの起動 .....	2-4
ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認 .....	2-6
ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン .....	2-7
ステップ 5: インストールするライセンスの選択 .....	2-9
ステップ 6: カスタム インストールの選択 .....	2-11
ステップ 7: インストール フォルダーの指定 .....	2-11
ステップ 8: インストールする製品の指定 .....	2-12
ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定 .....	2-14

ステップ 10:ライセンス マネージャー サービスの設定 .....	2-15
ステップ 11:インストール オプションの指定 .....	2-16
ステップ 12:選択内容の確認 .....	2-18
ステップ 13:インストールの完了 .....	2-21
ステップ 14:製品とライセンス情報のクライアントへの提供 .....	2-21
クライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストー ル .....	2-23
ステップ 1:インストールの準備 .....	2-23
ステップ 2:インストーラーの起動 .....	2-24
ステップ 3:ソフトウェア ライセンス許諾書の確認 .....	2-25
ステップ 4:MathWorks アカウントへのログイン .....	2-26
ステップ 5:インストールするライセンスの選択 .....	2-28
ステップ 6:インストール タイプの指定 .....	2-30
ステップ 7:インストール フォルダーの指定 .....	2-31
ステップ 8:インストールする製品の指定 .....	2-31
ステップ 9:ライセンス ファイルの場所の指定 .....	2-33
ステップ 10:インストール オプションの選択 (カスタム インストー ルのみ) .....	2-34
ステップ 11:選択内容の確認 .....	2-36
ステップ 12:インストールの完了 .....	2-39
ネットワーク インストール後の作業 .....	2-40
ライセンス マネージャーの起動と停止 .....	2-40
ライセンス マネージャーの監視と管理 .....	2-40
ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可 .....	2-43
非対話モードのインストール (サイレント インストール) .....	2-45
非対話モードのインストールを使用する状況 .....	2-45
インストーラー初期化ファイルの使用 .....	2-45

## トラブルシューティング

### 3 |

インストール中の問題 .....	3-2
インストーラーが自動的に起動しない .....	3-2
アクティベーション オプションへのアクセス .....	3-2
製品の依存関係 .....	3-5

インストール後の問題 .....	3-6
ライセンス ファイルについて .....	3-6

# 標準インストールとアクティベーションの手順

---

このトピックでは、Microsoft® Windows® オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット) を搭載しているコンピューターに、MathWorks™ 製品をインストールし、アクティベートする方法を説明します。この手順は、インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをお持ちの場合に使用してください。ネットワーク ライセンス オプションの設定の詳細は、章 2, “ネットワーク ライセンス オプションのインストール”を参照してください。

- ・ “スタンダロン環境での MathWorks ソフトウェアのインストール” (p.1-2)
- ・ “インストールのアクティベーション” (p.1-21)
- ・ “インターネット接続なしのインストールとアクティベーション” (p.1-33)
- ・ “インストールの完了後” (p.1-49)
- ・ “MATLAB のアンインストールとアクティベーションの停止” (p.1-52)
- ・ “システム要件” (p.1-62)

## スタンドアロン環境での MathWorks ソフトウェアのインストール

このセクションの内容…

- “ステップ 1: インストールの準備” (p.1-2)
- “ステップ 2: インストーラーの起動” (p.1-4)
- “ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認” (p.1-6)
- “ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン” (p.1-7)
- “ステップ 5: インストールするライセンスの選択” (p.1-9)
- “ステップ 6: インストール タイプの選択” (p.1-12)
- “ステップ 7: インストール フォルダーの指定” (p.1-13)
- “ステップ 8: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)” (p.1-14)
- “ステップ 9: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)” (p.1-16)
- “ステップ 10: 選択内容の確認” (p.1-18)
- “ステップ 11: インストールの完了” (p.1-19)

### ステップ 1: インストールの準備

インストーラーを実行する前に、以下の準備を行います。

- ・ 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードをお手元にご用意ください。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。ユーザー アカウントに複数のライセンスが関連付けられている場合は、インストールするライセンス番号を確認しておきます。  
MathWorks アカウントをお持ちでない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。ただし、アクティベーション キーが必要です。アクティベーション キーは、ライセンスを識別する固有のコードで、ライセンスのアクティベーションを行うために使用します。アクティベーション キーを使用することで、LEU (ライセンスに関連付けられたエンド ユーザー) は MathWorks アカウントにライセンスに関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。
- ・ 実行中の既存の MATLAB® ソフトウェアを終了します。
- ・ 管理者権限を持つアカウントにログインします。

- インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネットセキュリティアプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。
- インストール中にインターネットに接続できない場合は、“インターネット接続なしのインストールとアクティベーション”(p.1-33)を参照してください。
- ネットワークサーバーまたはクライアントへのインストールを行う場合は、章2 “ネットワークライセンスオプションのインストール”を参照してください。

### 既存のインストールをアップグレードする場合

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいインストールフォルダーに新しいバージョンをインストールすることをお勧めします。これは、プレリリースバージョンのソフトウェアのインストールをアップグレードする場合も同様です。このリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。各リリースは以前のリリースとは独立しており、同じシステムで複数のリリースを実行できます。

---

**メモ** 既にインストールされている以前のリリースの上書きを選択すると、インストールフォルダーにあるすべての製品が削除され、現在のライセンスに含まれる製品のみがインストールされます。これによって、製品間の互換性に関する問題を回避できます。たとえば、既存のインストールに 10 製品が含まれていても、現在のライセンスにこのうちの 9 製品しか含まれていない場合は、MATLAB のインストールは現在のライセンスに含まれる 9 つの製品のみとなります。

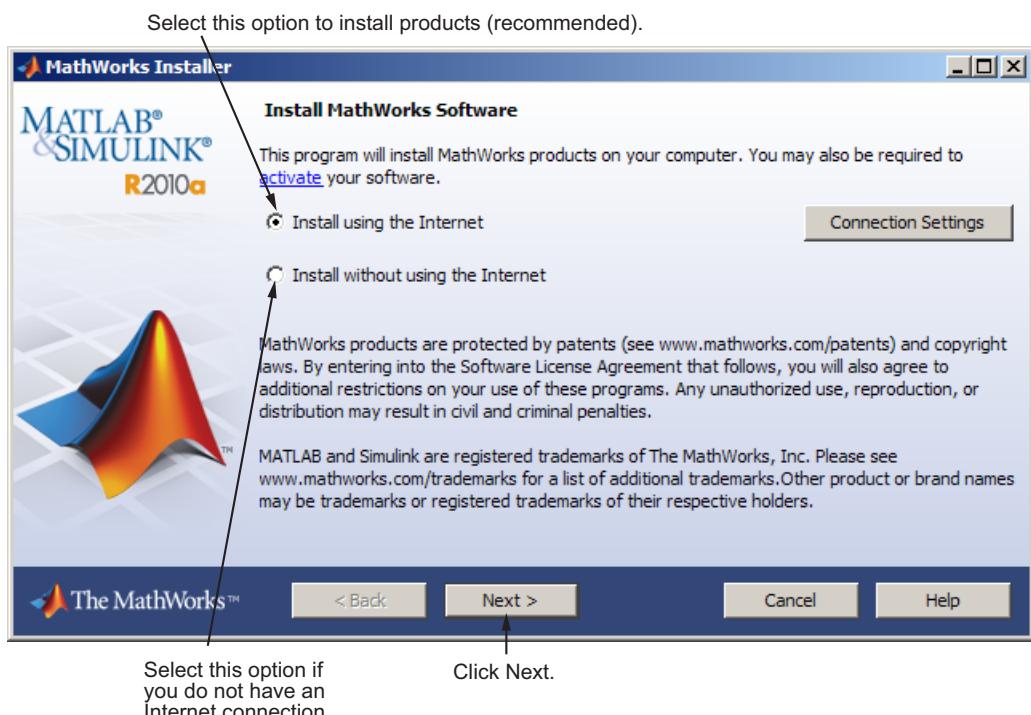
---

## ステップ 2: インストーラーの起動

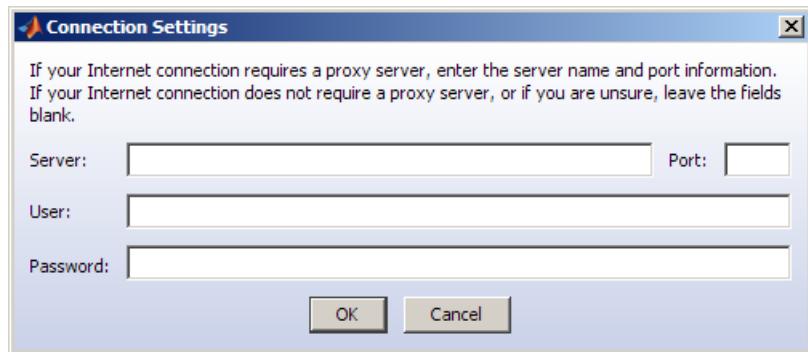
システムに接続された DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。

インターネットに接続している場合は、既定の [インターネットを使ってインストール] オプションを選択した状態のままで、[次へ] をクリックします。インストール中には、MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択して、インストーラーの他のダイアログ ボックスの指示に従って作業を進めます。これが、最も簡単なインストール方法です。

インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。



インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[接続設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名、ポート、パスワードを入力することができます。MathWorks では、基本認証、要約認証、NTLM 認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。



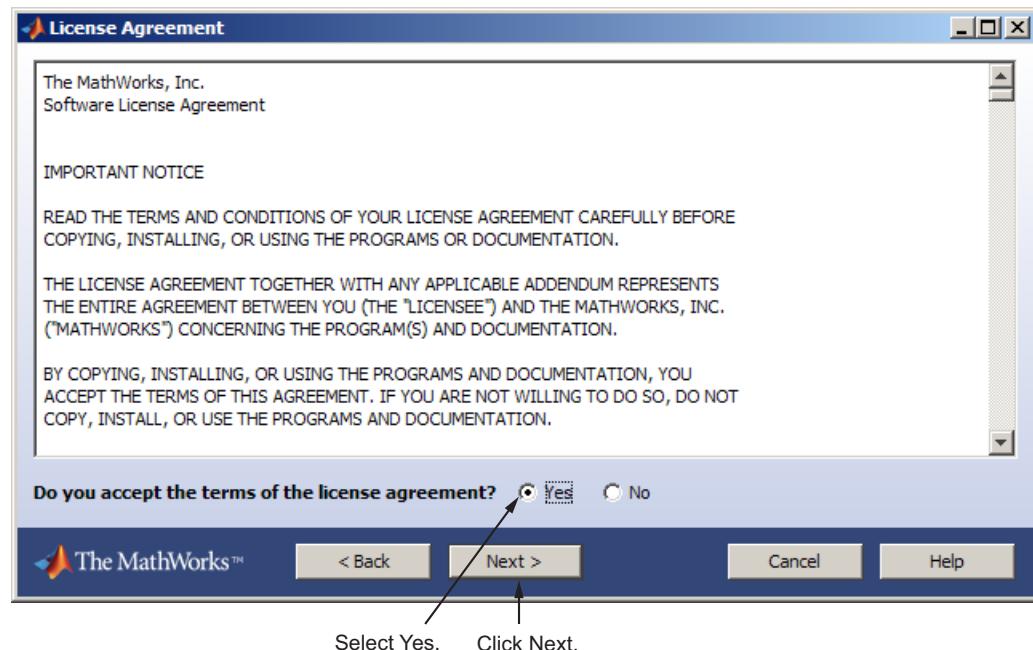
### 関連するトピック

インストール中にインターネットに接続できない場合は、“インターネット接続なしのインストールとアクティベーション”(p.1-33)を参照してください。

### ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェアライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

インストールの完了後は、インストール フォルダーのトップ レベルにある license.txt ファイルを使用して、ライセンス許諾書を表示または印刷することができます。



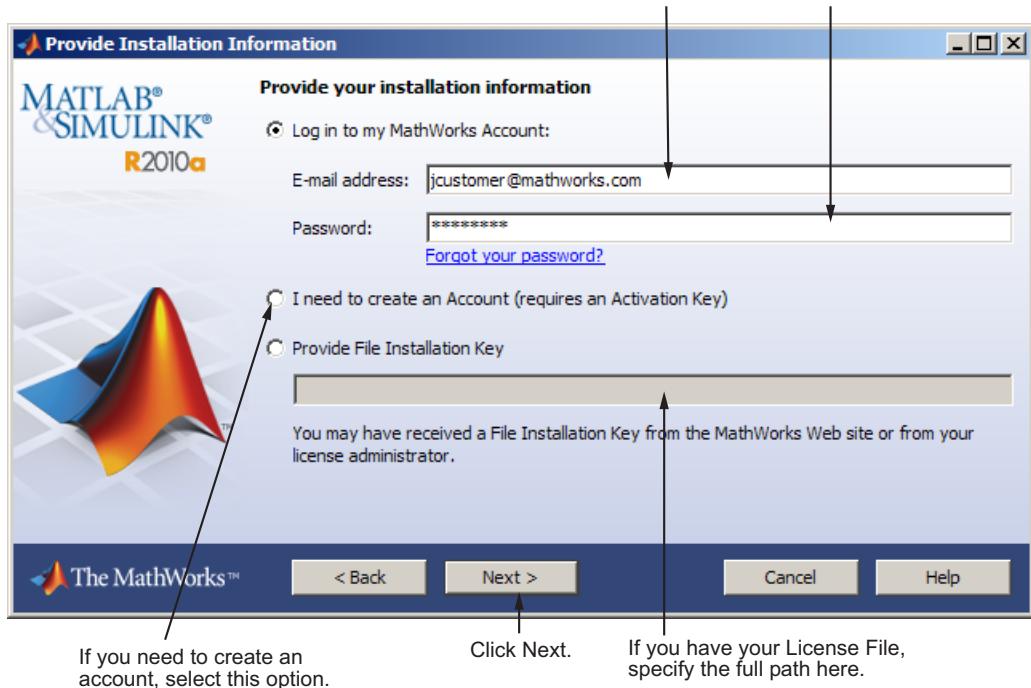
## ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントをおもちでない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータを入力することができます。

ファイル インストール キーをおもちの場合は、[ファイル インストール キーを提出] オプションを選択して、キーを入力します。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。

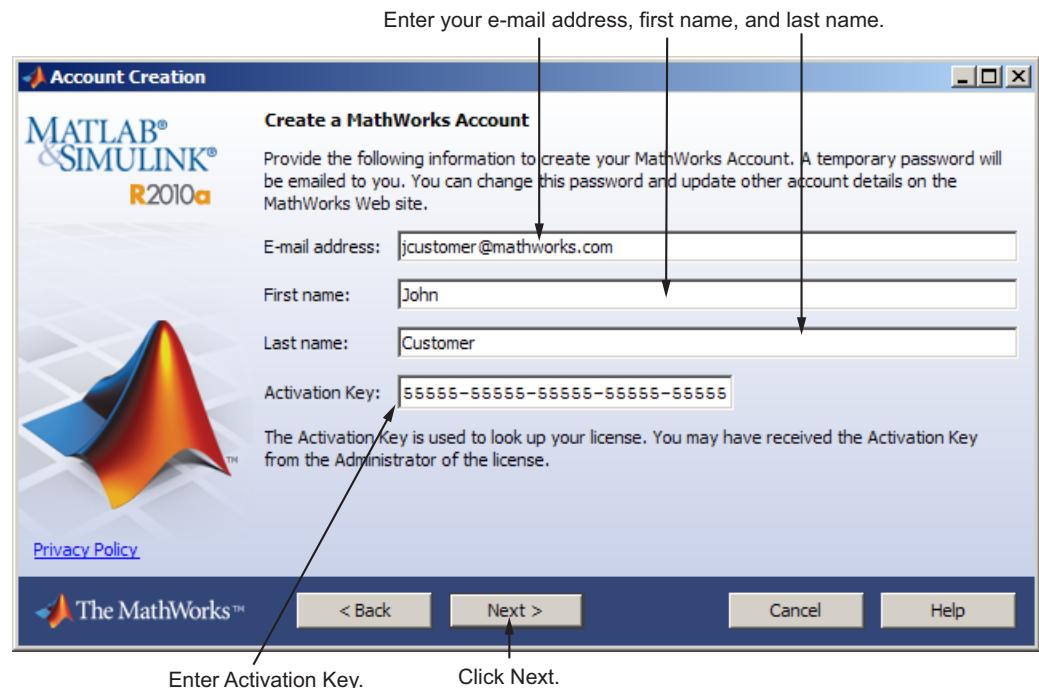
If you have an account, enter your e-mail address and password.



入力したファイル インストール キーによってインストールする製品が指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

## MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびアクティベーション キーを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーを入力しなければなりません。アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。



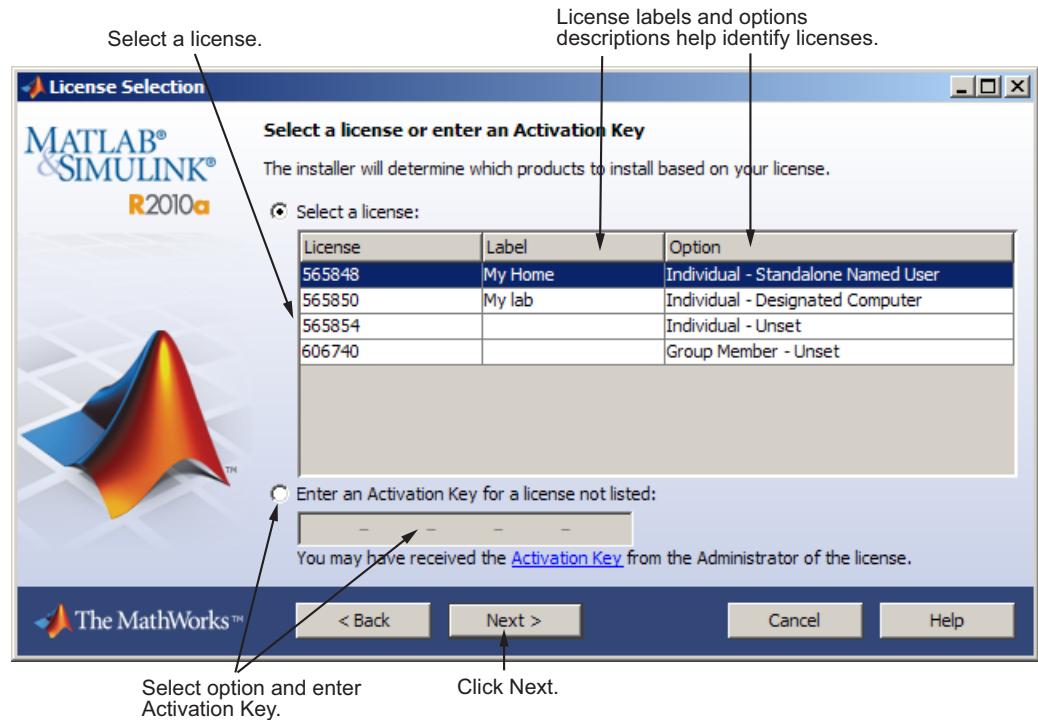
入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

## ステップ 5: インストールするライセンスの選択

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、次のようなライセンスに関する情報が含まれています。

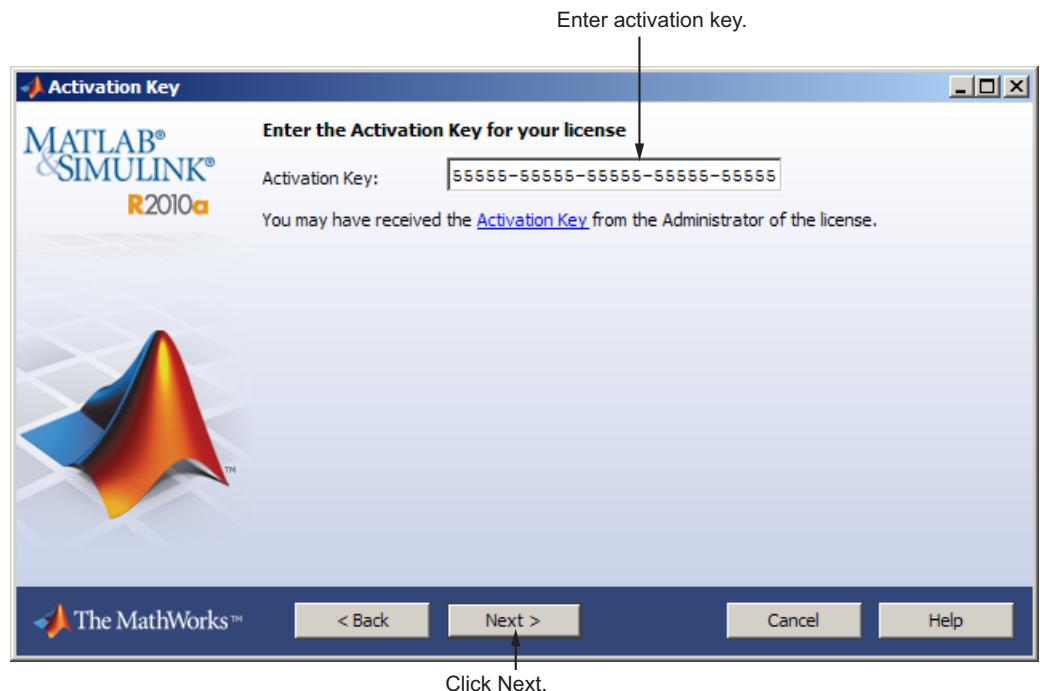
- ・ ライセンス番号
- ・ ライセンスの特定に役立つ、ライセンスの内容を説明するオプションのテキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンスセンターにアクセスします。詳細は、ライセンスセンターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを特定する情報。ライセンスでまだアクティベーション タイプが設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション キーはライセンスを識別する固有のコードで、ライセンスのアクティベーションを行うために使用します。またこのキーを使って、ライセンスを受けたエンドユーザーが MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。



### アクティベーション キーの指定

アカウントに関連付けられたライセンスがない、または、選択したライセンスでアクティベーションを行う権限が無効になっている場合、[アクティベーション キー] ダイアログ ボックスが表示されることがあります。アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション キーは、ライセンスに記載されているライセンス管理者から入手できます。

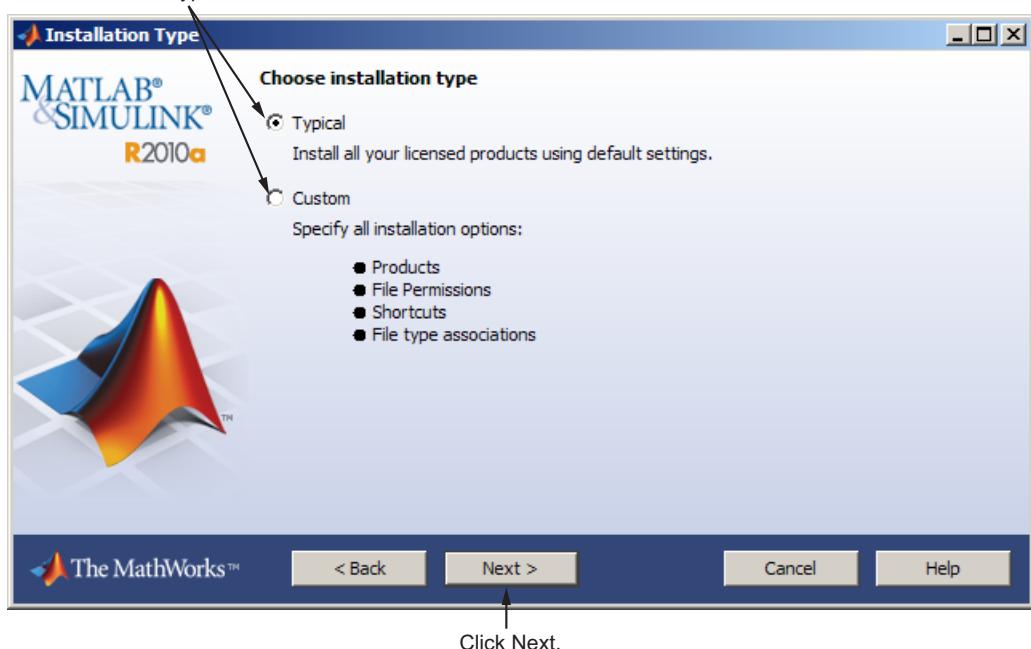


## ステップ 6: インストール タイプの選択

[インストール タイプ] ダイアログ ボックスで、標準インストール、またはカスタム インストールのいずれを実行するかを指定して、[次へ] をクリックします。

- インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちで、インストールする製品を指定する必要がなく、インストール オプションにアクセスする必要がない場合は、[標準] を選択します。
- インストールする製品の指定が必要な場合、インストール オプションへのアクセスが必要な場合、またはライセンス マネージャーのインストール（ネットワーク ライセンス オプションのみ）が必要な場合は、[カスタム] を選択します。

Select Typical or Custom.



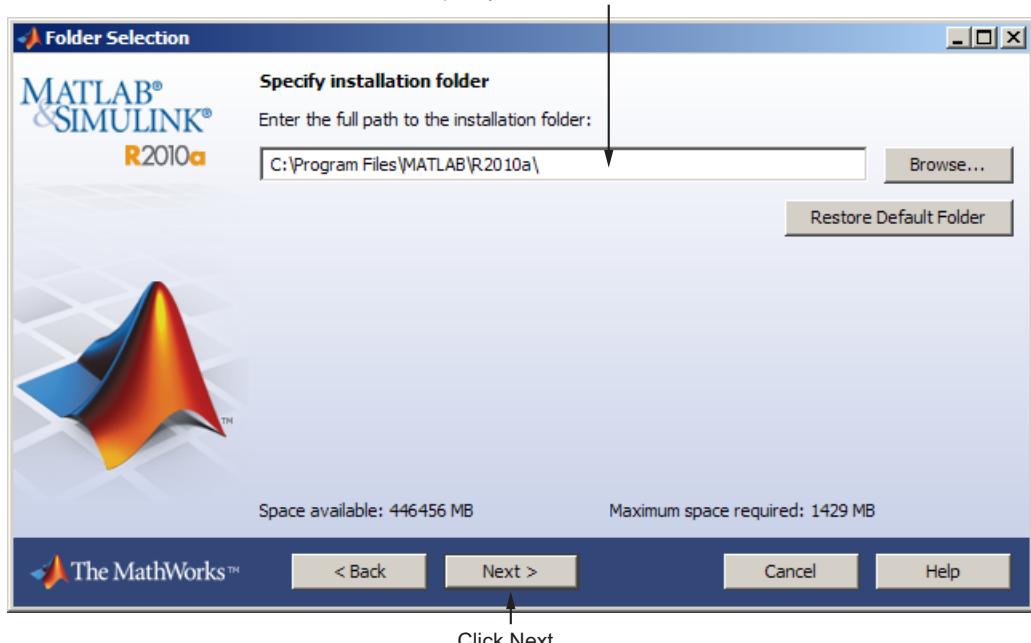
Click Next.

## ステップ 7: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使用するか、別のインストール フォルダーを指定できます。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダーネームには、アット記号 (@)、感嘆符 (!)、パーセント記号 (%)、プラス記号 (+)、およびドル記号 (\$) を使用することができません。また、インストール フォルダーの絶対パスに private という名前のフォルダーを含むことはできません。間違ったフォルダーネームを入力してしまった場合に、既定のフォルダーネームを使用してやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。インストールを続行するには [次へ] をクリックします。

Specify name of installation folder.

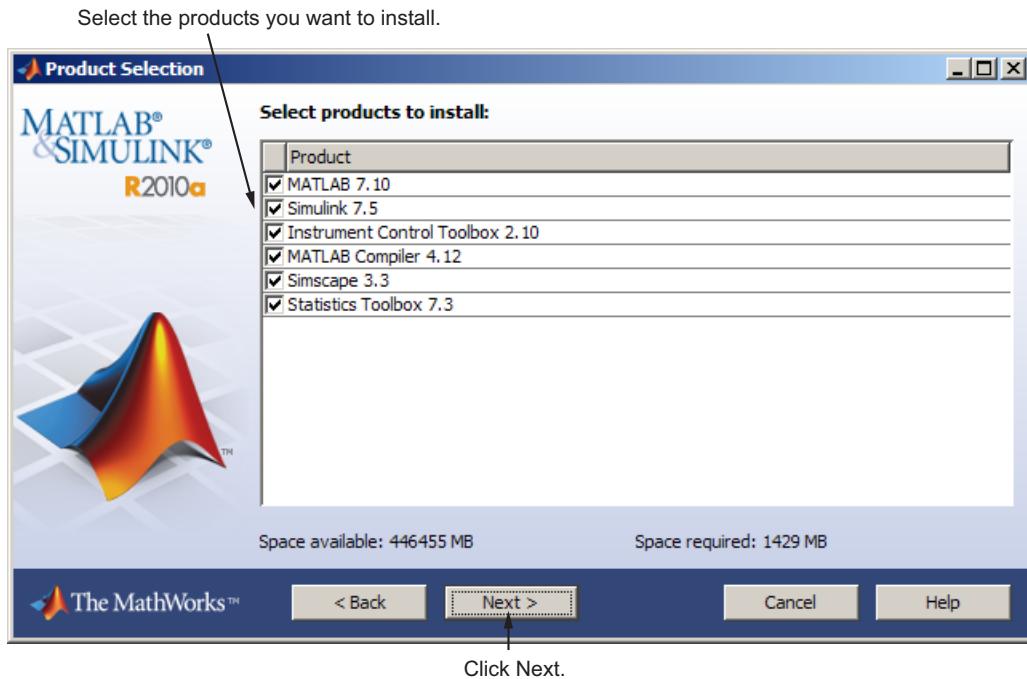


標準インストールを選択すると、インストーラーでは製品の選択とインストールオプションのステップが省略されます。

## ステップ 8: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールを行う場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスでインストールする製品を指定できます。このダイアログ ボックスには、選択したライセンス、または指定したアクティベーション キーに関連付けられているすべての製品が一覧表示されます。ダイアログ ボックスでは、すべての製品があらかじめ選択された状態になっています。インストールしない製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという旨の警告メッセージが表示されることがあります。選択した製品が、適切であるかを検討してください。

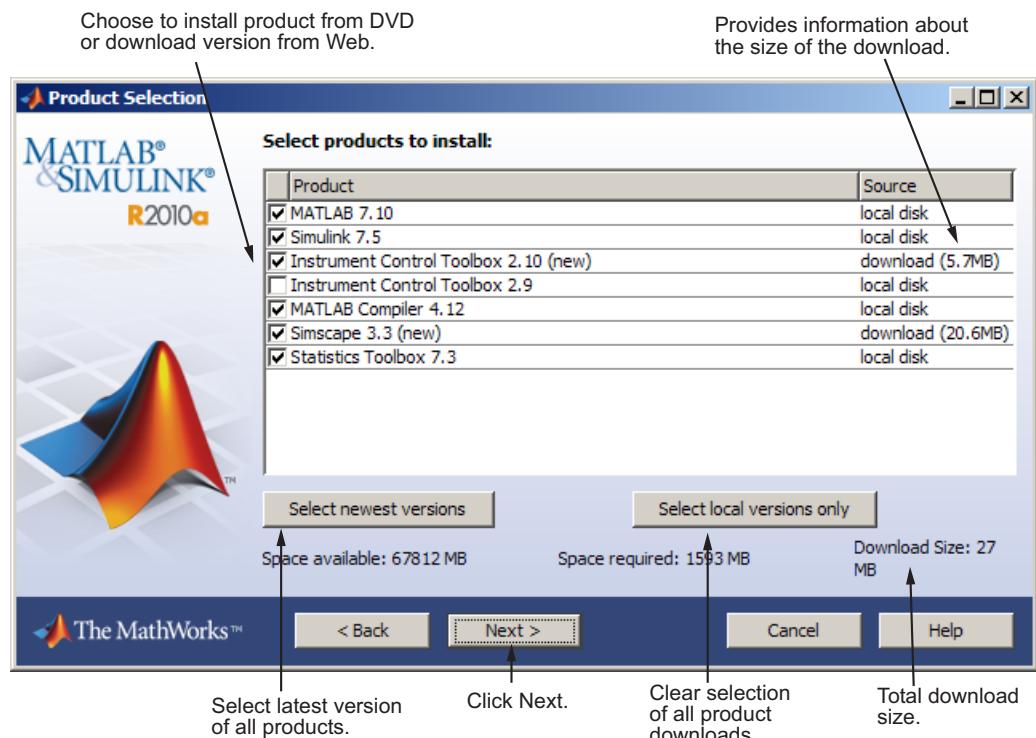


MathWorks の Web サイトで製品の新しいバージョンが利用可能かどうかを判別するようにインストーラーを設定した場合、インストーラーの製品一覧には両方のバージョンが表示されます。既定では、最新のバージョンがあらかじめ選択されています。

す。利用可能な製品の更新がある場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスに [ソース] という名前の列が表示されます。この列では、この製品を DVD からインストールできるか、またはダウンロードしなければならないかを確認できます。製品をダウンロードする場合は、[ソース] 列にダウンロードするファイルのサイズも表示されます。またこのダイアログ ボックスには、選択したすべての製品に対する合計のダウンロード サイズに関する情報も含まれます。

製品の更新をダウンロードしない場合は、[ローカル バージョンのみ選択] をクリックします。これにより、製品一覧ですべての製品ダウンロードがオフになります。すべての製品の最新バージョンのみをインストールする場合は、[新しいバージョンを選択] をクリックします。

インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

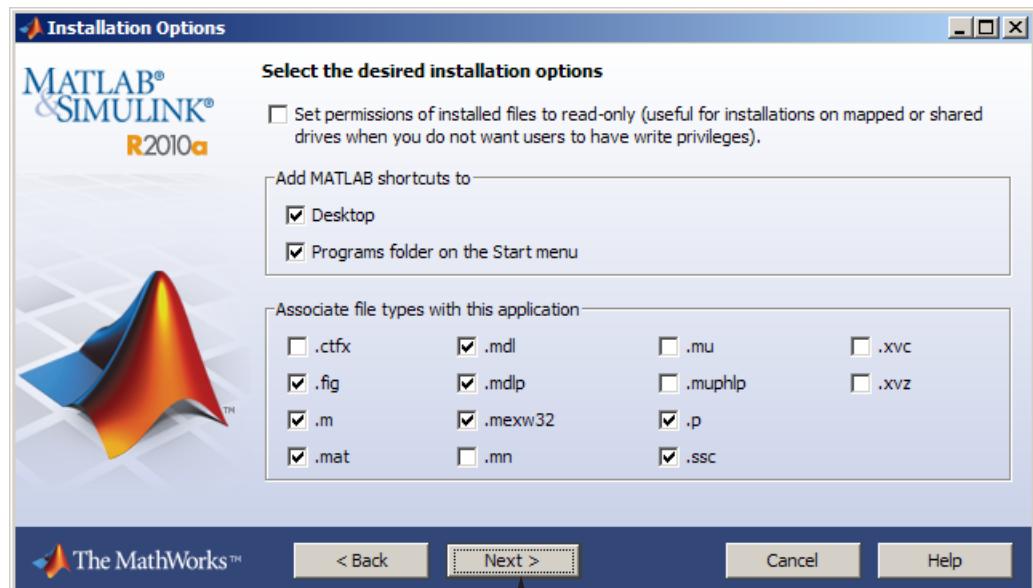


## ステップ 9: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールでは、次のようないくつかのインストール オプションを指定することができます。

- ・ インストールしたすべてのファイルのアクセス許可を読み取り専用に設定
- ・ インストーラーによって [スタート] メニューとデスクトップ上に MATLAB ソフトウェアのショートカットを作成するかどうかを指定
- ・ オペレーティング システムに MATLAB と関連付けさせるファイルの拡張子を指定。たとえば、.m 拡張子をもつファイルを MATLAB に関連付けると、オペレーティング システムではこれらのファイルが MATLAB M-file として識別されます。インストーラーでは、インストールする製品に関連付けられた拡張子があらかじめ選択されています。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

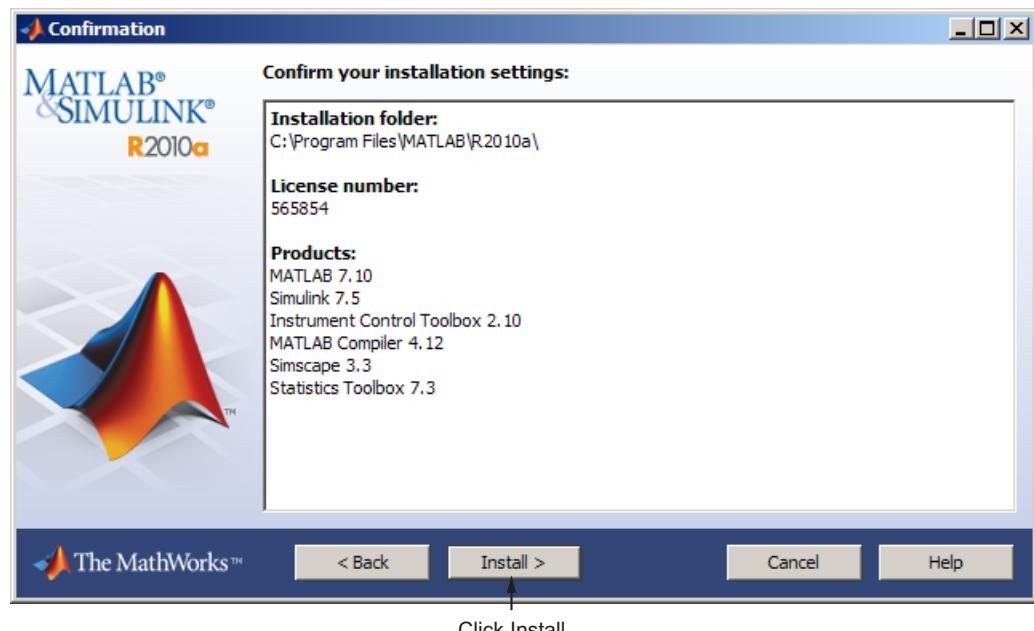


次の表に、これらのファイル拡張子を簡単に説明します。

ファイル拡張子	説明
.ctfx	MATLAB のコンパイルしたアプリケーション
.fig	MATLAB Figure
.m	MATLAB コード
.mat	MATLAB データ
.mdl	Simulink モデル
.mdlp	Simulink の保護されたモデル
.mex*	MATLAB MEX。この拡張子はプラットフォームに特定のもので、.mexw32 または .mexw64 になります。
.mn	MuPAD ノートブック
.mu	MuPAD コード
.muphlp	MuPAD ヘルプ
.p	MATLAB P コード
.ssc	Simscape モデル
.xvc	MuPAD グラフィックス
.xvz	MuPAD グラフィックス

## ステップ 10: 選択内容の確認

ファイルをハードディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



ファイルをハードドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。

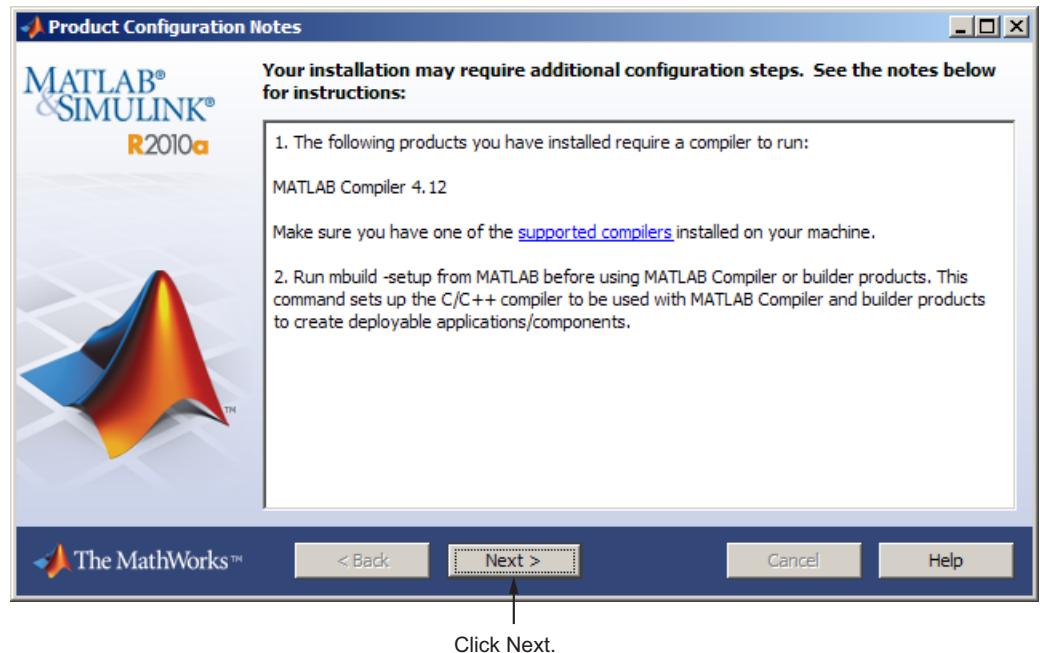
### 製品設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで次のような情報を含むダイアログボックスが表示されることがあります。

- ・ 製品の設定情報 — 一部の製品では追加の設定が必要になります。これらの製品をインストールした場合は、このダイアログボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。このコマンドは、システムのクリップボードにコピーして、インストールの完了後に使用することができます。

- ・ 使用可能な製品の更新 – ライセンスで指定されている製品が DVD に含まれておらず、現在インターネットに接続していないか、製品の更新をダウンロードしないように選択した場合は、このダイアログ ボックスに該当する製品の一覧が表示されます。これらの製品は、インストール完了後に MathWorks Web サイトからダウンロードできます。

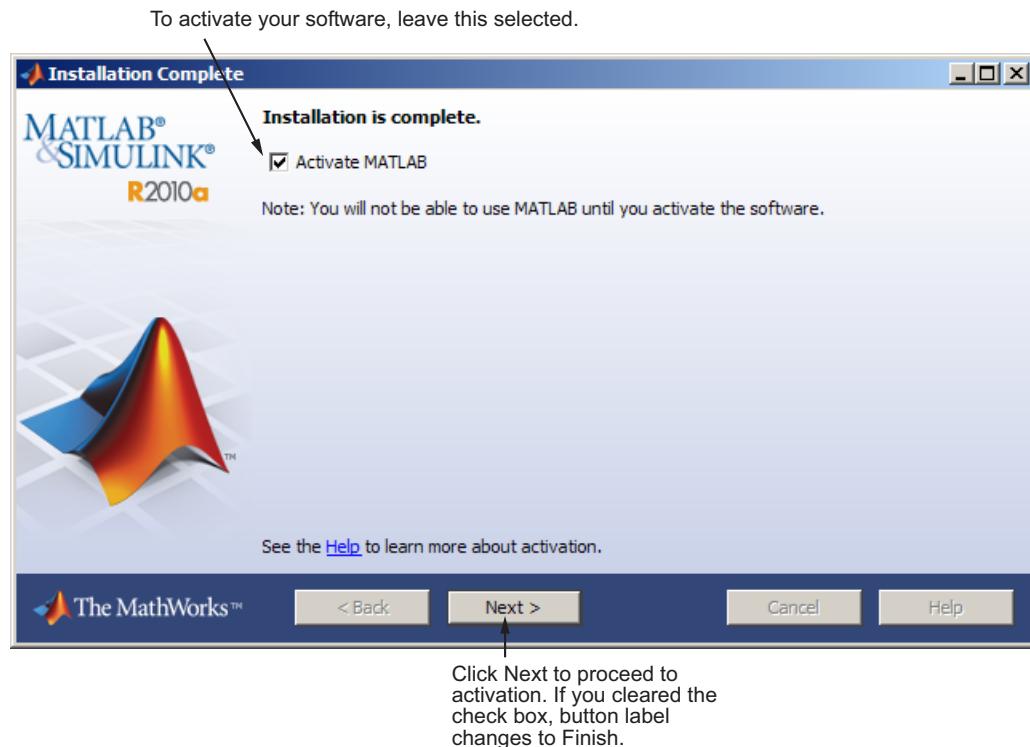
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



## ステップ 11: インストールの完了

インストールが正常に終了すると、[インストール完了] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを選択することができます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。MathWorks では、インストール後すぐにアクティベーションを行うことを推奨しています。インストール中に MathWorks アカウントにログインした場合、ログイン セッションはアクティベーション プロセスへと引き継がれます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

アクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにして [終了] をクリックします(ボタンのラベルが変わります)。アクティベーション アプリケーションを使用して、後でアクティベーションを行うことができます。



## 関連するトピック

アクティベーション プロセスのステップごとの説明は、“インストールのアクティベーション”(p.1-21)を参照してください。

## インストールのアクティベーション

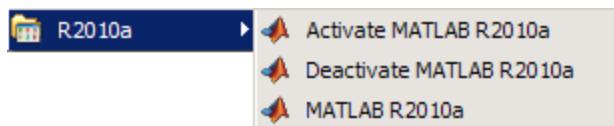
このセクションの内容…

- “ステップ 1: アクティベーション アプリケーションの起動” (p.1-21)
- “ステップ 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択” (p.1-21)
- “ステップ 3: MathWorks アカウントへのログイン” (p.1-24)
- “ステップ 4: アクティベートするライセンスの選択” (p.1-26)
- “ステップ 5: アクティベーション タイプの選択” (p.1-28)
- “ステップ 6: ユーザー名の指定” (p.1-29)
- “ステップ 7: アクティベーション情報の確認” (p.1-30)
- “ステップ 8: アクティベーションの完了” (p.1-31)

### ステップ 1: アクティベーション アプリケーションの起動

アクティベーション アプリケーションを起動するには、次のいずれかを実行します。

- ・ インストールの終了後、[インストールの完了] ダイアログ ボックスで、[MATLAB のアクティベーション] オプションを選択した状態のままにしておきます。
- ・ アクティベートされていない MATLAB インストールを起動します。
- ・ Windows の [スタート] メニューをクリックし、[プログラム] > [MATLAB] > [R2010a] の順に選択して、[アクティベーション MATLAB R2010a] をクリックします。



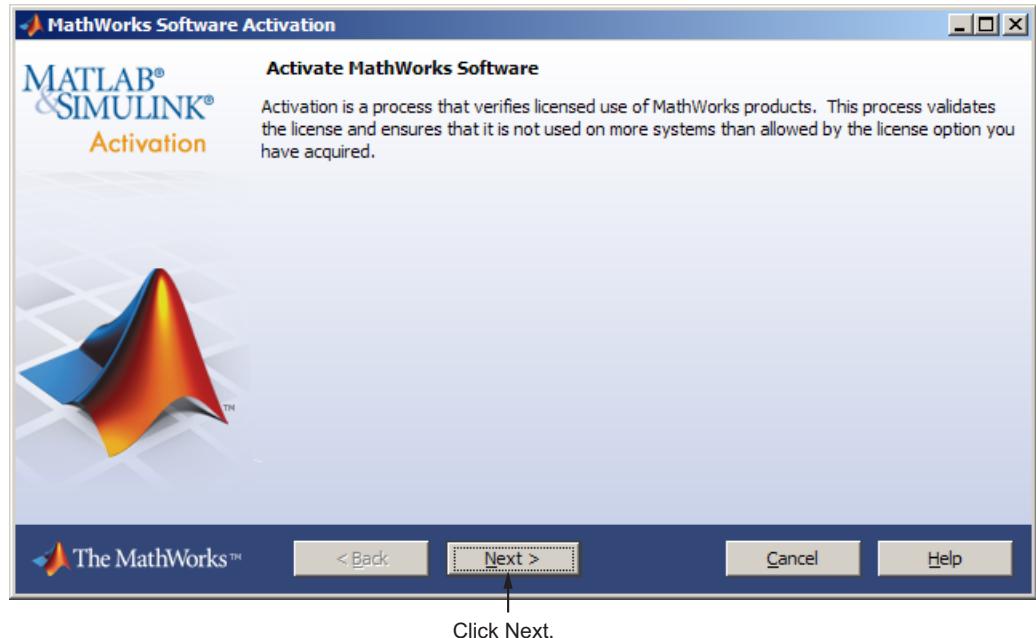
- ・ MATLAB が起動している場合は、[ヘルプ] メニューをクリックし、[ライセンス] > [ソフトウェアのアクティベーションを行う] を選択します。

### ステップ 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択

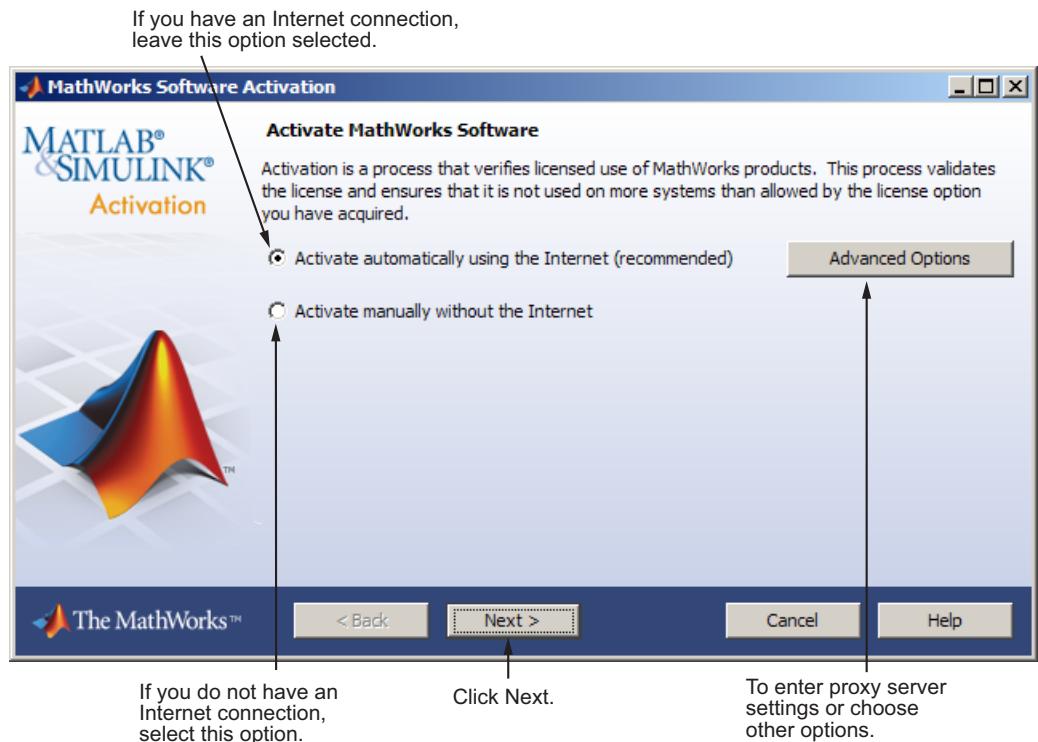
アクティベーションは、ライセンス許可を受けて MathWorks™ 製品を使用することを確認するプロセスです。このプロセスでは、ライセンスを検証し、取得したライセンス オ

ションで許可されている数以上のコンピューター、またはユーザーによってソフトウェアが使用されないようにします。

インストーラーからアクティベーション アプリケーションを開始し、インストール中に MathWorks アカウントにログインしていた場合、ログイン セッションはアクティベーション プロセスへと継続されます。[次へ] をクリックしてアクティベーションを続行します。



インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合、または、アクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、自動または手動のどちらでアクティベーションを行うかを選択しなければなりません。インターネットに接続している場合は、[インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う] オプションを選択したままにしておきます。MathWork では、自動的にアクティベーションを行うことを推奨しています。手動でアクティベーションを行うオプションは、インターネットに接続していない場合に役立ちます。手動でアクティベーションを行うには、ライセンス ファイルが必要になります。



## プロキシ サーバーの指定

インターネット接続にプロキシ サーバーが必要な場合は、[詳細オプション] ボタンをクリックします。[プロキシ設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名とポートの情報を入力し、他のアクティベーション オプションにアクセスすることができます。MathWorks では、基本認証、要約認証、NTLM 認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。詳細は、“アクティベーション オプションへのアクセス”(p.3-2)を参照してください。

## ステップ 3: MathWorks アカウントへのログイン

---

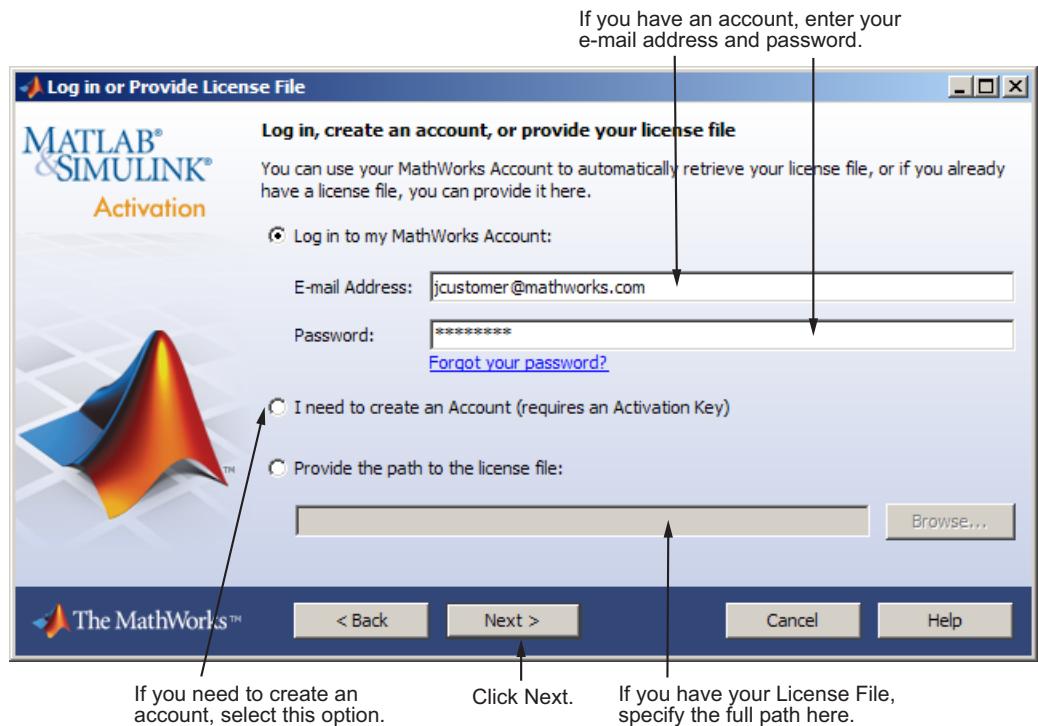
メモ インストール中にアカウントにログインし、インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションではこのステップが省略されます。

---

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。アクティベーション アプリケーションにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスが取得されます。

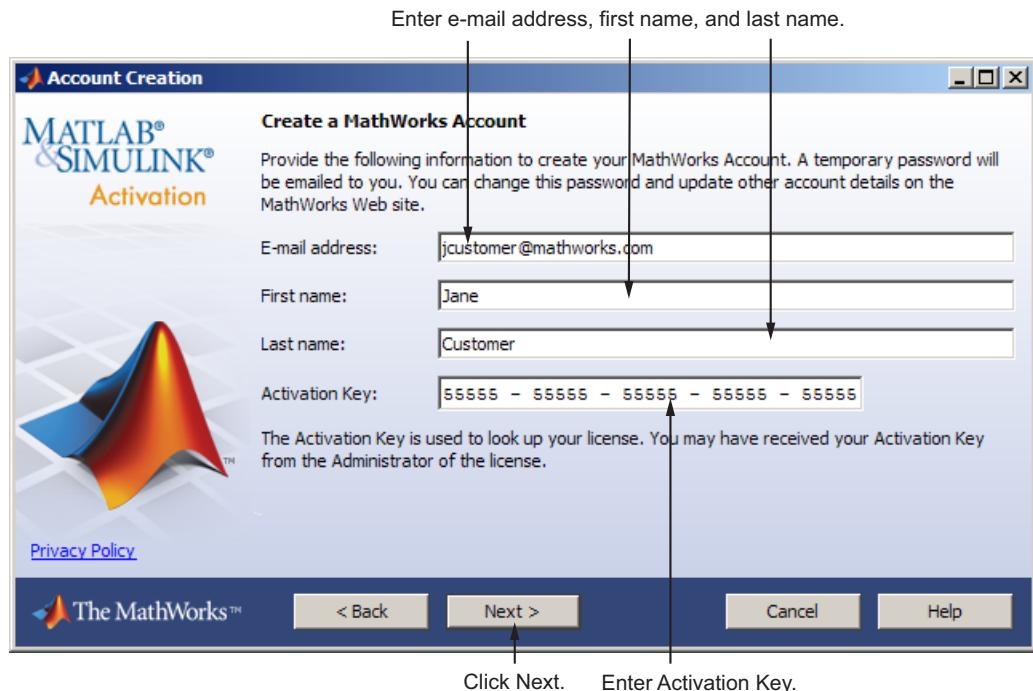
アカウントをおもちでない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。詳細は、“MathWorks アカウントの作成”(p.1-25) を参照してください。

すでにライセンス ファイルをおもちの場合は、[ライセンス ファイルへのパスを提供] オプションを選択し、ファイルへの完全なパスを指定して、[次へ] をクリックします。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が識別されます。このライセンス ファイルは、ライセンス管理者から受け取っている可能性があります。ライセンス ファイルを指定した後、アクティベーション アプリケーションではプロセスの後続の手順がすべて省略され、[アクティベーションの完了] ダイアログ ボックスが開きます。



## MathWorks アカウントの作成

MathWorks アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびアクティベーション キーを入力し、[次へ] をクリックします。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーを入力しなければなりません。アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンスセンターからキーを取得できます。



#### ステップ 4: アクティベートするライセンスの選択

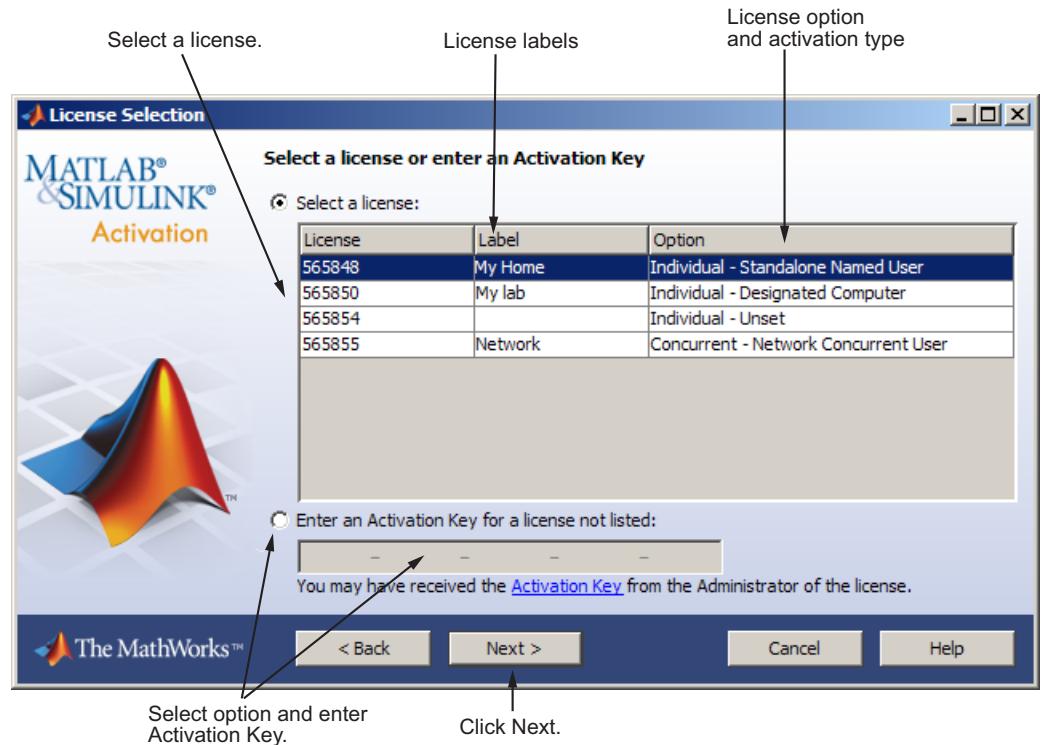
**メモ** インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーションアプリケーションでは、インストールしたライセンスをアクティベートするものと仮定して、このステップが省略されます。同様に、前のステップで新規アカウントを作成してアクティベーションキーを指定した場合も、このステップが省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けされたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号。
- ・ ライセンスの特定に役立つオプションの説明テキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンスセンターにアクセスします。詳細は、ライセンスセンターのヘルプを参照してください。

- ライセンス オプションとアクティベーション タイプを特定する情報。アクティベーション タイプがまだライセンスで設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。



### アクティベーション キーとは?

アクティベーション キーとはライセンスを識別する固有のコードで、ライセンスのアクティベーションに使用します。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを受けたエンド ユーザーは MathWorks アカウントにライセンスを関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

## ステップ 5: アクティベーション タイプの選択

メモ インストールしたライセンス、または前のステップで選択したライセンスにあらかじめアクティベーション タイプが設定されている場合は、このステップは省略されます。

ライセンスのアクティベーション タイプを選択します。ソフトウェアの使用を自分 1 人に限定する場合は、[スタンドアロン ネームド ユーザー] オプションを選択します。同時には使用しないという条件で複数のユーザーがインストールを共有する場合は、[コンピューター指定] オプションを選択します。

アクティベーション タイプを選択したら、[次へ] をクリックしてアクティベーションを続行します。



## ステップ 6: ユーザー名の指定

---

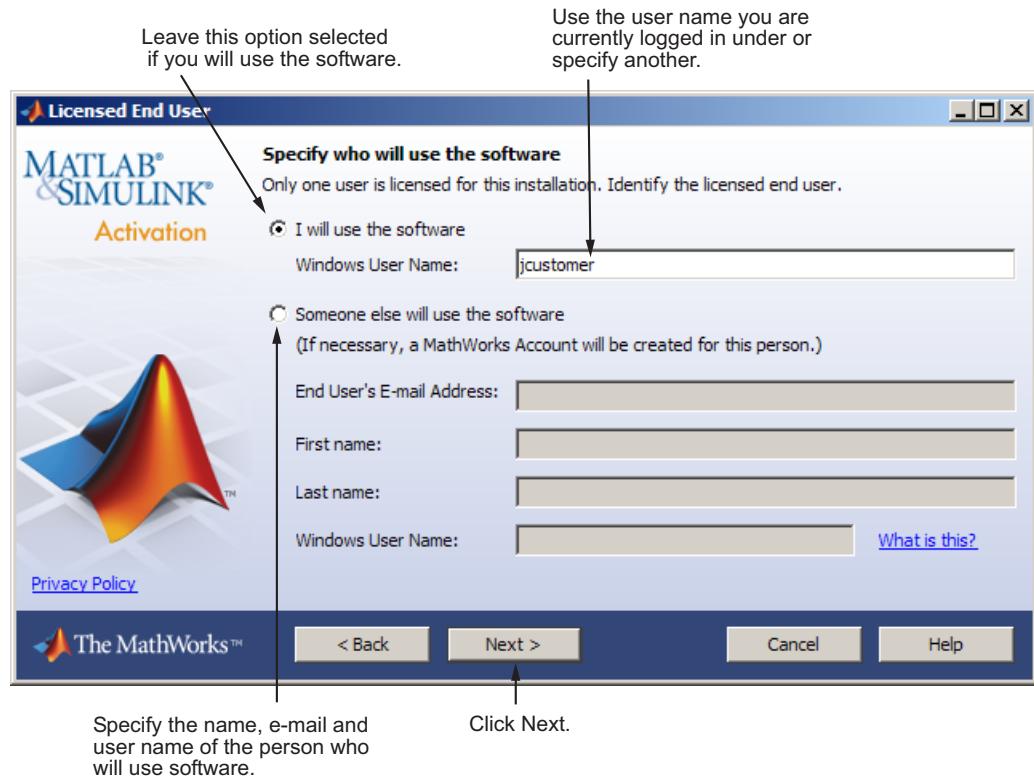
メモ ライセンスに対して、アクティベーション タイプとして [コンピュータ指定] を選択した場合、このステップは省略されます。ユーザー名を指定する必要はありません。

---

アクティベーション タイプとして [スタンドアロン ネームド ユーザー] を選択した場合、ソフトウェアを使用するユーザーのオペレーティング システム ユーザー名を指定しなければなりません。アクティベーション タイプが [スタンドアロン ネームド ユーザー] の場合、ソフトウェアの使用は特定のコンピューター上の特定のユーザーに制限されます。MathWorks では、オペレーティング システム ユーザー名を使用してこのユーザーが識別されます。オペレーティング システム ユーザー名とは、ユーザーがコンピューターにアクセスするための ID で、コンピューターのログイン名とも呼ばれます。MathWorks ソフトウェアを使用するには、指定したユーザー名でコンピューターにログインしなければなりません。

既定では、アクティベーション アプリケーションによって、アプリケーションを実行中のユーザー名が自動的に記入されます。この既定値を受け入れるには、[私がソフトウェアを使用します] オプションを選択した状態で、[次へ] をクリックします。

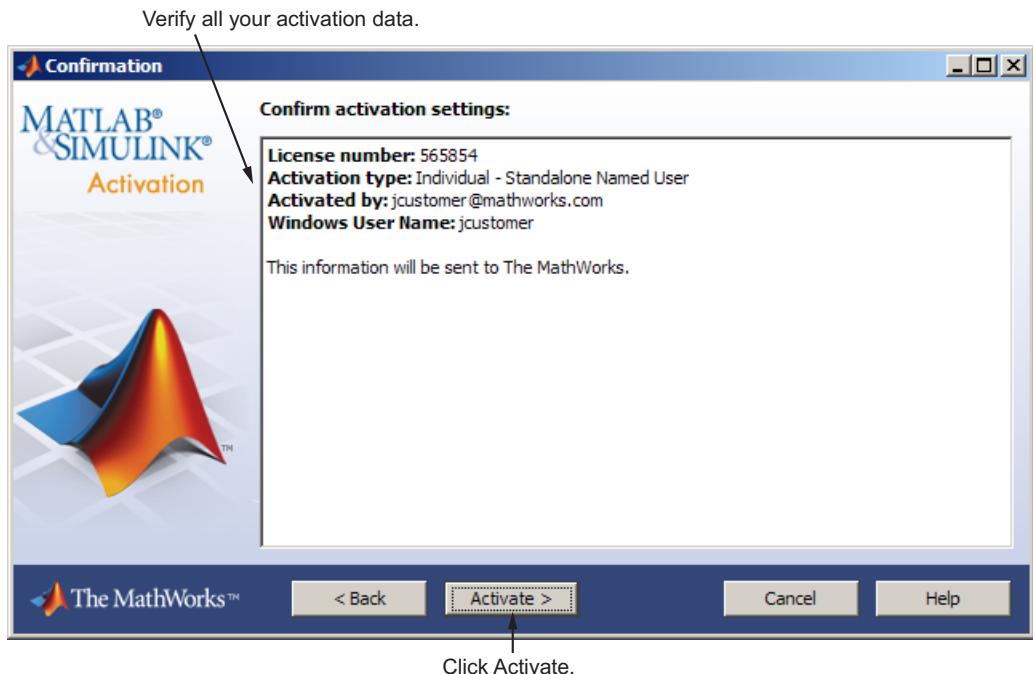
他のユーザーのためにライセンスのアクティベーションを行う場合は、[他の人がソフトウェアを使用します] オプションを選択し、対象のユーザーの電子メール アドレス、名前、およびオペレーティング システム ユーザー名を指定して、[次へ] をクリックします。アクティベーション アプリケーションによって、このユーザーの MathWorks アカウントが検索されるか、アカウントが作成されます。このオプションは、他のユーザーのためにソフトウェアのアクティベーションを行うシステム管理者に便利です。



## ステップ 7: アクティベーション情報の確認

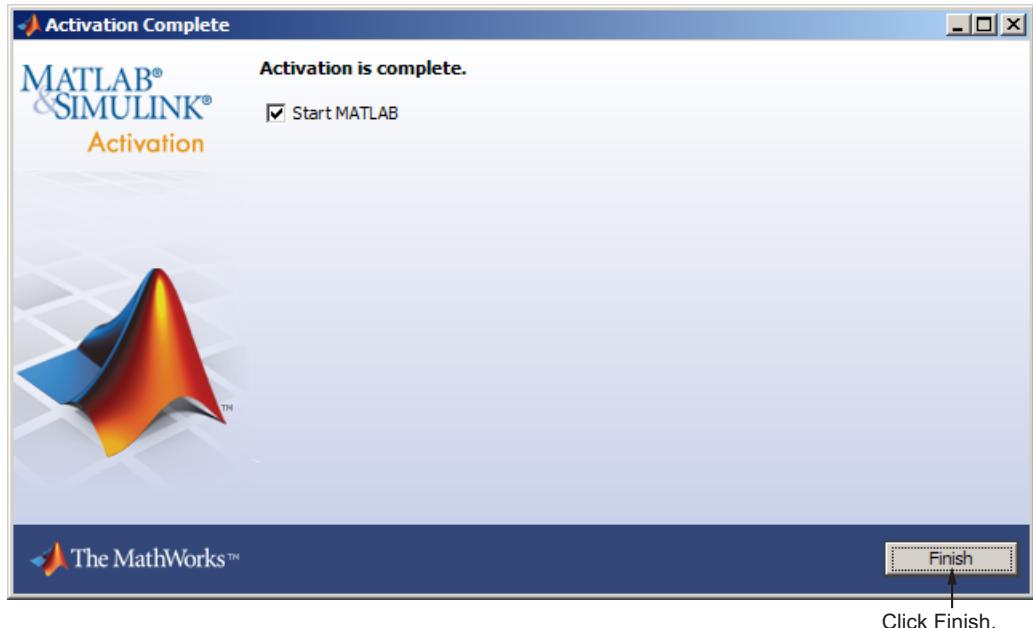
表示されている情報が正しい場合は、[アクティベーション] をクリックします。

インストールのアクティベーションでは、The MathWorks™ によってコンピューターにロックされた（アクティベーション タイプとして [スタンダロン ネームド ユーザー] を選択した場合は特定のユーザーにロックされた）ライセンス ファイルが作成され、ユーザーのコンピューターにこのライセンス ファイルがコピーされます。このライセンス ファイルにより、ユーザーはコンピューターで MathWorks 製品を実行できるようになります。また MathWorks システムでも、アクティベーションの記録が保持されます。



## ステップ 8: アクティベーションの完了

インストールのアクティベーションを行ったら、The MathWorks ソフトウェアを実行できます。すぐに MATLAB を起動しない場合は、[MATLAB の開始] オプションをクリアし、[終了] をクリックしてアクティベーション プロセスを終了します。



## インターネット接続なしのインストールとアクティベーション

### このセクションの内容…

- “ステップ 1: インストールの準備” (p.1-33)
- “ステップ 2: インストーラーの起動” (p.1-34)
- “ステップ 3: ライセンス許諾書の確認” (p.1-35)
- “ステップ 4: ファイル インストール キーの指定” (p.1-36)
- “ステップ 5: インストール タイプの選択” (p.1-38)
- “ステップ 6: インストール フォルダーの指定” (p.1-39)
- “ステップ 7: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)” (p.1-40)
- “ステップ 8: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)” (p.1-41)
- “ステップ 9: 選択内容の確認とファイルのコピーの開始” (p.1-43)
- “ステップ 10: インストールの完了” (p.1-44)
- “ステップ 11: インストールのアクティベーション” (p.1-45)
- “ステップ 12: ライセンス ファイルのパスの指定” (p.1-45)
- “ステップ 13: アクティベーションの完了” (p.1-48)

### ステップ 1: インストールの準備

インストーラーを実行する前に、以下の準備を行います。

- ・ ファイル インストール キーとライセンス ファイルをお手元にご用意ください。これらは、ネットワーク接続なしにインストールとアクティベーションを実行する際に必要になります。

ファイル インストール キーでは、インストールできる製品が識別されます。ライセンス ファイルでは、実行できる製品が識別され、インストールがアクティベートされます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターから、ファイル インストール キーとライセンス ファイルを取得できます。

- ・ 実行中のすべての MATLAB ソフトウェアを終了します。
- ・ コンピューターの管理者権限を取得します。

- インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネットセキュリティアプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

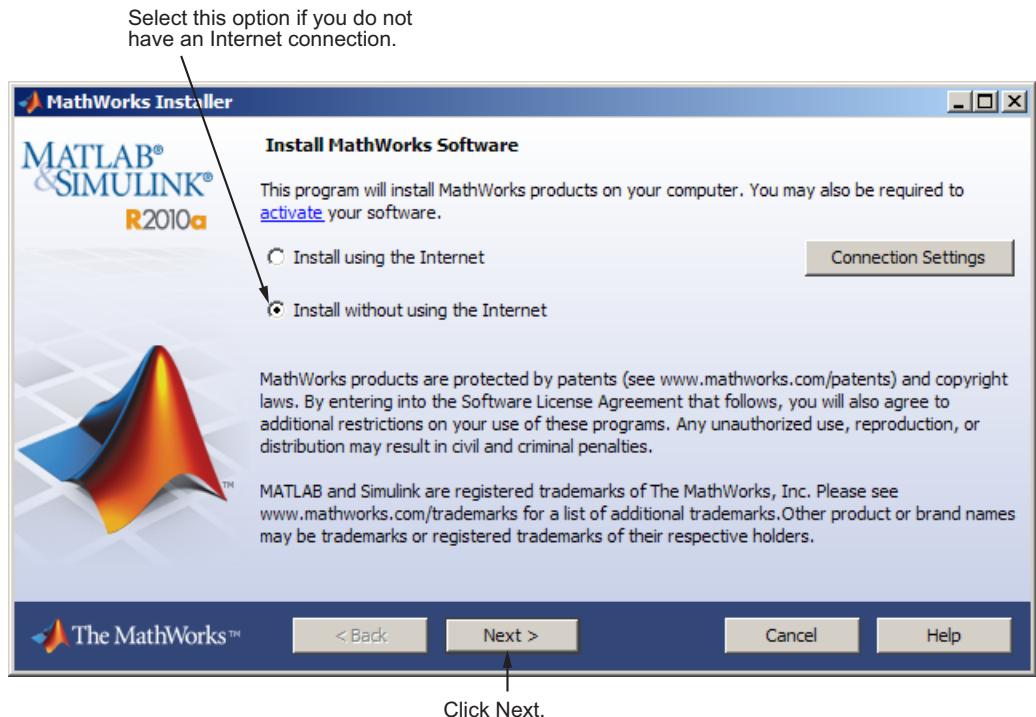
インターネットに接続している場合は、“スタンドアロン環境での MathWorks ソフトウェアのインストール”(p.1-2)の説明を参照してください。MathWorks では、インターネット接続を使用してインストールとアクティベーションを行うことを推奨しています。

この手順は、スタンドアロンまたはネットワークライセンスオプションをインストールする場合に使用できます。ネットワークライセンスオプションでこの方法を使用する場合は、ライセンスファイルのパスを指定して、ライセンスマネージャーを設定するかどうかを選択する必要があります。これらの追加ステップの詳細は、“サーバーへのライセンスマネージャーのインストール”(p.2-3)を参照してください。

## ステップ 2: インストーラーの起動

システムに接続された DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。

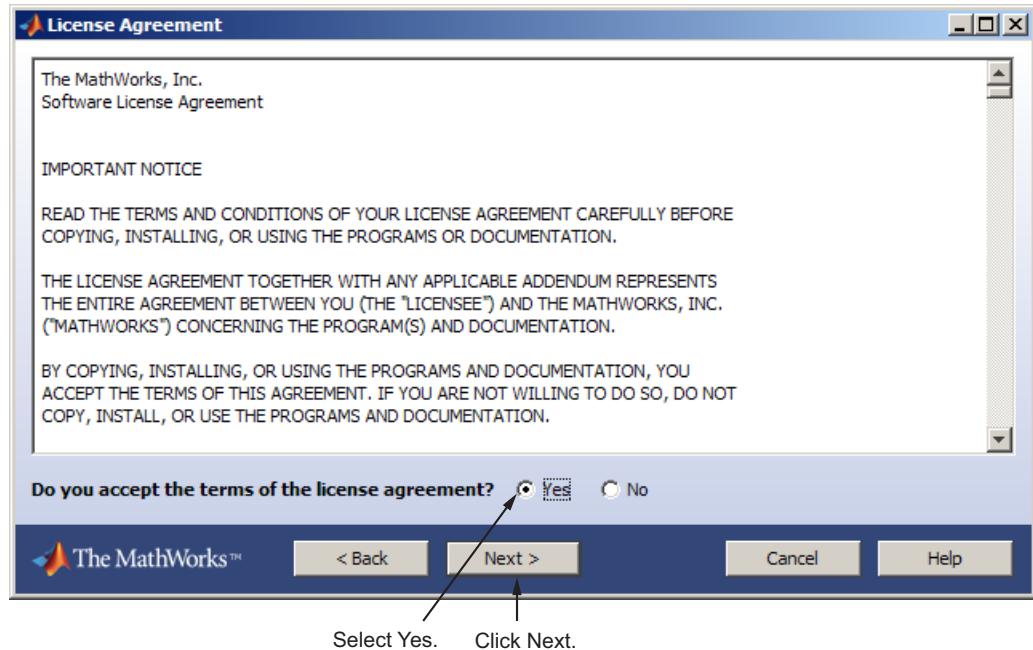
インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストールする] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。



### ステップ 3: ライセンス許諾書の確認

ソフトウェアライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は[はい]を選択して、[次へ]をクリックします。

インストールの完了後は、インストールフォルダーのトップレベルにある license.txt ファイルを使用して、ライセンス許諾書を表示または印刷することができます。

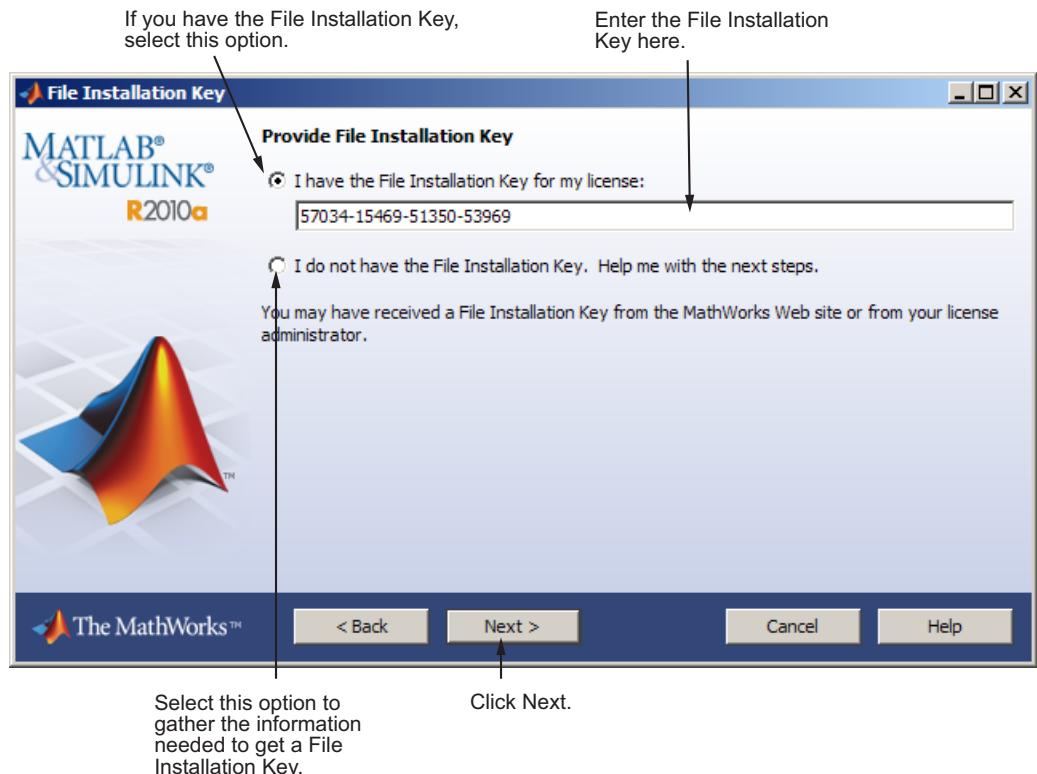


## ステップ 4: ファイル インストール キーの指定

インターネット接続せずに、手動でのインストールを選択した場合は、[ファイル インストール キー] ダイアログ ボックスが表示されます。ファイル インストール キーですが、インストール可能な製品が識別されます。

キーをおもちの場合は、[ライセンスに対するファイル インストール キーを持っていません] オプションを選択して、ファイル インストール キーを入力し、[次へ] をクリックします。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトにあるライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。

キーをおもちでない場合は、[ファイル インストール キーがありません] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。インストーラーによって、キー入手するために必要な情報が提供されます。



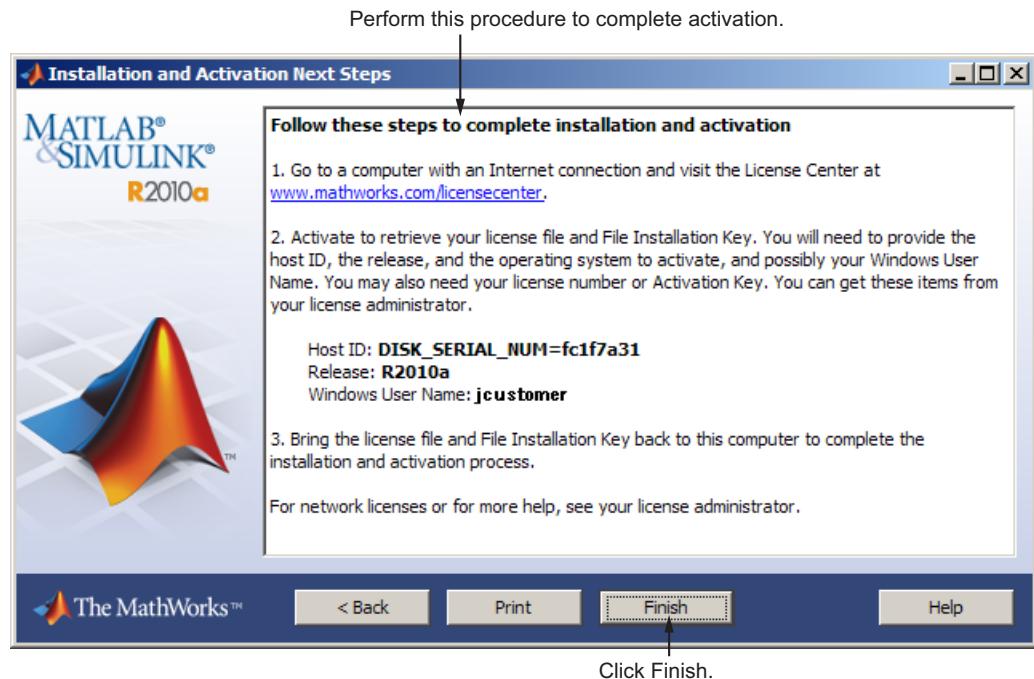
### ファイル インストール キーがない場合

[ファイル インストール キーがありません] オプションを選択すると、[インストールとアクティベーションの次のステップ] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスには、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得するためには、以下の情報が含まれています。

- ・ ホスト ID
- ・ リリース番号 (例: R2010a)
- ・ オペレーティング システム ユーザー名 (アクティベーションではユーザー名の大文字と小文字が区別されることに注意してください)

このダイアログ ボックスに表示されている情報を保存します。たとえば、[印刷] ボタンをクリックしてコピーを印刷することができます。この情報をもってインターネットに

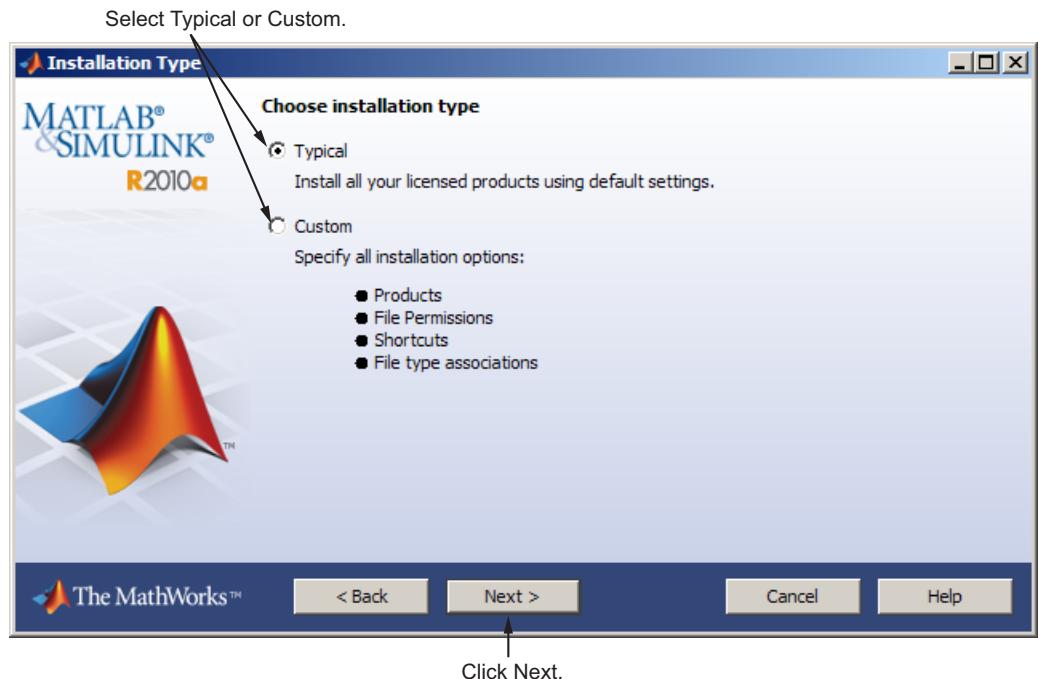
接続されているコンピューターに行き、MathWorks Web サイトのライセンスセンターにアクセスします。MathWorks では、この情報を使用してファイルインストールキーとライセンスファイルが生成されます。ソフトウェアをインストールしてアクティベーションを行うコンピューターに戻る際には、この情報が必要となります。アクティベーションのプロセスを終了するには、[終了] をクリックします。



## ステップ 5: インストール タイプの選択

[インストール タイプ] ダイアログ ボックスで、標準インストール、またはカスタムインストールのいずれを実行するかを指定して、[次へ] をクリックします。

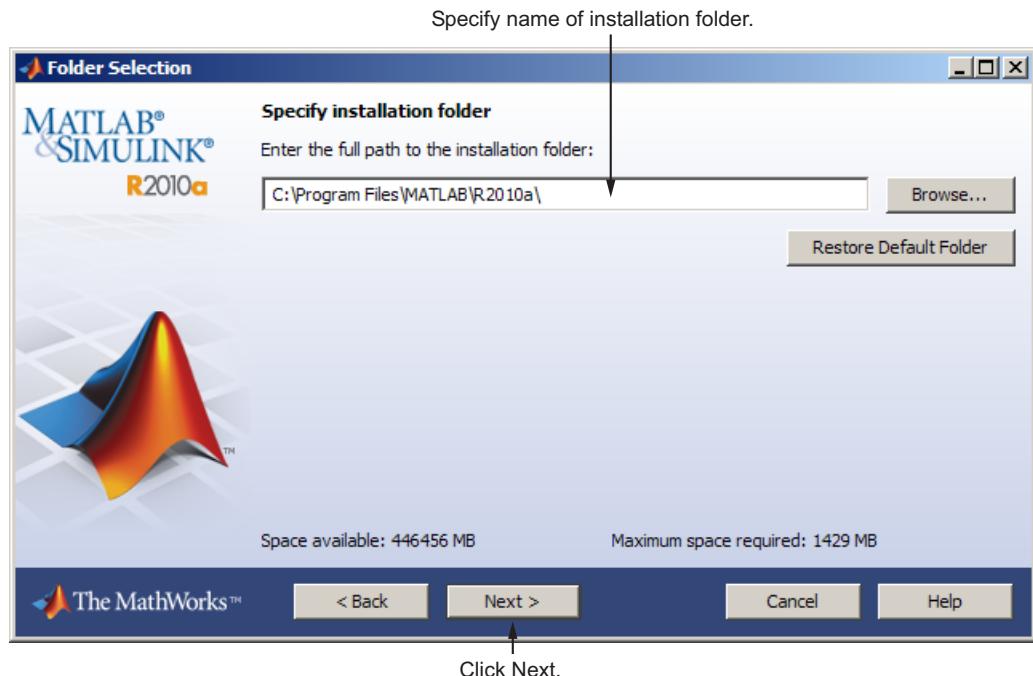
- ・ インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちで、インストールする製品を指定する必要がなく、インストール オプションにアクセスする必要がない場合は、[標準] を選択します。
- ・ インストールする製品の指定が必要な場合、インストール オプションへのアクセスが必要な場合、またはライセンス マネージャーのインストール（ネットワークライセンス オプションのみ）が必要な場合は、[カスタム] を選択します。



## ステップ 6: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使用するか、別のインストール フォルダーを指定できます。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

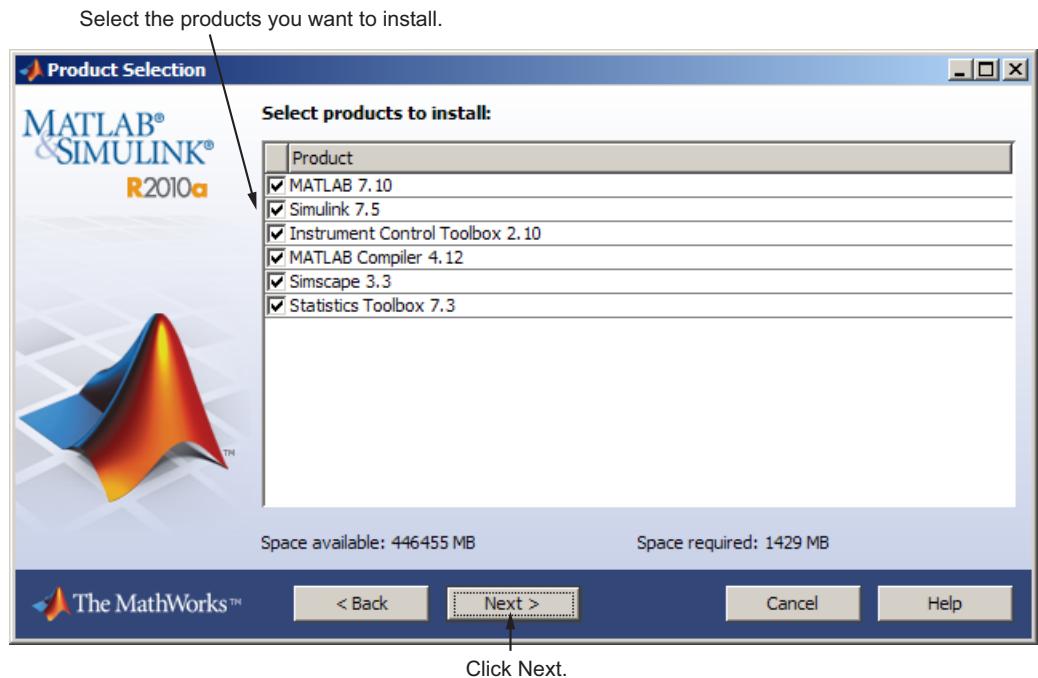
フォルダーネームには、アット記号 (@)、感嘆符 (!)、パーセント記号 (%)、プラス記号 (+)、およびドル記号 (\$) を使用することができません。また、インストール フォルダーの絶対パスに private という名前のフォルダーを含むことはできません。間違ったフォルダーネームを入力してしまった場合に、既定のフォルダーネームを使用してやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。インストールを続行するには [次へ] をクリックします。



## ステップ 7: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールを行う場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスでインストールする製品を指定できます。このダイアログ ボックスには、選択したライセンス、または指定したアクティベーション キーに関連付けられているすべての製品が一覧表示されます。ダイアログ ボックスでは、すべての製品がインストールにあらかじめ選択された状態になっています。インストールしない製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

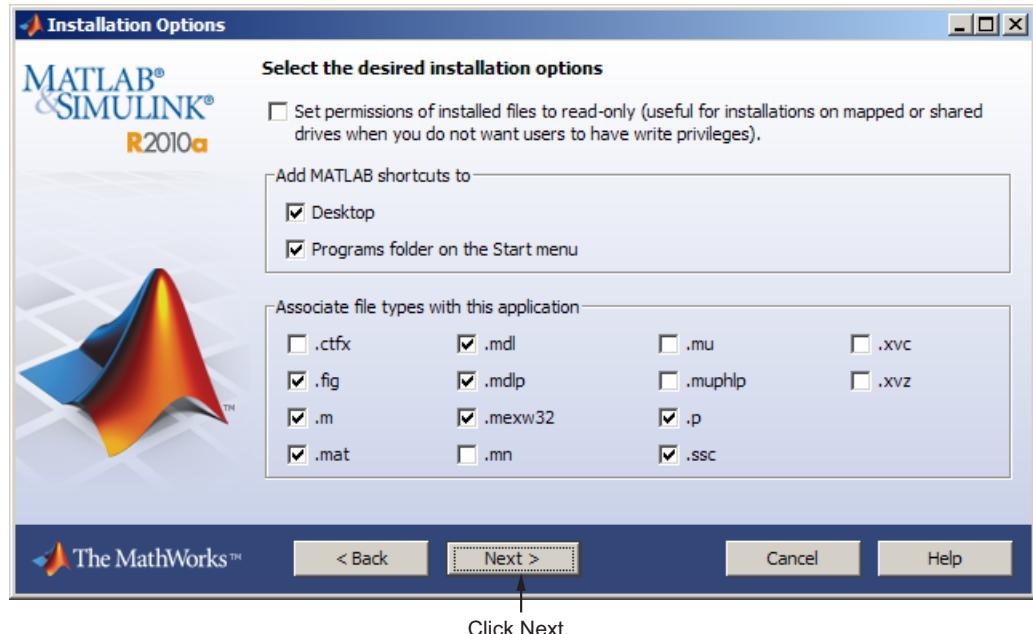


## ステップ 8: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールでは、次のようないくつかのインストール オプションを指定することができます。

- インストールしたすべてのファイルのアクセス許可を読み取り専用に設定
- インストーラーによって [スタート] メニューとデスクトップ上に MATLAB ソフトウェアのショートカットを作成するかどうかを指定
- オペレーティング システムに MATLAB と関連付けさせるファイルの拡張子を指定。たとえば、.m 拡張子をもつファイルを MATLAB に関連付けると、オペレーティング システムではこれらのファイルが MATLAB M-file として識別されます。インストーラーでは、インストールする製品に関連付けられた拡張子があらかじめ選択されています。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



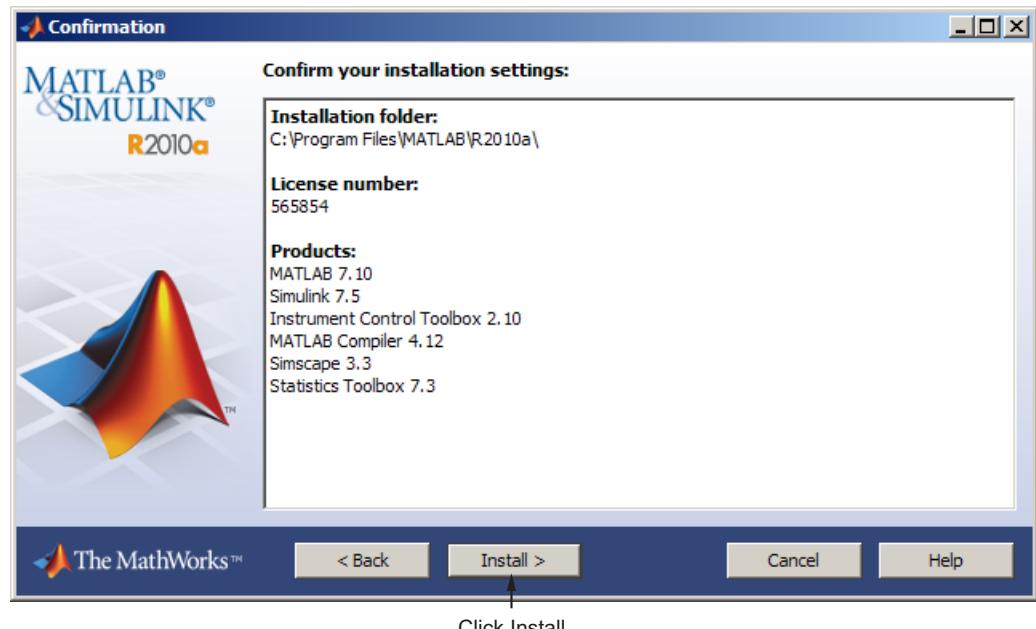
次の表に、これらのファイル拡張子を簡単に説明します。

ファイル拡張子	説明
.ctfx	MATLAB のコンパイルしたアプリケーション
.fig	MATLAB Figure
.m	MATLAB コード
.mat	MATLAB データ
.mdl	Simulink モデル
.mdlp	Simulink の保護されたモデル
.mex*	MATLAB MEX。この拡張子はプラットフォームに特定のもので、.mexw32 または .mexw64 になります。
.mn	MuPAD ノートブック
.mu	MuPAD コード

ファイル拡張子	説明
.muphelp	MuPAD ヘルプ
.p	MATLAB P コード
.ssc	Simscape モデル
.xvc	MuPAD グラフィックス
.xvz	MuPAD グラフィックス

### ステップ 9: 選択内容の確認とファイルのコピーの開始

ファイルをハードディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。

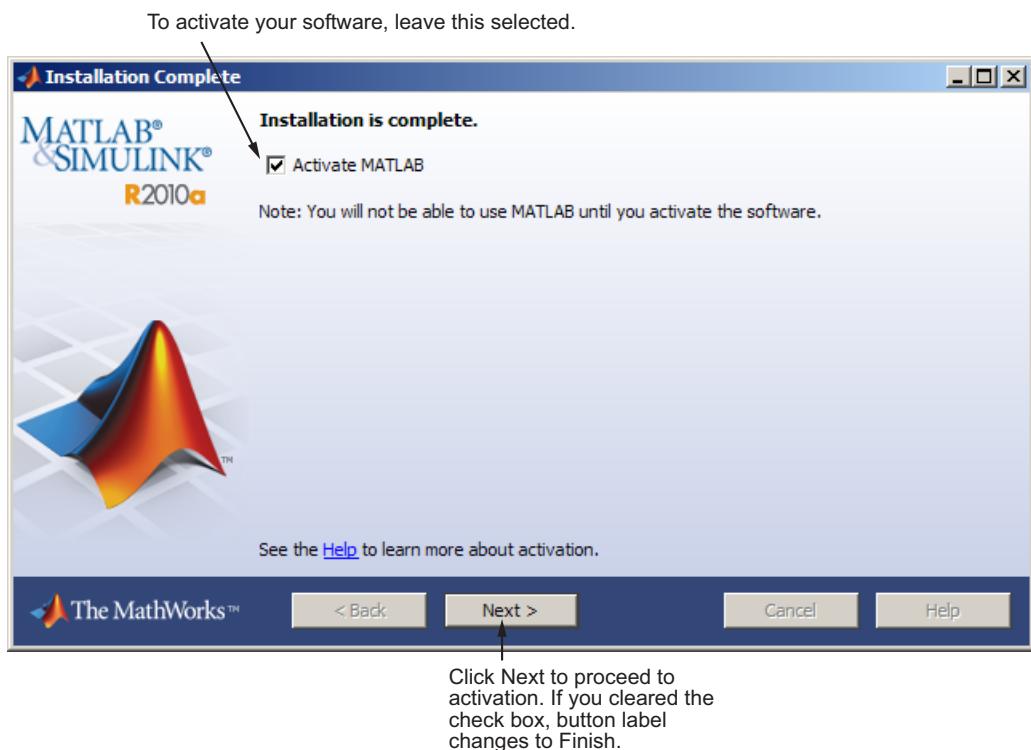


ファイルをハードドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。

## ステップ 10: インストールの完了

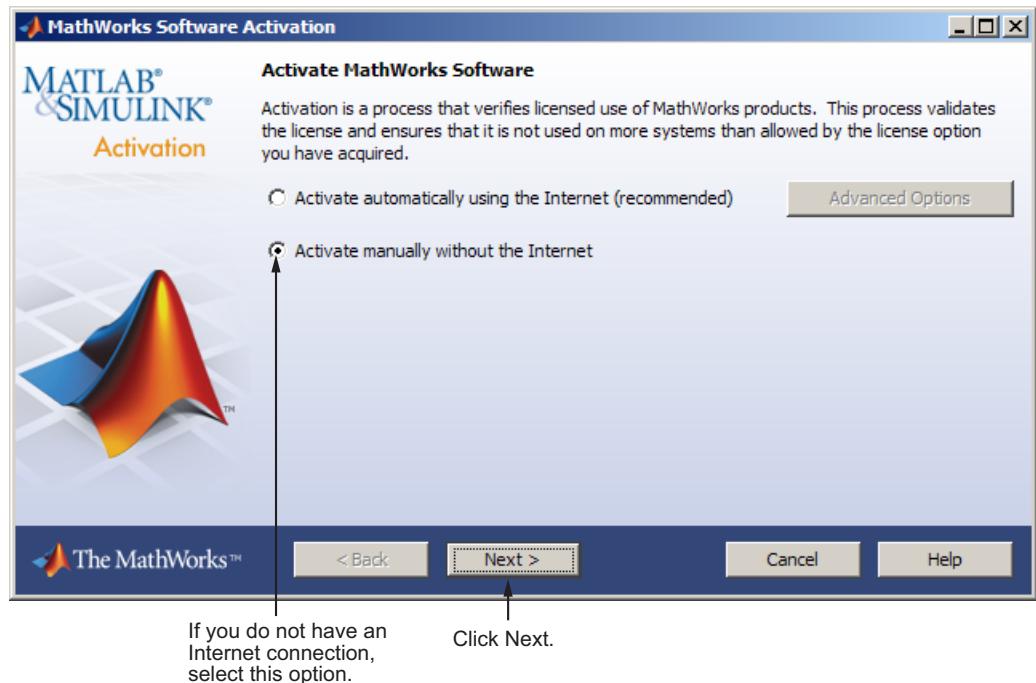
インストールが正常に終了すると、[インストール完了] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを選択することができます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。MathWorks では、インストール後すぐにアクティベーションを行うことを推奨しています。インストール中に MathWorks アカウントにログインした場合、ログイン セッションはアクティベーション プロセスへと引き継がれます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

アクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにして [終了] をクリックします（ボタンのラベルが変わります）。アクティベーション アプリケーションを使用して、後でアクティベーションを行うことができます。



## ステップ 11: インストールのアクティベーション

インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合、またはアクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、アクティベーションを自動または手動のいずれで実行するかを選択します。[インターネットを使わずに手動でアクティベーションを行う] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。

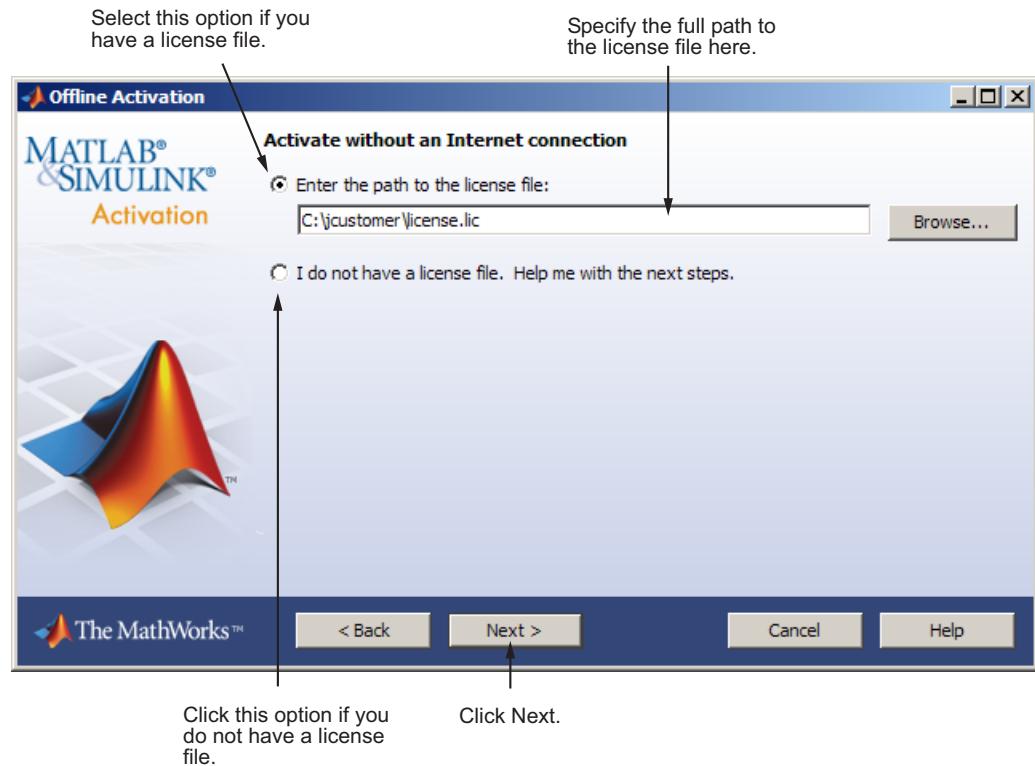


## ステップ 12: ライセンスファイルのパスの指定

インターネットに接続しないでアクティベーションを行うには、ライセンスファイルが必要です。ライセンスファイルでは、実行できる製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンスセンターからライセンスファイルを取得できます。

[ライセンスファイルへのパスを入力] オプションを選択し、ライセンスファイルの絶対パスをテキストボックスに入力するか、ファイルをドラッグ アンド ドロップして、[次へ] をクリックします。ライセンスファイルがない場合は、[ライセンスファイル

[持っていない場合] オプションを選択します。詳細は、“ライセンス ファイルがない場合”(p.1-46)を参照してください。



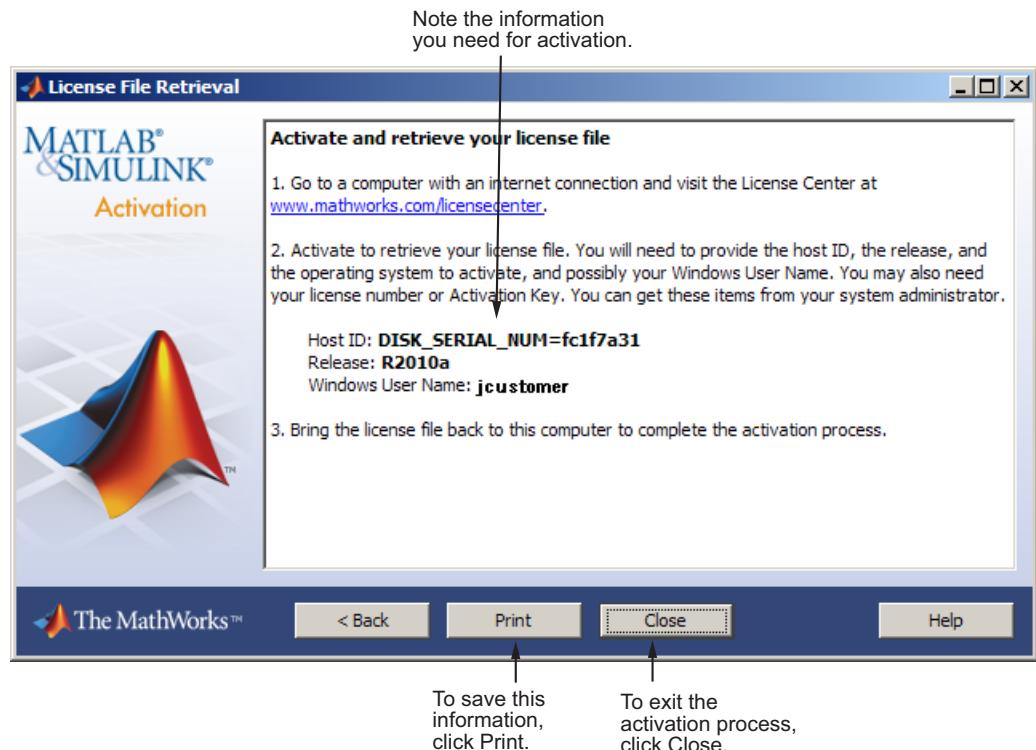
### ライセンス ファイルがない場合

ライセンス ファイルをおもちでなく、手動でアクティベーションを行う場合は、[ライセンスファイルの取得] ダイアログ ボックスにライセンス ファイルの取得方法とアクティベーションの実行方法が表示されます。このダイアログ ボックスには、ライセンス ファイル入手するために必要な、以下のような情報が表示されます。

- ・ ホスト ID
- ・ リリース番号 (例: R2010a)
- ・ オペレーティング システム ユーザー名 (アクティベーションではユーザー名の大文字と小文字が区別されることに注意してください)

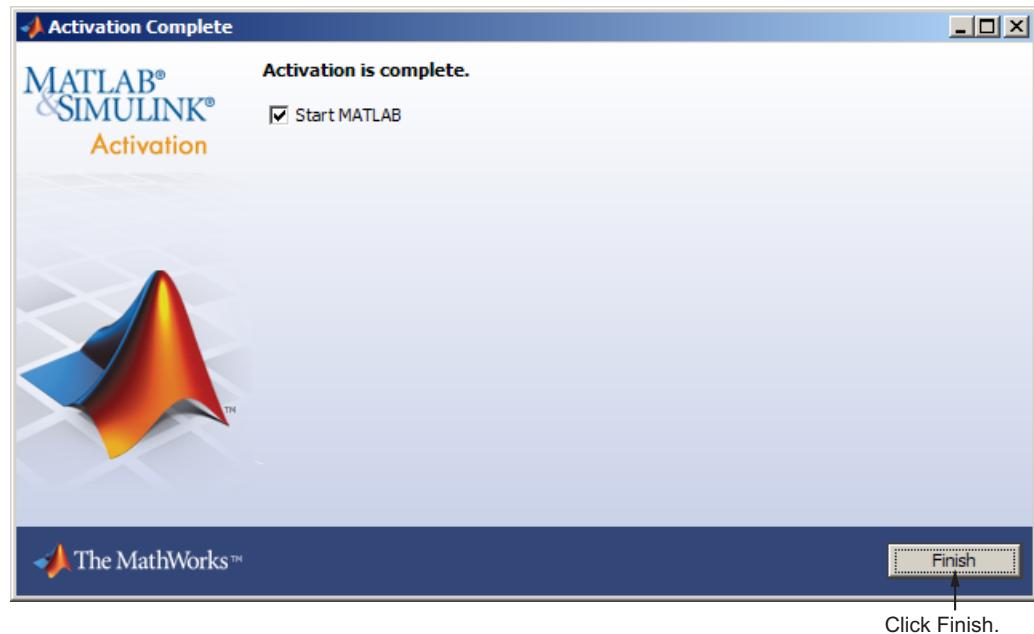
このダイアログ ボックスに表示されている情報を保存します。たとえば、[印刷] ボタンをクリックして情報を印刷することができます。この情報をもってインターネットに接続されているコンピューターに行き、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。MathWorks では、この情報を使用してファイル インストール キーとライセンス ファイルが生成されます。ソフトウェアをインストールしてアクティベーションを行うコンピューターに戻る際には、この情報が必要となります。アクティベーション アプリケーションを終了するには、[終了] をクリックします。

メモ ここでは、アクティベーションはまだ行われていません。ライセンス ファイルを取得するまでは MATLAB を実行できません。



## ステップ 13: アクティベーションの完了

インストールのアクティベーションを行ったら、The MathWorks ソフトウェアを実行できます。すぐに MATLAB を起動しない場合は、[MATLAB の開始] オプションをクリアし、[終了] をクリックしてアクティベーション プロセスを終了します。



## インストールの完了後

このセクションの内容…

- “MATLAB ソフトウェアの起動” (p.1-49)
- “ライセンスの更新” (p.1-49)
- “初期の現在のフォルダーの設定” (p.1-50)
- “MATLAB 環境オプションの設定” (p.1-50)
- “MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース” (p.1-50)

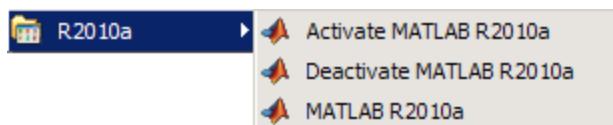
### MATLAB ソフトウェアの起動

MATLAB ソフトウェアは、次のいずれかの方法で起動できます。

- ・ デスクトップから – インストーラーによってデスクトップに作成された [MATLAB] アイコンをダブルクリックします。このアイコンはショートカットとも呼ばれます。



- ・ Windows の [スタート] メニューをクリックし、[プログラム] > [MATLAB] > [R2010a] の順に選択して、[MATLAB R2010a] をクリックします。



- ・ Windows エクスプローラの使用 – MATLAB のインストール フォルダーに移動します。MATLAB フォルダーを開いて R2010a フォルダーを開き、MATLAB 実行ファイルへのショートカット [MATLAB R2010a] をダブルクリックします。

### ライセンスの更新

ライセンス契約期間中、MATLAB インストールは定期的に MathWorks と通信して、ライセンスが最新のものであることを確認します。ライセンスが最新のものであれば、ユーザーはこの検証プロセスに気付くことはありません。検証プロセスによってライセンスの更新が必要であると判断されると、ライセンス更新のオプションを提供するダイアログ ボックスが表示されます。

この検証プロセスは、MathWorks Web サイトのライセンス センターで無効にすることができます。ステップごとの説明は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。

## 初期の現在のフォルダーの設定

既定では、インストーラーによってデスクトップに作成されたショートカットを使用して MATLAB を起動すると、初期の現在のフォルダー（スタートアップ フォルダー）は My Documents フォルダーの MATLAB フォルダーになります。ただし、MATLAB の初期の現在のフォルダーには任意のフォルダーを使用できます。MATLAB の『デスクトップツールと開発環境』の“Startup Folder for the MATLAB Program”を参照してください。

## MATLAB 環境オプションの設定

ようこそメッセージや既定の定義、または MATLAB の起動時に毎回実行する MATLAB 式を設定するには、`matlabroot\toolbox\local` フォルダーに `startup.m` というファイルを作成します。MATLAB を起動するたびに、`startup.m` ファイルのコマンドが実行されます。`local` フォルダーに `startupsav.m` という名前のサンプルのスタートアップ ファイルがあります。このファイルの名前を変更して、自分のニーズにあったスタートアップ ファイルを作成する開始点として使用することができます。

## MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース

これで MATLAB のインストールが完了しました。MATLAB をすぐに使用したいと思われていることでしょう。次の表には、MATLAB を初めて使用する際に役立つ、さまざまな情報源や機能説明のソースをまとめています。

タスク	説明
MATLAB とその機能に関する概要を確認する	MATLAB の『ご利用の前に』を参照してください。
本リリースの新機能を確認する	『リリース ノート』を参照してください。
製品を開始する、または、製品のデモ プログラムにアクセスする	MATLAB デスクトップの [スタート] ボタンを使用します。

タスク	説明
MATLAB の特定の機能に関する情報を取得する	MATLAB メニュー バーの [ヘルプ] を選択し、HTML 形式でハイパーテキストリンクされた参照先やチュートリアルを表示します。
ドキュメンテーションでは回答が得られない質問がある	MathWorks Web サイト ( <a href="http://www.mathworks.co.jp">www.mathworks.co.jp</a> ) で [サポート] をクリックし、テクニカル サポートの検索エリア (ソリューション) を使用して情報を検索します。

## MATLAB のアンインストールとアクティベーションの停止

このセクションの内容…

“MathWorks 製品のアンインストール” (p.1-52)

“ライセンスのアクティベーションの停止” (p.1-54)

“アンインストール プログラムの非対話モードでの実行” (p.1-60)

### MathWorks 製品のアンインストール

メモ ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2つの独立した操作です。コンピューターからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。ソフトウェアをアンインストールする場合は、アンインストーラーによってアクティベーション停止のオプションが提供されます。ソフトウェアのアクティベーション停止の詳細は、“ライセンスのアクティベーションの停止” (p.1-54)を参照してください。

MathWorks 製品をシステムから削除するには、以下の手順に従います。

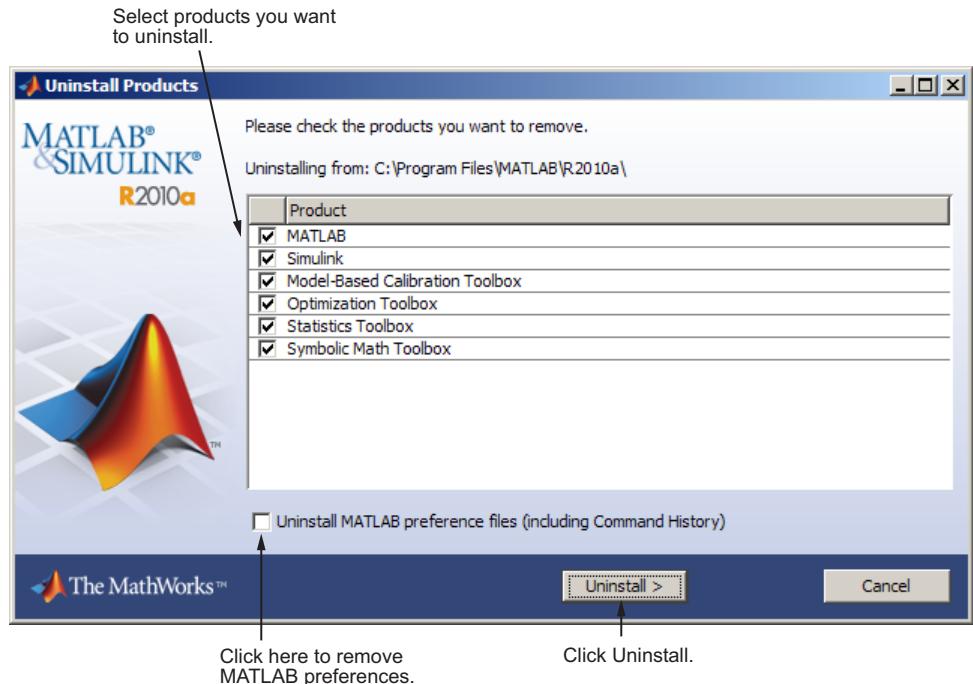
1 MATLAB ソフトウェアを終了します。

2 アンインストーラーを起動します。

Windows の [スタート] メニューから、[設定] > [コントロール パネル] > [プログラムの追加と削除] を選択します。製品のリストから MATLAB R2010a を選択します。または、MATLAB のインストール フォルダーで `uninstall` フォルダーを開き、`uninstall.exe` をダブルクリックしても、アンインストーラーを起動することができます。初期化ファイルを使用してアンインストーラーを非対話モードで実行する方法は、“アンインストール プログラムの非対話モードでの実行” (p.1-60)を参照してください。

3 削除する製品を選択して、[アンインストール] をクリックします。

アンインストーラーが起動すると、選択したリリースに関連付けられている製品の一覧が表示されます。MATLAB を選択すると、他のすべての MathWorks 製品が自動的に削除されます。



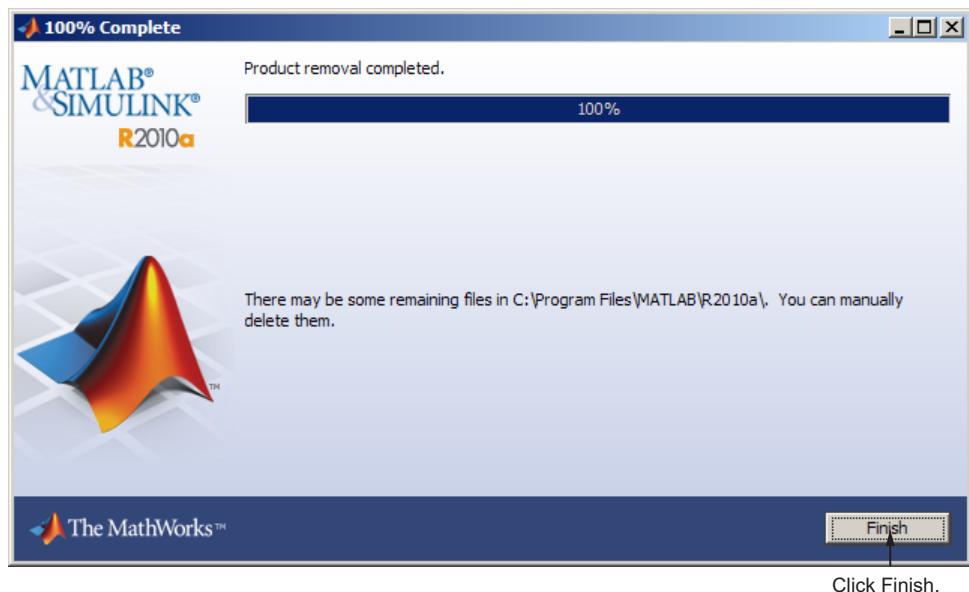
アンインストールしようとしている製品に、別の製品が依存していることを知らせるメッセージが表示される場合があります。たとえば、すべての MathWorks 製品には MATLAB 製品が必要です。メッセージを閉じて製品のアンインストールを続行するには [OK] をクリックします。削除する製品を変更する場合は、[キャンセル] をクリックします。詳細は、“製品の依存関係”(p.3-5)を参照してください。

MATLAB 設定ファイルも削除する場合は、[MATLAB 設定ファイルのアンインストール] チェックボックスをオンにします。既定では、アンインストーラーによりこれらの設定ファイルが削除されることはありません。MATLAB の設定ファイルには、コマンド履歴やヘルプのお気に入りなどの環境設定が含まれています。MATLAB 設定ファイルの保存場所を見つけるには、次に示すように MATLAB プロンプトで `prefdir` コマンドを使用します。

```
prefdir
ans =
C:\WINNT\Profiles\username\Application Data\MathWorks\MATLAB\R2010a
```

*username* の部分には、アンインストーラーを実行するユーザーの名前が入ります。

- 4 (オプション) ダウンロードのアーカイブ ファイルを削除するかどうかを選択します。MATLAB インストール フォルダーにダウンロードした製品のアーカイブ ファイルが含まれる場合は、これらのアーカイブ ファイルを削除するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。これらのアーカイブ ファイルは `matlabroot/archives` フォルダーに格納されています。これらのファイルを削除するには、[はい] をクリックします。
- 5 削除を続行するには [アンインストール] ボタンをクリックします。アンインストーラーでは、操作の進捗状況が表示され、操作が完了するとダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてアンインストーラーを終了します。MATLAB をアンインストールする場合は、ダイアログ ボックスにインストールのアクティベーションの停止を勧めるメッセージが表示されます。詳細は、“ライセンスのアクティベーションの停止”(p.1-54)を参照ください。



## ライセンスのアクティベーションの停止

ライセンスのアクティベーションを停止すると、特定のコンピューターで MathWorks ソフトウェアが使用できなくなります。アクティベーションの停止は、複数のコンピューターにおけるソフトウェアの使用を管理するために有効な方法です。たとえば、新しいコンピューターにソフトウェアをインストールしてアクティベートする際に、ライセンスで許可されているアクティベーションが既にすべて実行済である場合、1 台のコン

ピューターで既存のアクティベーションを停止すれば、新しいコンピューターでアクティベーションを実行できるようになります。

アクティベーションを停止するには、2つの段階があります。まずお使いのコンピューターでライセンスのアクティベーションを停止し、次に MathWorks のシステムでライセンスのアクティベーションを停止します。インターネットに接続している場合は、MathWorks のアクティベーション停止アプリケーションによって、両方の操作が処理されます。インターネットに接続していない場合は、アクティベーション停止アプリケーションによってコンピューターのソフトウェアが無効になり、アクティベーション停止文字列が提示されます。アクティベーション停止処理を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスしてアカウントにログインし、アクティベーション停止文字列を入力しなければなりません。ライセンスのアクティベーションを停止すると、特定のコンピューターで、このライセンスのすべてのインストールに対するアクティベーションが停止されます。

---

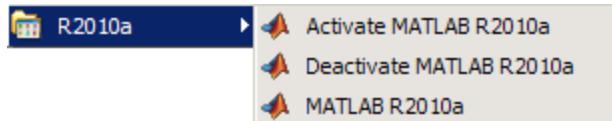
**メモ** ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2つの独立した操作です。コンピューターからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。インストールの削除の詳細は、“MathWorks 製品のアンインストール”(p.1-52)を参照してください。

---

コンピューター上のライセンスのアクティベーションを停止するには、以下の手順に従います。

- 1 以下のいずれかの方法を使用して、アクティベーション停止アプリケーションを起動します。

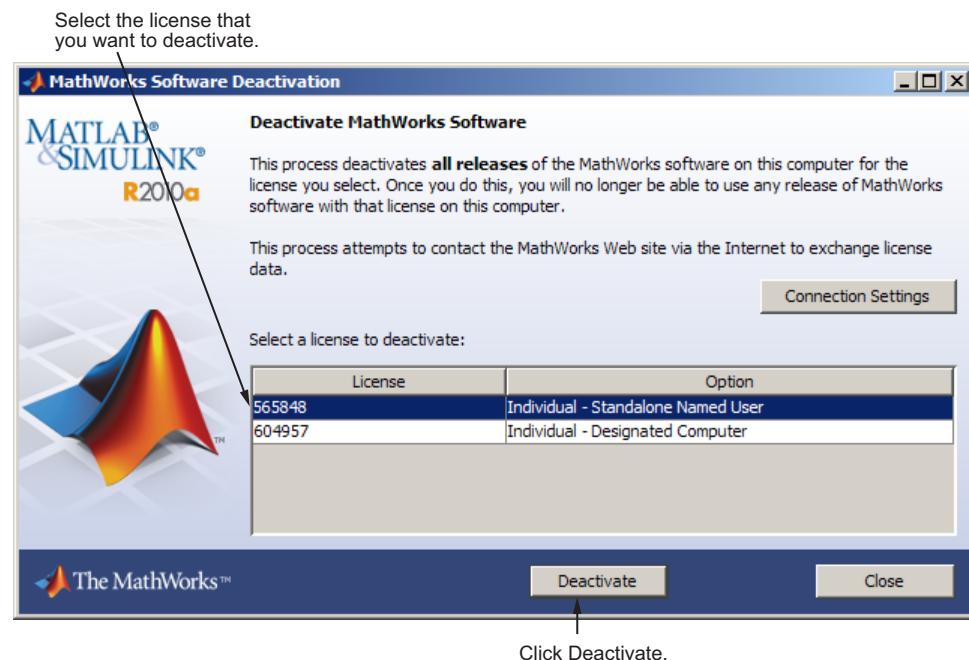
- Windows の [スタート] メニューをクリックし、[プログラム] > [MATLAB] > [R2010a] > [アクティベーション停止 MATLAB R2010a] を選択します。



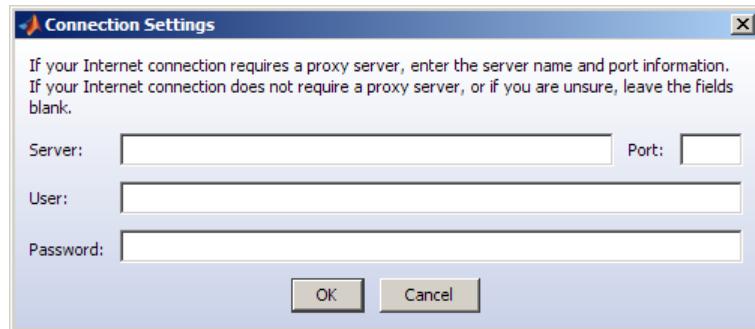
- アンインストーラーの実行後に、アクティベーション停止の開始を選択します。
- 認証確認でインストールが有効でないことが検出された後に、アクティベーション停止の開始を選択します。

- MATLAB デスクトップの [ヘルプ] > [ライセンス] メニューから、アクティベーション停止のオプションを選択します。
  - MATLAB インストール フォルダーの `uninstall` フォルダーを開いて、`deactivate_matlab.exe` をダブルクリックします。
- 2 アクティベーションを停止するライセンスを選択して、[アクティベーション停止] をクリックします。

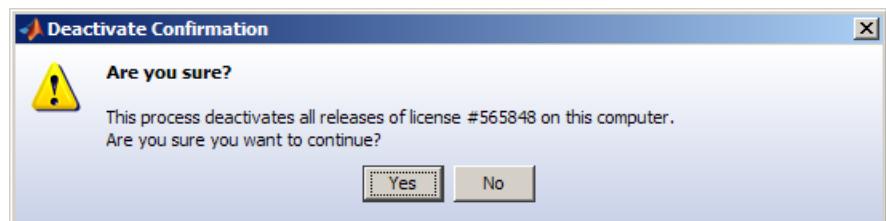
アクティベーション停止アプリケーションが起動すると、現在システムにインストールされていて、アクティベートされているライセンスが表示されます。MATLAB 内からこのアプリケーションを起動すると、使用しているライセンスがあらかじめ選択されています。



インターネット接続でプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックしてサーバー名とポート情報を入力します。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。

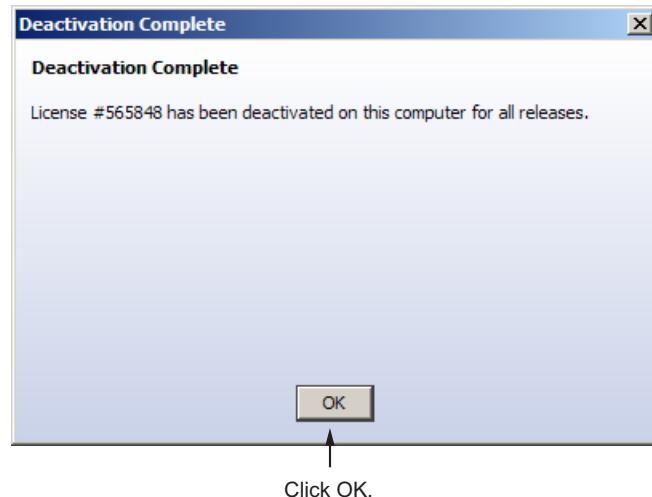


- 3 アクティベーションの停止を確認します。[はい] をクリックすると、アクティベーション停止アプリケーションによって MathWorks への連絡が行われます。

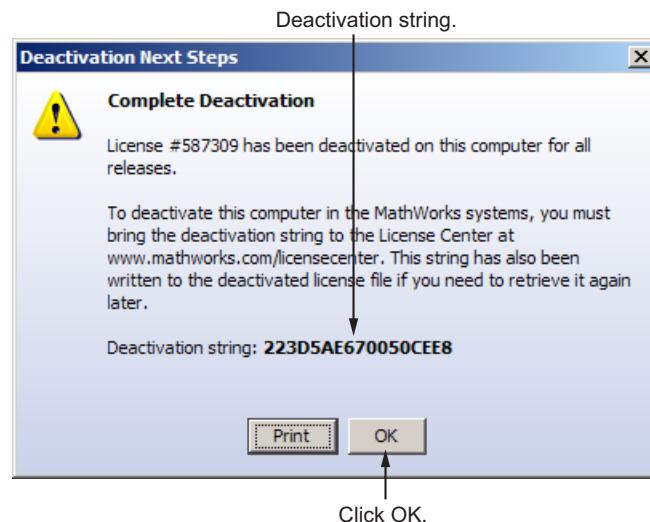


- 4 アクティベーションの停止を完了します。[OK] をクリックします。

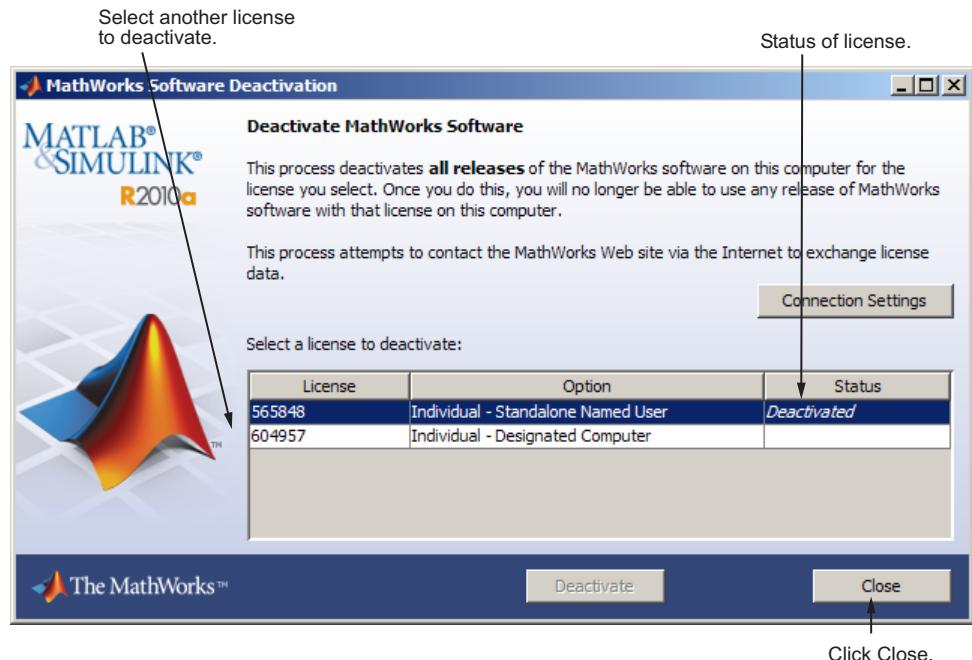
アクティベーション停止アプリケーションによって、コンピューターと MathWorks システムのライセンスのアクティベーションを停止できた場合は、[アクティベーション停止完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[OK] をクリックして [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。必要であれば、このダイアログ ボックスで他のライセンスを選択して、アクティベーションを停止することができます。



アクティベーション停止アプリケーションによってコンピューターのライセンスのアクティベーションが停止でき、MathWorks システムのライセンスのアクティベーションは停止できない場合は、[アクティベーション停止の次の手順] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスには、アクティベーション停止文字列が記載されています。アクティベーションの停止を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスしてアカウントにログインし、アクティベーション停止文字列を使用してアクティベーションを停止しなければなりません。詳細は、ライセンスセンターのヘルプを参照してください。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。



- 5 一覧から別のライセンスを選択して [アクティベーション停止] をクリックし、アクティベーション停止の手順を繰り返すか、[閉じる] をクリックしてアクティベーション停止アプリケーションを終了します。ライセンスのアクティベーションの停止後、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスには新しい列が追加され、ライセンスの状態が表示されます。



## アンインストール プログラムの非対話モードでの実行

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 アンインストーラー初期化ファイルを作成します。

MATLAB インストール フォルダーの `uninstall` フォルダーには `uninstaller.ini` という名前のアンインストーラー初期化ファイルのテンプレートがあります。このファイルをコピーします。

```
copy mat\abroot\uninstall\uninstaller.ini C:\temp\my_uninstall.ini
```

- 2 初期化ファイルのコピーを任意のテキストエディターで開き、すべての必要な情報を入力します。たとえば、削除するインストールのルートフォルダ名を指定するには、`directory` パラメーターを使用します。

```
directory=C:\Program Files\MATLAB\R2010a
```

この初期化ファイルでは、削除する製品の名前や、その他のパラメーターを指定できます。既定では、アンインストーラーではすべての製品が削除されます。初期化ファイルで必須情報が欠けていると、アンインストーラーが停止し、エラーがログに記録されます。次にあげる 2 つのパラメーターはオプションですが、設定されることが多いパラメーターです。

- `visible=` – アンインストーラーをサイレント モードで実行する場合、既定ではダイアログ ボックスが表示されますが、対話的応答は不要です。サイレント インストール中にこのダイアログ ボックスを非表示にするには、`visible` パラメーターの値を `false` に設定します。

```
visible=false
```

- `outlog=` – アンインストーラーでインストールの削除状況を報告するログ ファイルを作成するには、`outlog` パラメーターの値として絶対パスを指定します。

```
outlog=C:\temp\my_uninstall.log
```

3 ファイルへの変更を保存します。

4 コマンド ラインの引数として初期化ファイルを指定するには、`-if` フラグを使用してアンインストーラー (`uninstall.exe`) を実行します。

たとえば、[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択して、ダイアログ ボックスで、コマンド `uninstall` を入力し、初期化ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定します。

```
uninstall.exe -if C:\temp\my_uninstall.ini
```

---

メモ 非対話モードで実行する場合、アクティベーション停止アプリケーションは自動的に起動されません。

---

## システム要件

このセクションの内容…

“Windows” (p.1-62)

“ライセンス管理” (p.1-62)

---

メモ システム要件に関する最新情報は、MathWorks Web サイト ([www.mathworks.co.jp](http://www.mathworks.co.jp)) を参照してください。

---

### Windows

32 ビットおよび 64 ビットの MathWorks 製品

オペレーティング システム	プロセッサ	ディスク容量	RAM
Windows XP Service Pack 3	SSE2 命令セットをサポートする Intel® または AMD x86 プロセッサー*	1 GB (MATLAB のみ) 標準インストールには 3 ~ 4 GB	1024 MB
Windows Server 2003 R2 Service Pack 2			(少なくとも 2048 MB を推奨)
Windows Vista™ Service Pack 1 または 2			
Windows Server 2008 Service Pack 2 または R2			
Windows 7			

### ライセンス管理

- ライセンスの種類によっては、FLEXnet® 11.6.1 を実行するライセンス サーバーが必要です。これは、MathWorks インストーラーにより提供されます。MATLAB の複数のリリースに使用するライセンス サーバーでは、使用する MATLAB のうち最新リリースに付属の FLEXnet のバージョンを使用しなければなりません。

- ・ ライセンス サーバーを使用する場合は、すべてのプラットフォームで TCP/IP が必要です。



# ネットワークライセンスオプションのインストール

---

このトピックでは、Microsoft Windows オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット) を搭載したコンピューターに、MathWorks 製品をインストールする方法を説明します。この手順は、[コンカレント] や [ネットワーク ネームド ユーザー] など、ネットワーク構成内でインストールできるライセンスオプションに使用します。MathWorks 製品のスタンダードアロン インストールの詳細は、章 1, “標準インストールとアクティベーションの手順”を参照してください。

- ・ “概要” (p.2-2)
- ・ “サーバーへのライセンスマネージャーのインストール” (p.2-3)
- ・ “クライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストール” (p.2-23)
- ・ “ネットワークインストール後の作業” (p.2-40)
- ・ “非対話モードのインストール (サイレントインストール)” (p.2-45)

## 概要

ネットワーク構成によっては、複数のインストールを実行しなければならないことがあります。

- ・ サーバーへのライセンス マネージャーのインストール - ネットワーク インストールの場合、製品へのアクセスをコントロールするために FLEXnet ライセンス マネージャーをインストールしなければなりません。ライセンス マネージャーは、すべてのネットワーク ユーザーが利用できるサーバーにインストールします。このドキュメンテーションでは、このサーバーを「ライセンス サーバー」と呼びます。自分の環境で既に FLEXnet ライセンス マネージャーを実行していて、ライセンスの扱いに慣れている場合は、デーモンを適切なフォルダーにコピーし、既存のライセンス マネージャーを使用することができます。手順を追った説明は、“サーバーへのライセンス マネージャーのインストール”(p.2-3)を参照してください。
- ・ MathWorks 製品のサーバーへのインストール - ネットワーク構成において、MathWorks 製品をローカル システムにインストールするのではなく、共有の場所から使用しなければならない場合は、製品ファイルをサーバーにインストールします。このサーバーはライセンス サーバーと同じシステムである必要はありませんが、同じシステムである場合は、MathWorks 製品をライセンス マネージャーと一緒にインストールできます。
- ・ それぞれのクライアント システムへの MathWorks 製品のインストール - ネットワーク構成において、MathWorks 製品を各ユーザーのシステムにインストールし、ネットワークを通じてライセンス サーバーにアクセスする場合は、製品ファイルを各システムにインストールします。クライアント システムは、ネットワークを通じてライセンス サーバーに接続できなければなりません。“クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール”(p.2-23)を参照してください。

各ダイアログ ボックスで必要な情報を入力してインストールを対話的に実行する代わりに、インストーラーを非対話モードで実行することができます。このモードでは、通常対話モードで入力するすべての情報は、初期化ファイルに入力します。詳細は、“非対話モードのインストール (サイレント インストール)”(p.2-45)を参照してください。

---

メモ ネットワーク ライセンス オプションを使用する場合は、ソフトウェアをアクティベートするためにアクティベーション アプリケーションを実行する必要はありません。代わりに、インストールの前に MathWorks Web サイトのライセンス センターでライセンス サーバーのアクティベーションを行います。クライアント インストールではアクティベーションの必要はありません。

---

## サーバーへのライセンス マネージャーのインストール

### このセクションの内容…

- “ステップ 1:インストールの準備” (p.2-3)
- “ステップ 2:インストーラーの起動” (p.2-4)
- “ステップ 3:ソフトウェア ライセンス許諾書の確認” (p.2-6)
- “ステップ 4:MathWorks アカウントへのログイン” (p.2-7)
- “ステップ 5:インストールするライセンスの選択” (p.2-9)
- “ステップ 6:カスタム インストールの選択” (p.2-11)
- “ステップ 7:インストール フォルダーの指定” (p.2-11)
- “ステップ 8:インストールする製品の指定” (p.2-12)
- “ステップ 9:ライセンス ファイルの場所の指定” (p.2-14)
- “ステップ 10:ライセンス マネージャー サービスの設定” (p.2-15)
- “ステップ 11:インストール オプションの指定” (p.2-16)
- “ステップ 12:選択内容の確認” (p.2-18)
- “ステップ 13:インストールの完了” (p.2-21)
- “ステップ 14:製品とライセンス情報のクライアントへの提供” (p.2-21)

---

メモ ネットワーク構成において、ライセンス マネージャーと MATLAB ソフトウェアを同じサーバーで実行する必要がある場合は、両方のインストールを同時に実行できます。

---

### ステップ 1:インストールの準備

インストーラーを実行する前に、次の手順を実行します。

- ・ ライセンス ファイルを用意します。ネットワーク構成では、サーバーでインストーラーを実行する前にライセンスのアクティベーションを行います。MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスして、ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を入力します。MathWorks によってライセンス ファ

イルが作成され、ライセンス センターからダウンロードできます。サーバーにライセンス マネージャーをインストールする際に、このライセンス ファイルを指定します。ソフトウェアをアクティベートできるのは、ネットワーク ライセンス オプションの管理者のみです。

- ・ インストールを行うシステムで実行中の、既存の MATLAB を終了します。
- ・ ライセンス マネージャーを実行中の場合は、ライセンス マネージャーを停止します。詳細は、“ライセンス マネージャーの起動と停止”(p.2-40)を参照してください。
- ・ MATLAB をインストールするシステムの管理者権限を取得します。
- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ライセンス マネージャーは、各環境で 1 回のみインストールします。MathWorks ソフトウェアのクライアントへのインストールの詳細は、“クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール”(p.2-23)を参照してください。

### 既存のインストールをアップグレードする場合

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいバージョンを新しいインストール フォルダーにインストールすることを推奨します。これは、ソフトウェアのプレリリース バージョンのインストールをアップグレードする場合も同様です。このリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。同一システムで MATLAB の複数のリリースを実行することができます。

---

**メモ** ライセンス マネージャーを新しいフォルダーにインストールする場合は、インストーラーを起動する前にライセンス マネージャー サービスを削除するか、ステップ 10 で尋ねられた際にライセンス マネージャーの設定を行わないように選択します。別々のフォルダーにインストールされている場合でも、2 つのライセンス マネージャーを同時に実行することはできません。

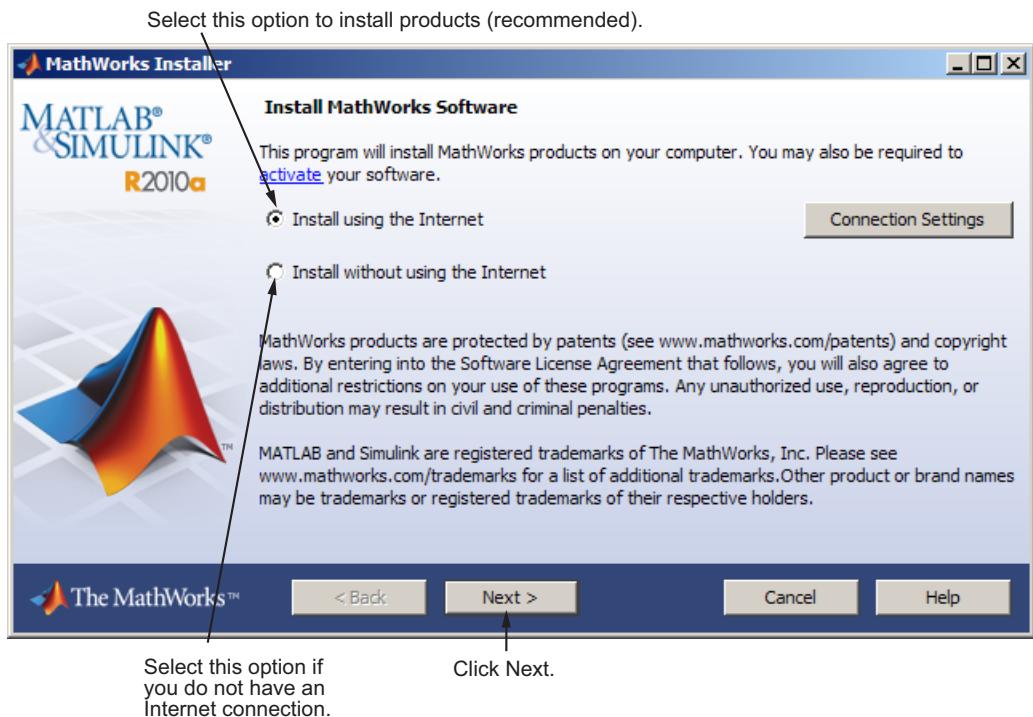
---

### ステップ 2: インストーラーの起動

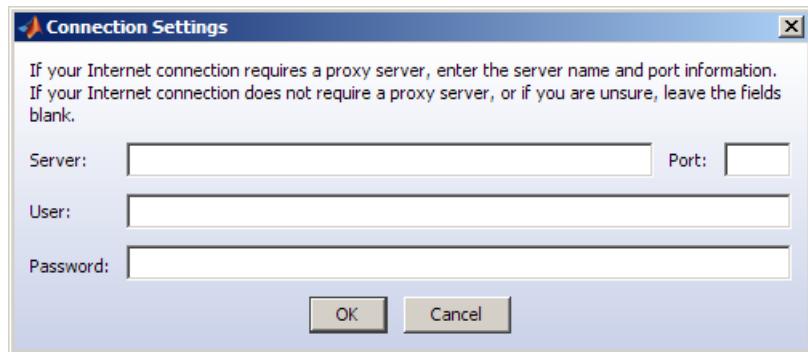
システムに接続された DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。

インターネットに接続している場合は、既定の [インターネットを使ってインストール] オプションを選択した状態のまままで、[次へ] をクリックします。インストール中には、MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択して、インストーラーの他のダイアログ ボックスの指示に従って作業を進めます。これが、最も簡単なインストール方法です。

インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。



インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[詳細オプション] ダイアログ ボックスに、サーバー名とポート情報を入力します。MathWorks では、基本認証、要約認証、NTLM 認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。



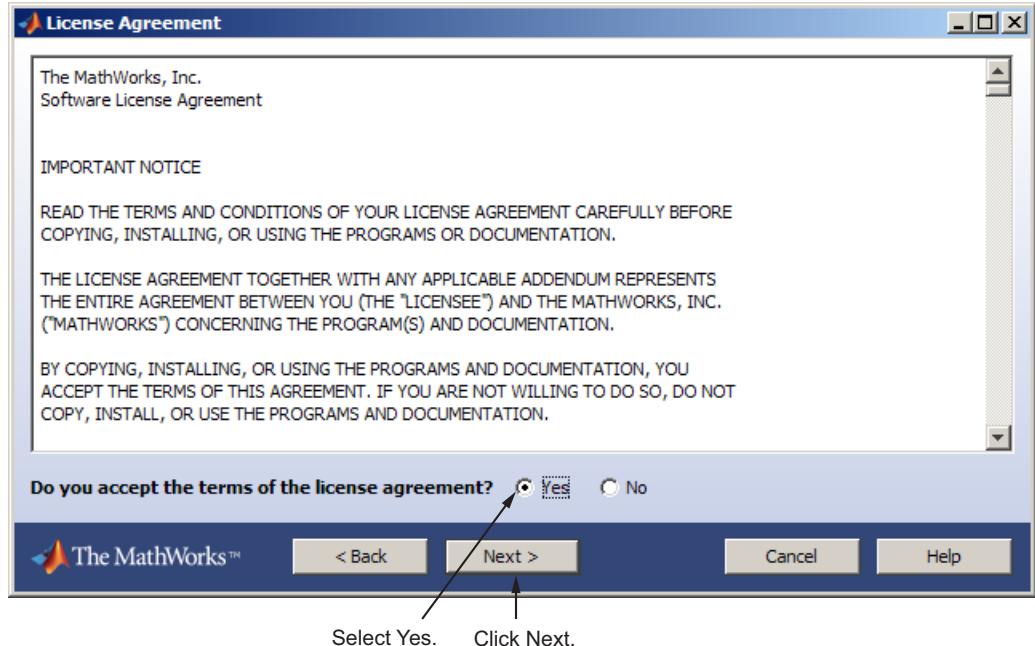
### 関連するトピック

インストール中にインターネットに接続できない場合は、“インターネット接続なしのインストールとアクティベーション”(p.1-33)を参照してください。ネットワーク インストールでは、追加のステップを実行しなければなりません。

### ステップ 3:ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

インストールの完了後は、インストール フォルダーのトップ レベルにある license.txt ファイルを使用して、ライセンス許諾書を表示または印刷することができます。



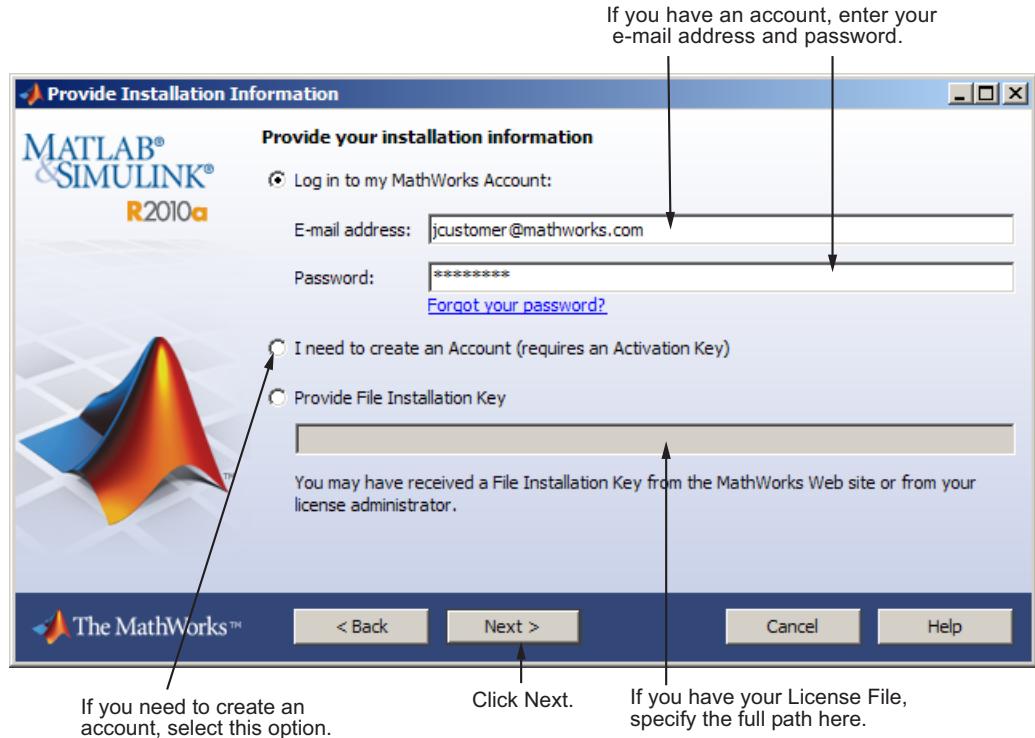
## ステップ 4:MathWorks アカウントへのログイン

メモ ネットワークライセンスをアクティベートできるのは、ライセンス管理者のみです。

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントをおもちでない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータを入力することができます。

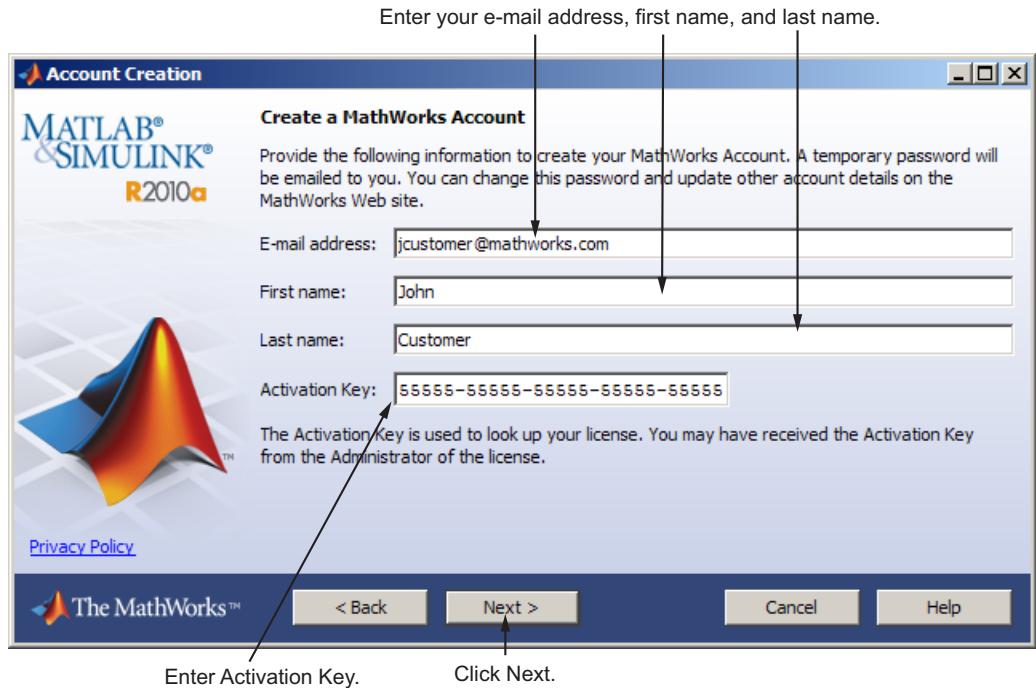
ファイル インストール キーをおもちの場合は、[ファイル インストール キーを提出] オプションを選択して、キーを入力します。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。



入力したファイル インストール キーによってインストールする製品が指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

### MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびアクティベーション キーを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーを入力しなければなりません。アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。



入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

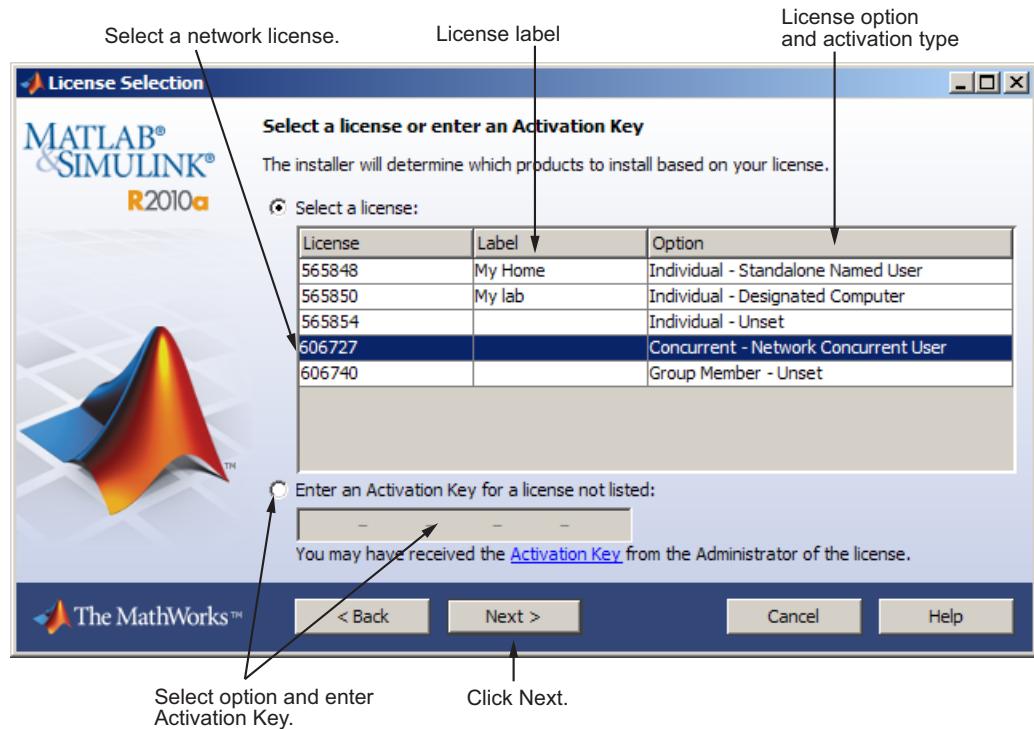
## ステップ 5:インストールするライセンスの選択

自分の MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧から、ネットワークライセンス オプションをもつライセンスを選択して [次へ] をクリックします。この一覧には、次のようなライセンスに関する情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号
- ・ ライセンスの特定に役立つ、ライセンスの内容を説明するオプションのテキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンスセンターにアクセスします。詳細は、ライセンスセンターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを識別する情報。サーバーインストールの場合は、ネットワーク ライセンス オプションが指定されたライセン

スを選択します。アクティベーション タイプが設定されていない場合は、[Unset]と表示されます。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。

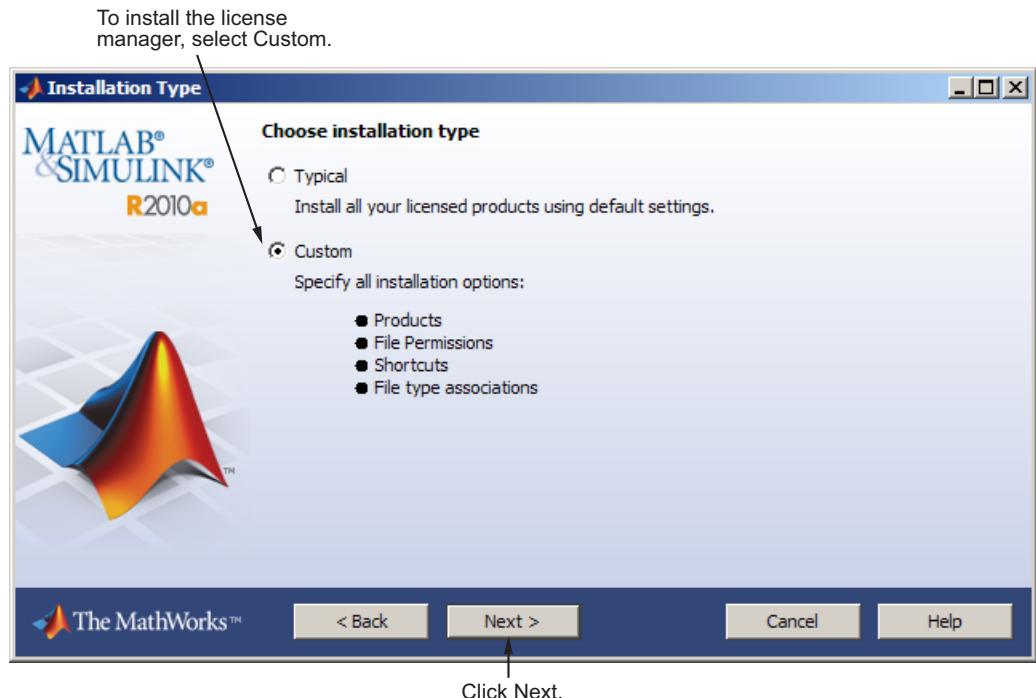


### アクティベーション キーとは？

アクティベーション キーはライセンスを識別する固有のコードで、ライセンスのアクティベーションを行うために使用します。またこのキーを使って、ライセンスを受けたエンド ユーザーが MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

## ステップ 6:カスタム インストールの選択

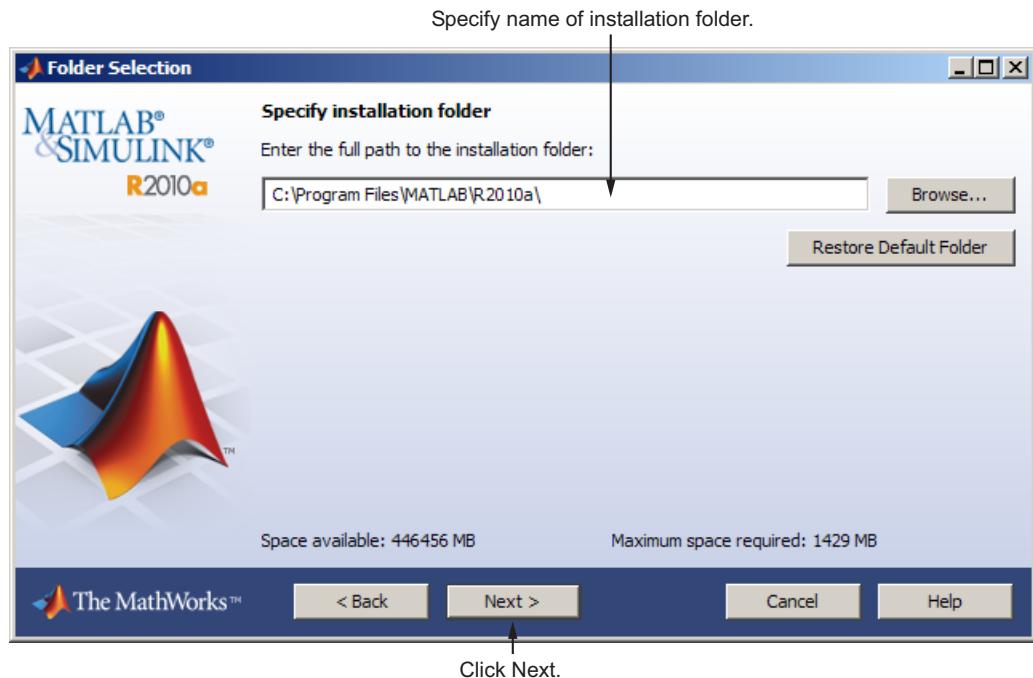
ライセンス マネージャーをインストールするには、[カスタム] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。



## ステップ 7:インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使用するか、別のインストール フォルダーを指定できます。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダ名には、アット記号 (@)、感嘆符 (!)、パーセント記号 (%)、プラス記号 (+)、およびドル記号 (\$) を使用することができません。また、インストール フォルダーの絶対パスに private という名前のフォルダーを含むことはできません。間違ったフォルダ名を入力してしまった場合に、既定のフォルダ名を使用してやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。インストールを続行するには [次へ] をクリックします。

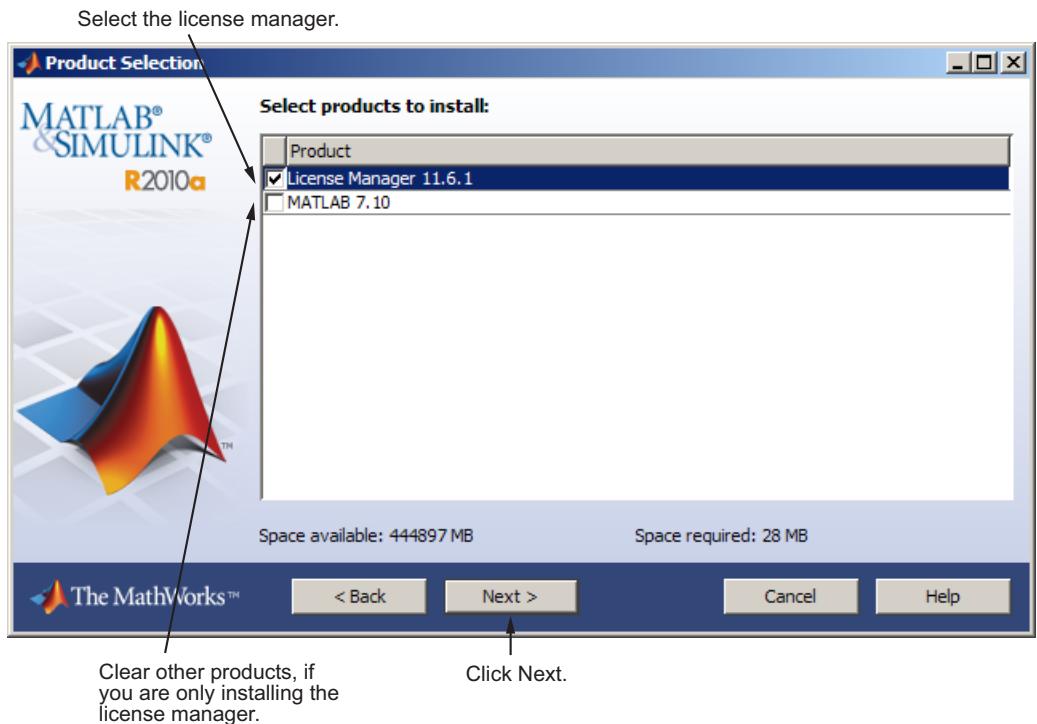


### ステップ 8:インストールする製品の指定

ライセンス マネージャーをインストールするには、製品リストでライセンス マネージャーを選択しなければなりません。既定では、ライセンス マネージャーはインストール用に選択されていません。

サーバーにライセンス マネージャーのみをインストールする場合は、他の製品の横にあるチェック ボックスをクリアします。中央のサーバーでユーザーが MathWorks 製品を実行するようにリモート アクセスを設定する場合、この中央のサーバーがライセンス サーバーであるなら、一覧でインストールのために選択された他の製品をすべて選択したままにしておきます。

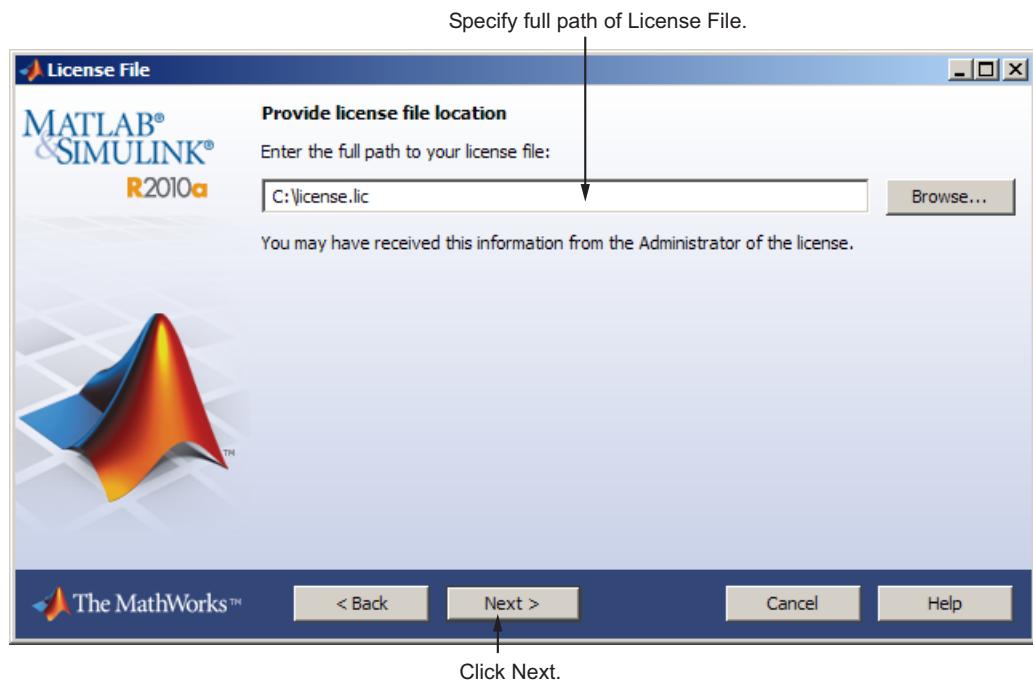
選択が完了したら [次へ] をクリックしてインストールを続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという旨の警告メッセージが表示されることがあります。詳細は、“製品の依存関係”(p.3-5)を参照してください。



## ステップ 9:ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスにライセンス ファイルの完全なパスを入力(またはファイルをドラッグ アンド ドロップ)し、「次へ」をクリックします。

サーバーにライセンス マネージャーをインストールする際に、MathWorks から受け取ったライセンス ファイルを指定します。



## サーバーでのライセンス ファイルの処理

ライセンス マネージャーをインストールするサーバー インストールでは、The MathWorks から受け取ったライセンス ファイルの場所を指定しなければなりません。インストーラーでは、このライセンス ファイルについて以下の処理が実行されます。

- ライセンス ファイルのコピーを作成して、license.dat という名前を付け、MATLAB インストール フォルダーの `\flexlm` フォルダーにこのコピーを配置します。

- ファイルに SERVER 行と DAEMON 行を追加します。SERVER 行はサーバー（ホストとポート番号）を識別します。DAEMON 行は、ライセンス マネージャー デーモン (matlabroot/flexlm/mlm.exe) の名前を識別します。

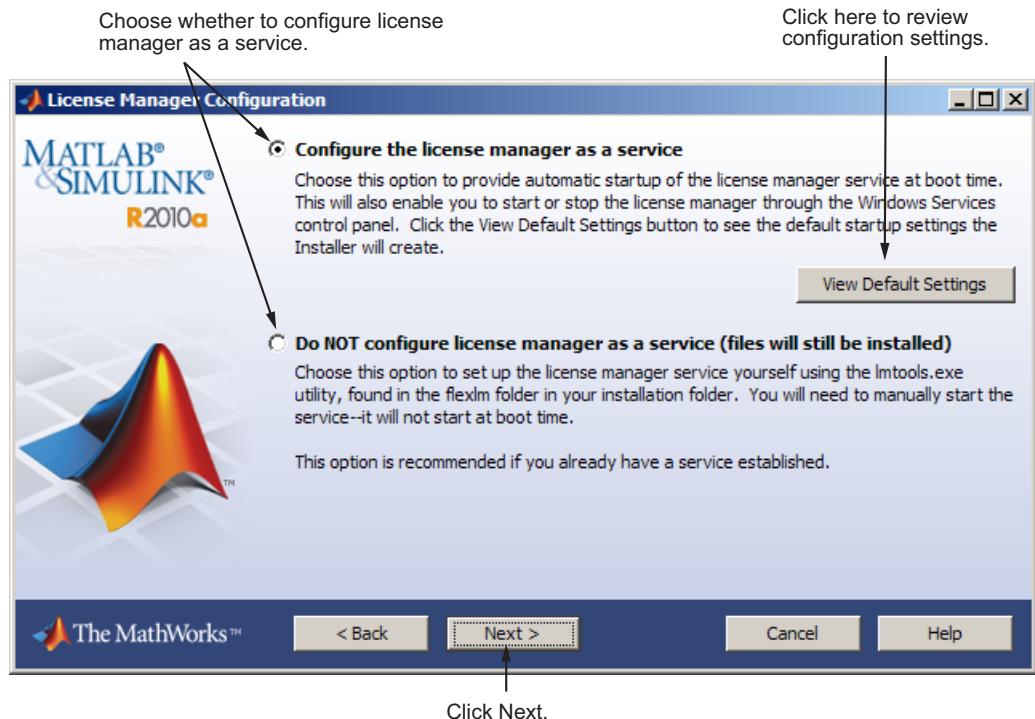
## ステップ 10:ライセンス マネージャー サービスの設定

MathWorks では、ライセンス マネージャー サービスを設定するように推奨します。これにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動され、Windows の [サービス] コントロール パネルからライセンス マネージャーを一元管理できます。既定のライセンス マネージャー設定を確認するには、[既定設定の表示] をクリックします。設定が [ライセンス マネージャーの設定] ダイアログ ボックスに表示されます。ライセンス マネージャー サービスを設定しないように選択した場合は、後から設定することができます。

---

メモ 新しいライセンス マネージャーをインストールするまで、既存のライセンス マネージャー継続して使用する場合は、[ライセンス マネージャー サービスを設定しない] オプションを選択します。この場合でも、ライセンス マネージャー ファイルはインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動します。

---



## ステップ 11: インストールオプションの指定

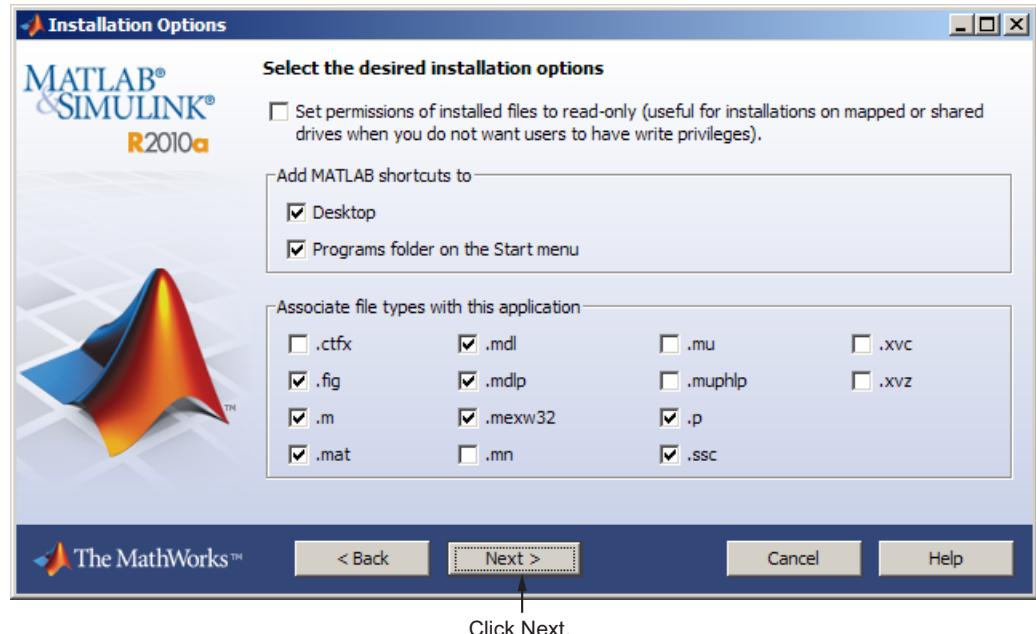
**メモ** このダイアログボックスは、MATLAB ソフトウェアをサーバーにインストールする場合にのみ表示されます。ライセンスマネージャーのみをインストールする場合、このダイアログボックスは表示されません。

カスタムインストールでは、次のようないくつかのインストールオプションを指定することができます。

- ・ インストールしたすべてのファイルのアクセス許可を読み取り専用に設定
- ・ インストーラーによって [スタート] メニューとデスクトップ上に MATLAB ソフトウェアのショートカットを作成するかどうかを指定

- オペレーティング システムに MATLAB と関連付けさせるファイルの拡張子を指定。たとえば、.m 拡張子をもつファイルを MATLAB に関連付けると、オペレーティング システムではこれらのファイルが MATLAB M-file として識別されます。インストーラーでは、インストールする製品に関連付けられた拡張子があらかじめ選択されています。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



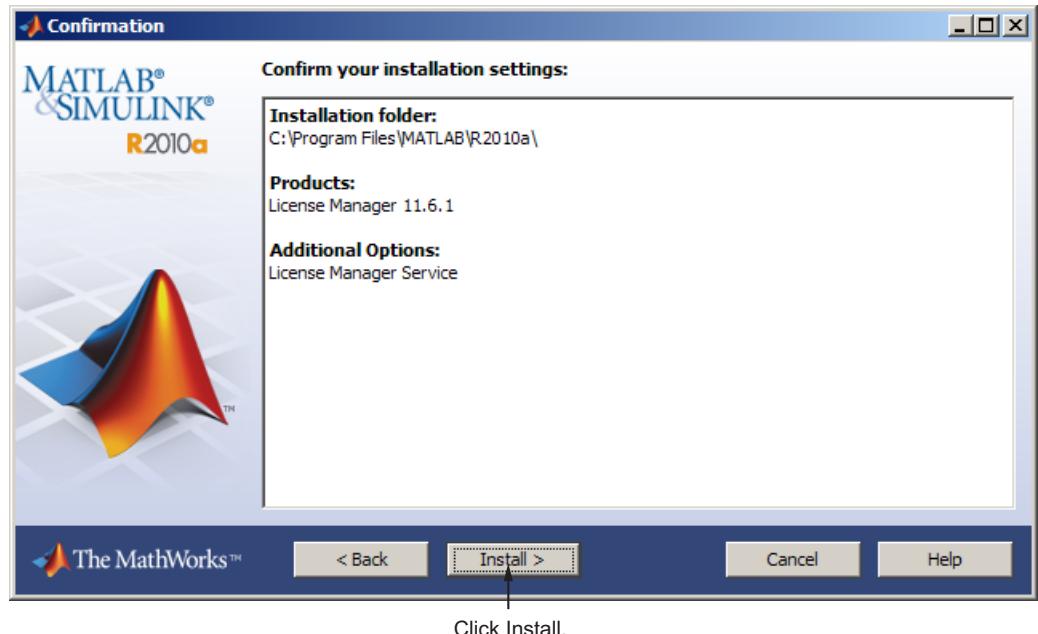
次の表に、これらのファイル拡張子を簡単に説明します。

ファイル拡張子	説明
.ctfx	MATLAB のコンパイルしたアプリケーション
.fig	MATLAB Figure
.m	MATLAB コード
.mat	MATLAB データ

ファイル拡張子	説明
.mdl	Simulink モデル
.mdlp	Simulink の保護されたモデル
.mex*	MATLAB MEX。この拡張子はプラットフォームに特定のもので、.mexw32 または .mexw64 になります。
.mn	MuPAD ノートブック
.mu	MuPAD コード
.muphlp	MuPAD ヘルプ
.p	MATLAB P コード
.ssc	Simscape モデル
.xvc	MuPAD グラフィックス
.xvz	MuPAD グラフィックス

## ステップ 12: 選択内容の確認

ファイルをハードディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



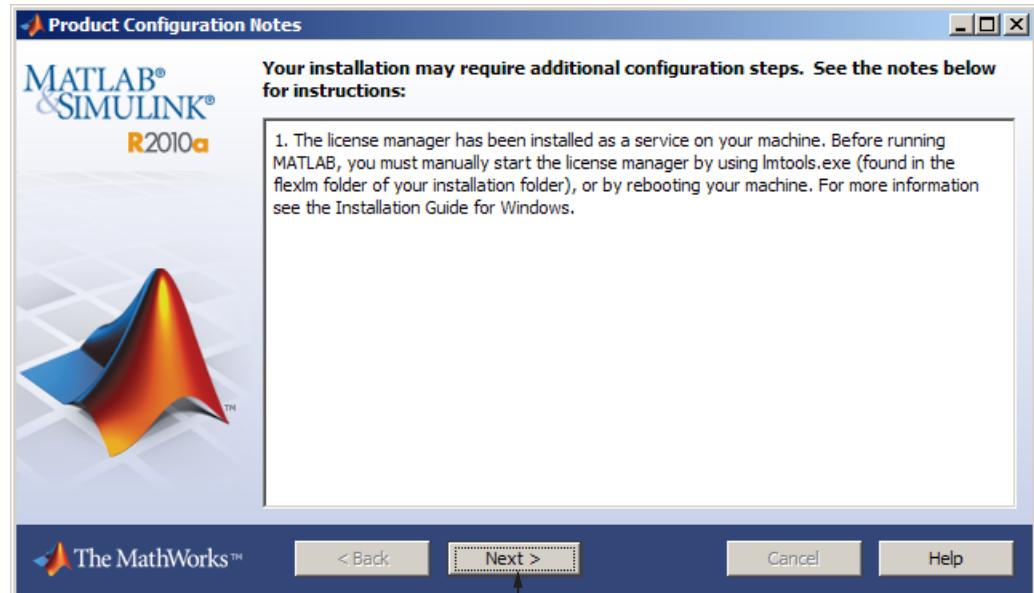
Click Install.

ファイルをハード ドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示す  
ダイアログ ボックスが表示されます。

### 製品設定に関するメモの確認

インストーラーに、サーバーでライセンス マネージャーを起動する方法の情報が表示されます。他の製品をインストールした場合は、この他の製品設定や製品の更新に関する情報が表示されることもあります。

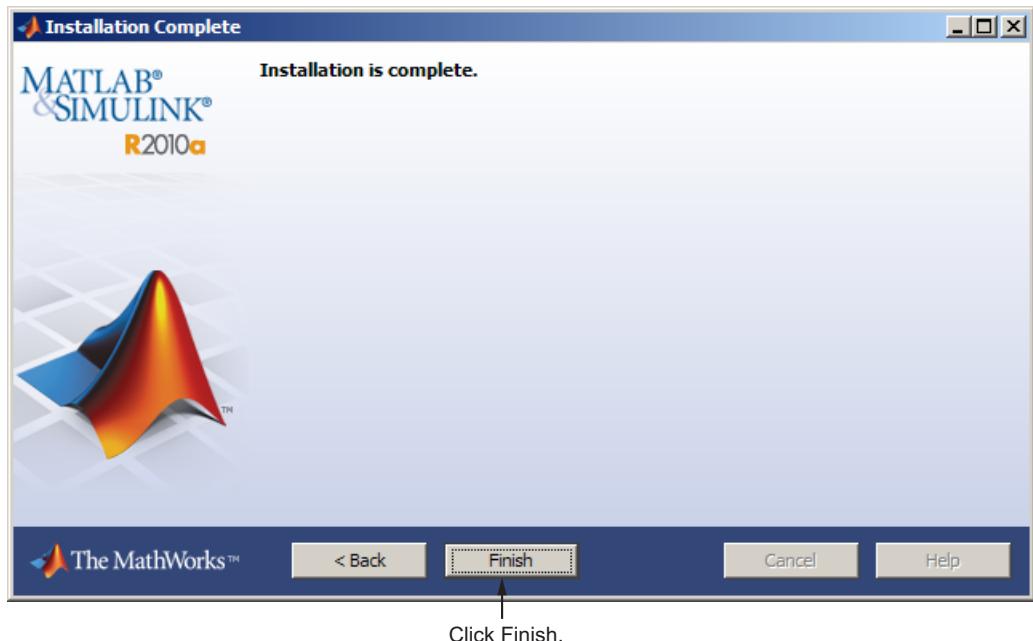
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



## ステップ 13:インストールの完了

MathWorks インストーラーが終了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーをサービスとしてインストールした場合は、ここでコンピューターを再起動することを推奨します。クライアントシステムで MATLAB を起動するには、ライセンス マネージャーが実行中でなければなりません。ライセンス マネージャーはサービスなので、システムの起動時に自動的に開始されます。



## ステップ 14:製品とライセンス情報のクライアントへの提供

ライセンス マネージャーをサーバーにインストールした後、MathWorks 製品のインストールを希望するユーザーに以下のものを提供します。

- ライセンス情報 - サーバーでのライセンス マネージャーのインストール時に処理したライセンス ファイルのコピーを、ユーザーに渡します。インストーラーにより、オリジナルのライセンス ファイルのコピーが作成され、license.dat という名前が付けられ、クライアントがライセンス マネージャーに接続するために必要な情報が

追加されています。このライセンス ファイルは `matlabroot\flexlm` にあります。ここで `matlabroot` は、MATLAB のインストール フォルダーです。

---

メモ クライアントへのインストールを行うユーザーには、ライセンスを付与する電子メールから作成したオリジナルのライセンス ファイルのコピーは渡さないでください。これらのユーザーは、この形式のライセンス情報を使用することができません。また、MathWorks から受信したライセンスを付与する電子メールをユーザーに転送することも避けてください。

---

製品ファイルへのアクセスをどのように提供するかによって、クライアントへのインストールを行うユーザーに、ライセンスのファイル インストール キーか、ライセンスのアクティベーション キーを提供しなければなりません。

- ・ 製品ファイルへのアクセス – クライアントへのインストールを行うユーザーが製品ファイルを利用できるようにするには、いくつかの方法があります。MathWorks 製品 の DVD をユーザーと共有することができます。また、製品ファイルをダウンロードして、すべてのクライアントがアクセスできるサーバーで提供することもできます。これらの場合、ユーザーが製品をインストールするには、ファイル インストール キーが必要となります。  
クライアントへのインストールを行うユーザーが MathWorks アカウントをもっている場合は、ライセンスのアクティベーション キーを渡し、ユーザーがインストールの際にアカウントにログインして、MathWorks から製品ファイルをダウンロードするようにできます。
- ・ インストールの手順 – ユーザーに“クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール”(p.2-23)に記載されている手順を提供します。混乱を避けるため、ライセンス マネージャーのインストール手順は渡さないようにしてください。

## クライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストール

### このセクションの内容…

- “ステップ 1:インストールの準備” (p.2-23)
- “ステップ 2:インストーラーの起動” (p.2-24)
- “ステップ 3:ソフトウェア ライセンス許諾書の確認” (p.2-25)
- “ステップ 4:MathWorks アカウントへのログイン” (p.2-26)
- “ステップ 5:インストールするライセンスの選択” (p.2-28)
- “ステップ 6:インストール タイプの指定” (p.2-30)
- “ステップ 7:インストール フォルダーの指定” (p.2-31)
- “ステップ 8:インストールする製品の指定” (p.2-31)
- “ステップ 9:ライセンス ファイルの場所の指定” (p.2-33)
- “ステップ 10:インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)” (p.2-34)
- “ステップ 11:選択内容の確認” (p.2-36)
- “ステップ 12:インストールの完了” (p.2-39)

### ステップ 1:インストールの準備

ライセンス管理者から、必要なインストールとライセンスの情報を入手します。次の情報が必要です。

- ・ クライアントへのインストールでは、サーバーへのライセンス マネージャーのインストール時に処理されたライセンス ファイルを使用しなければなりません。このライセンス ファイルには、インストール中にクライアントで必要な情報が追加されています。ライセンス管理者が製品ファイルへのアクセスをどのように提供するかによって、ファイル インストール キーかアクティベーション キーのいずれかが必要になります。詳細は、ライセンス管理者にお問い合わせください。
- ・ インストールを行うシステムで実行中の、既存の MATLAB を終了します。
- ・ MATLAB をインストールするシステムの管理者権限を取得します。
- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションに

よって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなつたように見えたりすることがあります。

多くのクライアントへのインストールを行う場合は、インストーラー初期化ファイルを作成して、インストーラーを非対話モードで実行することができます。“非対話モードのインストール（サイレントインストール）”(p.2-45)を参照してください。

### 既存のインストールをアップグレードする場合

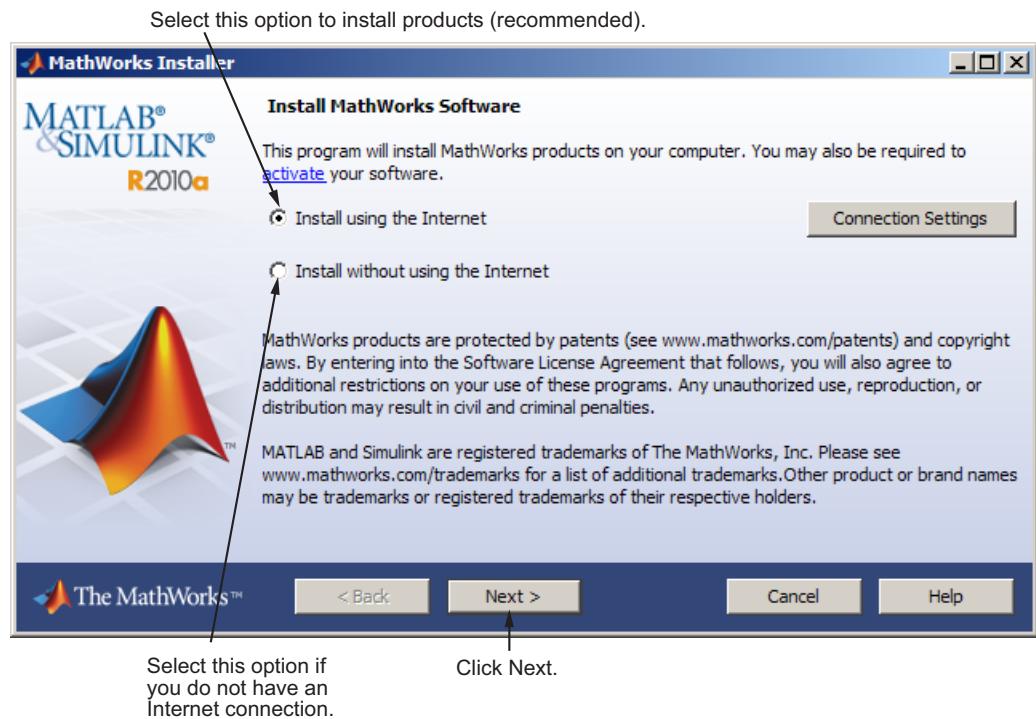
MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいバージョンを新しいインストール フォルダーにインストールすることを推奨します。これは、ソフトウェアのプレリリース バージョンのインストールをアップグレードする場合も同様です。このリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。同じシステムで複数のバージョンの MATLAB を実行できます。

### ステップ 2: インストーラーの起動

システムに接続された DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。

インターネットに接続している場合は、既定の [インターネットを使ってインストール] オプションを選択した状態のままで、[次へ] をクリックします。インストール中には、MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択して、インストーラーの他のダイアログ ボックスの指示に従って作業を進めます。これが、最も簡単なインストール方法です。

インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。



インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[詳細オプション] ダイアログ ボックスに、サーバー名とポート情報を入力します。MathWorks では、基本認証、要約認証、NTLM 認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。

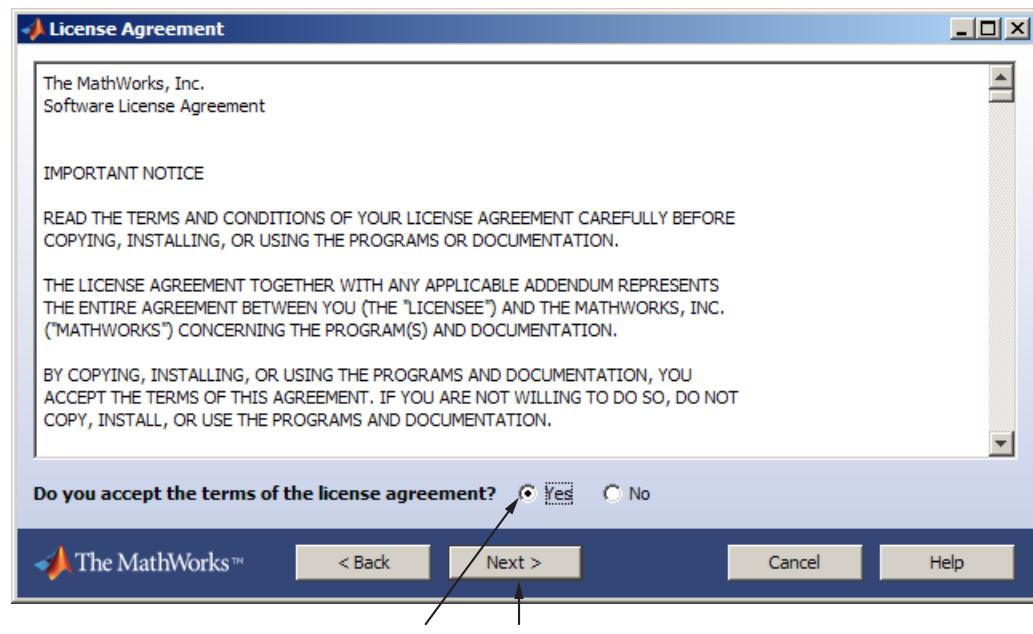
### 関連するトピック

インストール中にインターネットに接続できない場合は、“インターネット接続なしのインストールとアクティベーション”(p.1-33)を参照してください。ネットワーク インストールでは、追加のステップを実行しなければなりません。

### ステップ 3:ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

インストールの完了後は、インストール フォルダーのトップ レベルにある license.txt ファイルを使用して、ライセンス許諾書を表示または印刷することができます。

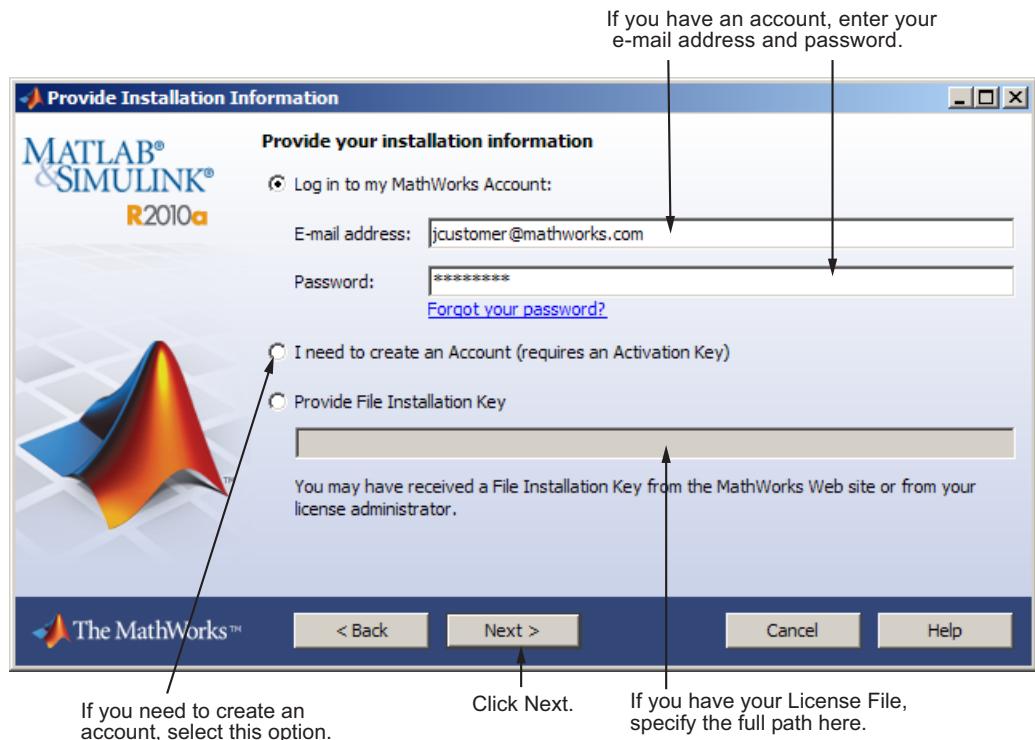


### ステップ 4:MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントをおもちでない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータを入力することができます。

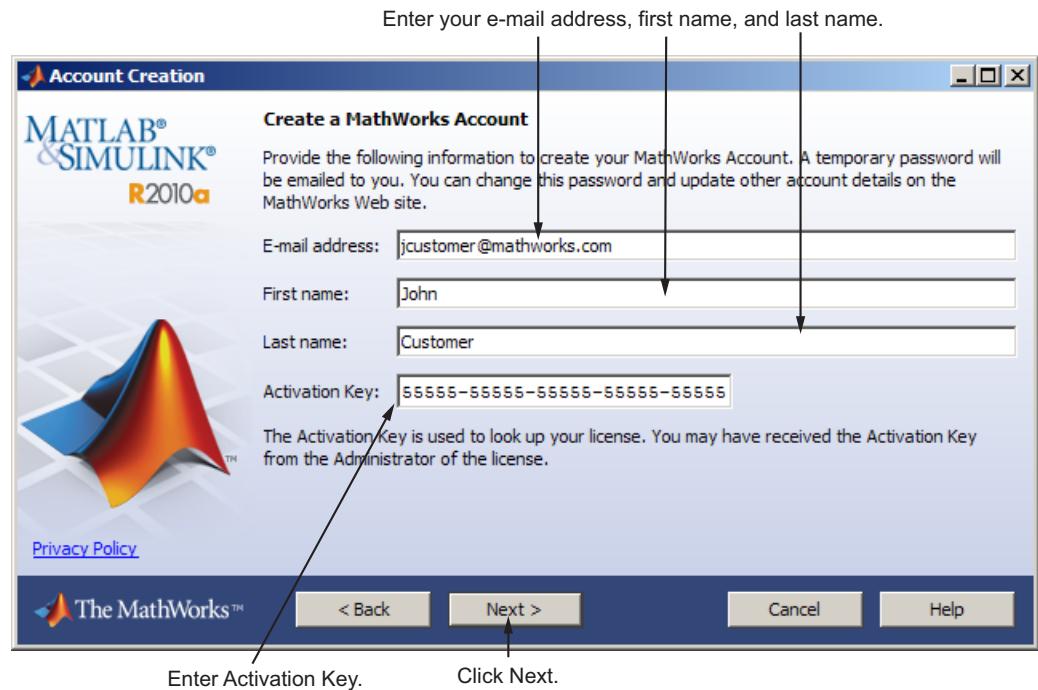
ファイル インストール キーをおもちの場合は、[ファイル インストール キーを提出] オプションを選択して、キーを入力します。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。



入力したファイルインストールキーによってインストールする製品が指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

### MathWorks アカウントの作成

電子メールアドレス、姓、名、およびアクティベーションキーを入力します。アカウントを作成するには、アクティベーションキーの入力が必要です。新しく作成したアカウントには、関連付けられたライセンスはありません。アクティベーションキーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンスセンターからキーを取得できます。[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。



入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

### ステップ 5:インストールするライセンスの選択

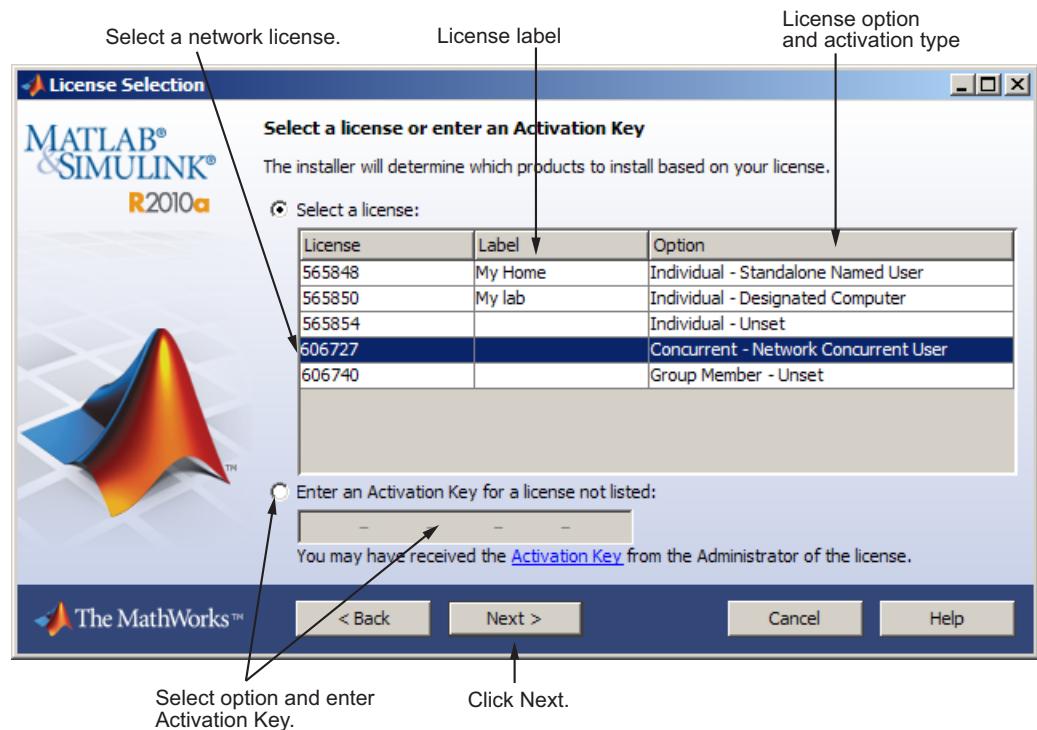
**メモ** 前のステップでアクティベーション キーを指定した場合、インストーラーではこのステップが省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、「次へ」をクリックします。この一覧には、次のようなライセンスに関する情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号

- ・ ライセンスの特定に役立つ、ライセンスの内容を説明するオプションのテキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンスセンターにアクセスします。詳細は、ライセンスセンターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを識別する情報。ライセンスでまだアクティベーション タイプが設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

一覧に目的のライセンスが表示されない場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択して、アクティベーション キーを入力します。アクティベーション キーは、ライセンスを識別する固有のコードです。

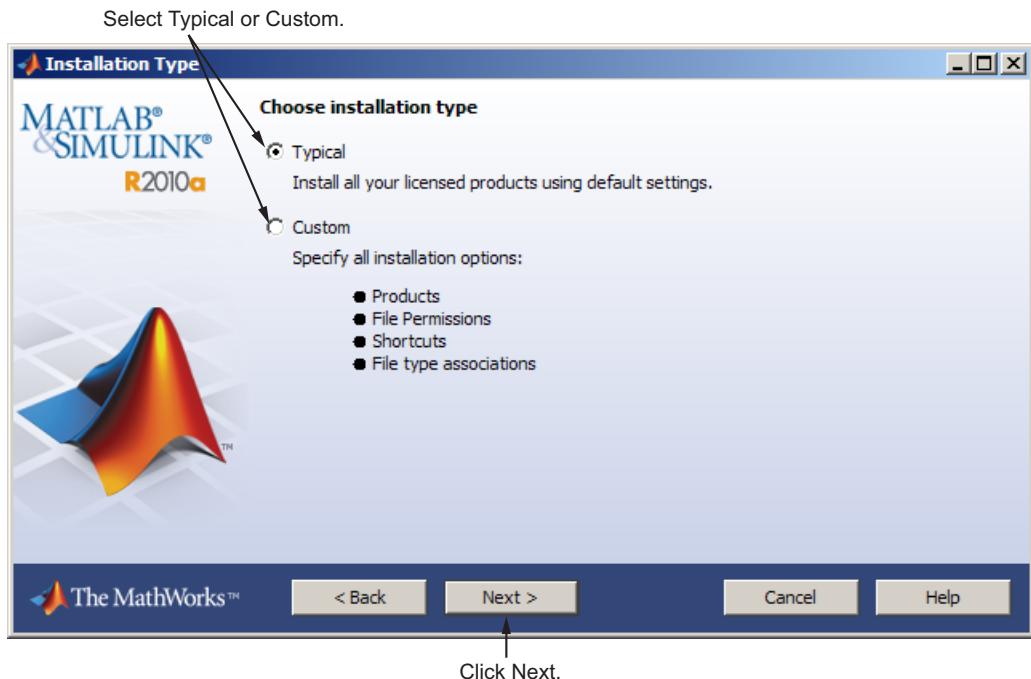


## ステップ 6:インストール タイプの指定

メモ クライアントへのインストールでは、インストールに対してライセンス マネージャーがあらかじめ選択されていないため、[標準] オプションを選ぶことができます。

[インストール タイプ] ダイアログ ボックスで、標準インストール、またはカスタム インストールのいずれを実行するかを指定して、[次へ] をクリックします。

- インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちで、インストールする製品を指定する必要がなく、インストール オプションにアクセスする必要がない場合は、[標準] を選択します。
- インストールする製品の指定が必要な場合、インストール オプションへのアクセスが必要な場合、またはライセンス マネージャーのインストール（ネットワーク ライセンス オプションのみ）が必要な場合は、[カスタム] を選択します。

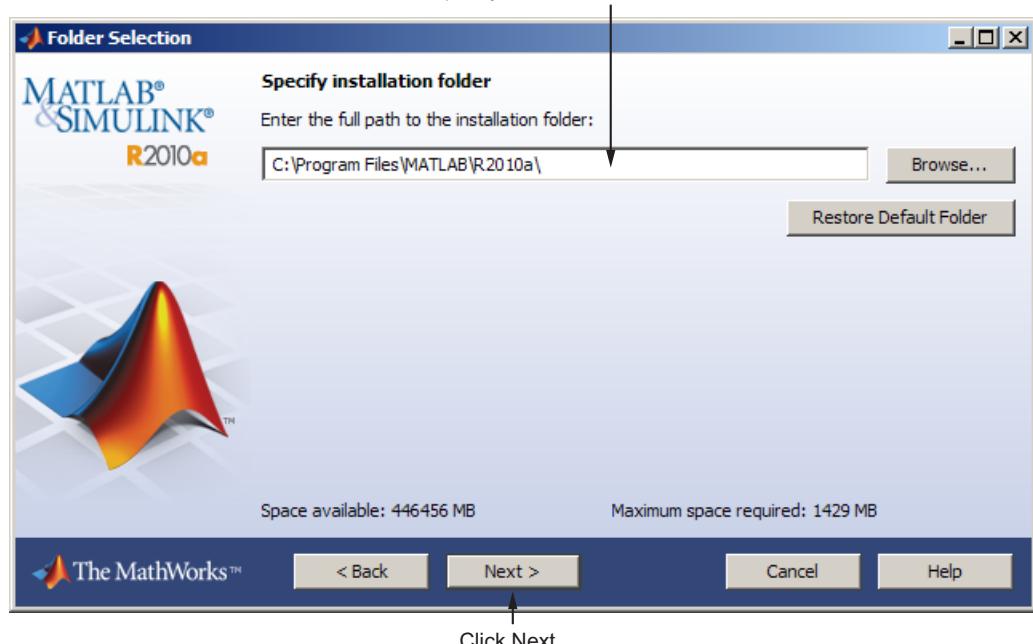


## ステップ 7:インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使用するか、別のインストール フォルダーを指定できます。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダーネームには、アット記号 (@)、感嘆符 (!)、パーセント記号 (%)、プラス記号 (+)、およびドル記号 (\$) を使用することができません。また、インストール フォルダーの絶対パスに private という名前のフォルダーを含むことはできません。間違ったフォルダーネームを入力してしまった場合に、既定のフォルダーネームを使用してやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。インストールを続行するには [次へ] をクリックします。

Specify name of installation folder.



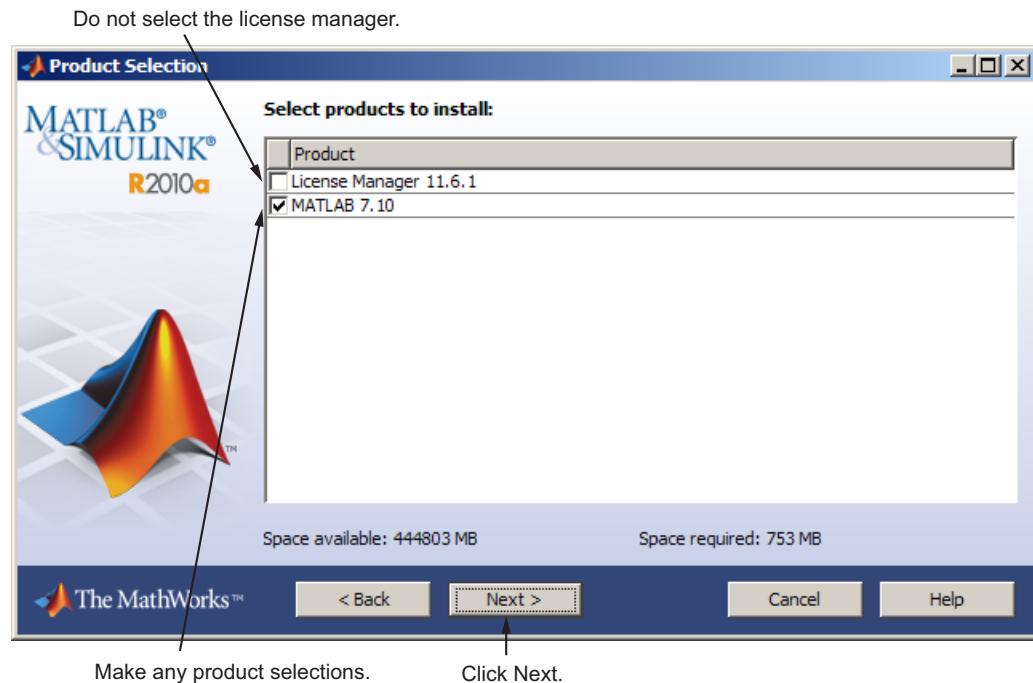
## ステップ 8:インストールする製品の指定

カスタム インストールを選択した場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスでインストールする製品を指定できます。このダイアログ ボックスには、ライセンスでインス

トールが許可されているすべての製品が一覧表示されます。一覧内の製品は、あらかじめインストールするように選択されています。

**メモ** クライアント システムにはライセンス マネージャーをインストールしないでください。

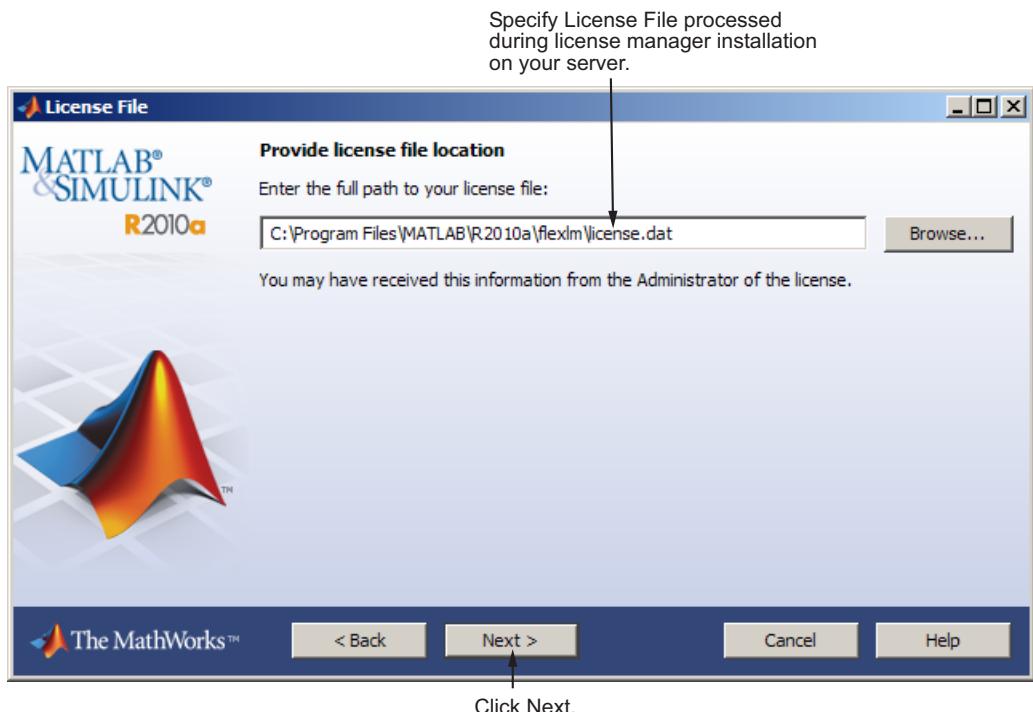
選択が完了したら [次へ] をクリックしてインストールを続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという旨の警告メッセージが表示されることがあります。詳細は、“製品の依存関係” (p.3-5)を参照してください。



## ステップ 9:ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスにライセンス ファイルの完全なパスを入力するか、ファイルをドラッグ アンド ドロップして、[次へ] をクリックします。

MathWorks ソフトウェアをクライアントコンピューターにインストールする際には、ライセンス マネージャーのサーバーへのインストール中に処理されたライセンス ファイル、`matlabroot\flexlm\license.dat` を指定しなければなりません。`matlabroot` は MATLAB のインストール フォルダーを表します。このライセンス ファイルは、ライセンス管理者から受け取っているはずです。



## クライアントにおけるライセンス ファイルの処理

インストーラーによって、クライアント システムでライセンス ファイルに対して以下の処理が行われます。

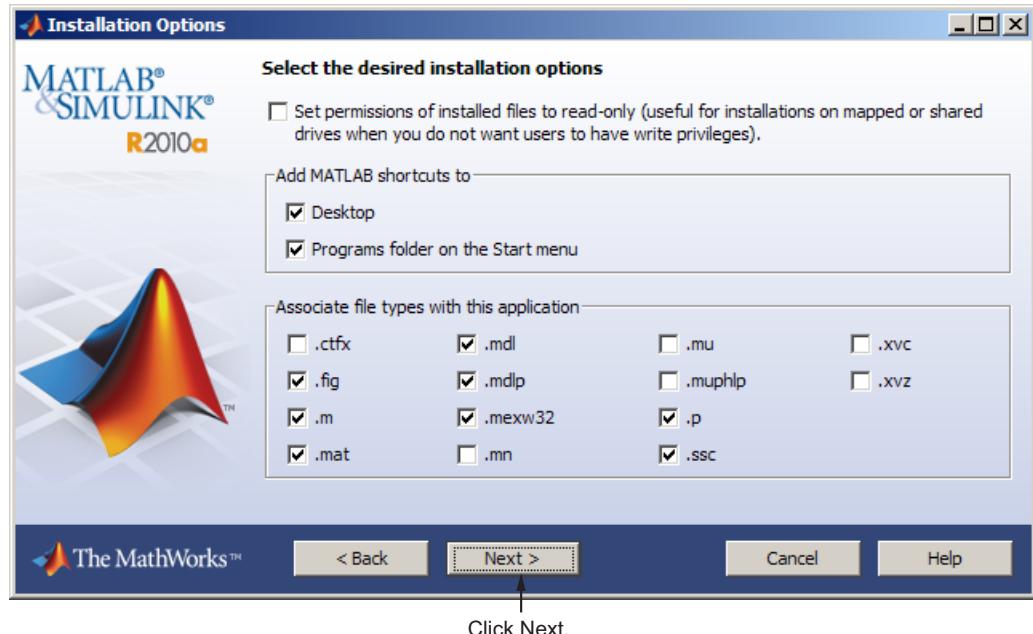
- ・ 指定したライセンス ファイルのコピーが作成され、network.lic という名前で、MATLAB クライアントのインストール フォルダーにある ¥licenses フォルダーに配置されます。
- ・ ライセンス ファイルの SERVER 行はそのままで、すべての INCREMENT 行と DAEMON 行が削除されます。ファイルに、USE\_SERVER ステートメントが追加されます。

### ステップ 10:インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールでは、次のようないくつかのインストール オプションを指定することができます。

- ・ インストールしたすべてのファイルのアクセス許可を読み取り専用に設定
- ・ インストーラーによって [スタート] メニューとデスクトップ上に MATLAB ソフトウェアのショートカットを作成するかどうかを指定
- ・ オペレーティング システムに MATLAB と関連付けさせるファイルの拡張子を指定。たとえば、.m 拡張子をもつファイルを MATLAB に関連付けると、オペレーティング システムではこれらのファイルが MATLAB M-file として識別されます。インストーラーでは、インストールする製品に関連付けられた拡張子があらかじめ選択されています。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



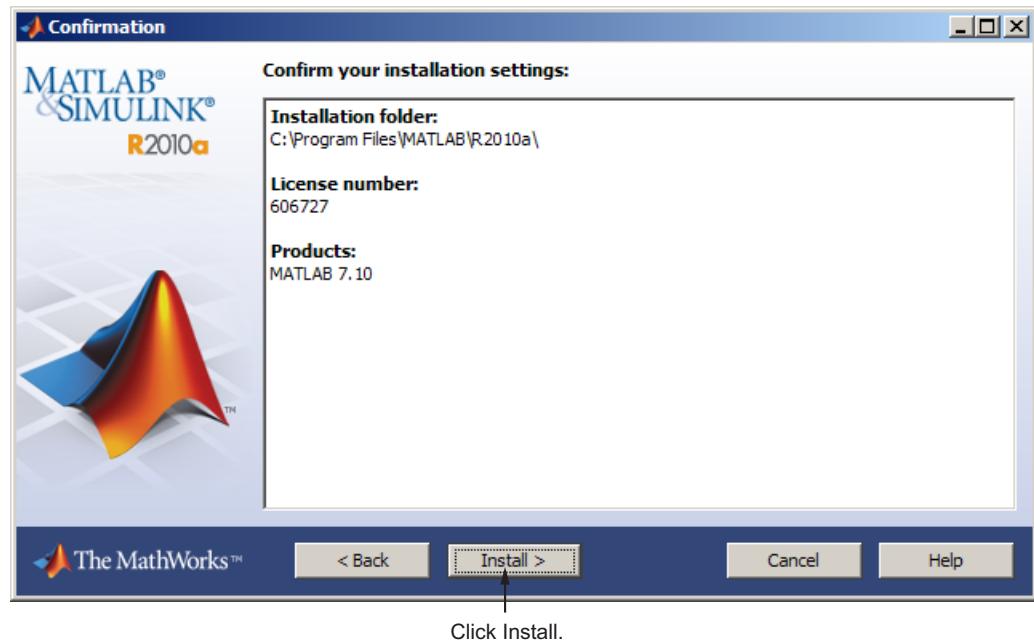
次の表に、これらのファイル拡張子を簡単に説明します。

ファイル拡張子	説明
.ctfx	MATLAB のコンパイルしたアプリケーション
.fig	MATLAB Figure
.m	MATLAB コード
.mat	MATLAB データ
.mdl	Simulink モデル
.mdlp	Simulink の保護されたモデル
.mex*	MATLAB MEX。この拡張子はプラットフォームに特定のもので、.mexw32 または .mexw64 になります。
.mn	MuPAD ノートブック
.mu	MuPAD コード

ファイル拡張子	説明
.muphp	MuPAD ヘルプ
.p	MATLAB P コード
.ssc	Simscape モデル
.xvc	MuPAD グラフィックス
.xvz	MuPAD グラフィックス

### ステップ 11: 選択内容の確認

ファイルをハードディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



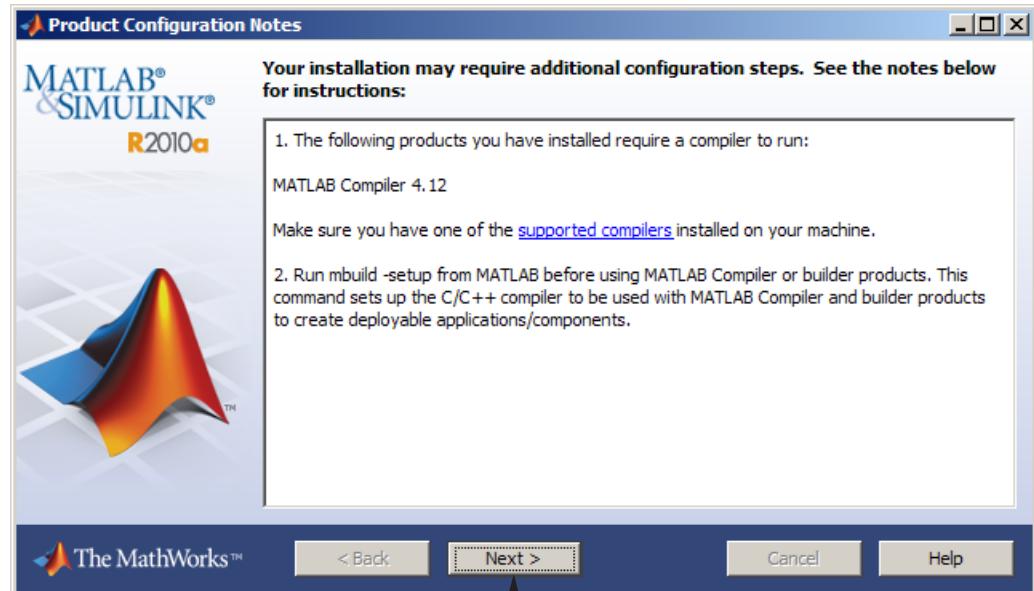
ファイルをハード ドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

### 製品設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで次のような情報を含むダイアログ ボックスが表示されることがあります。

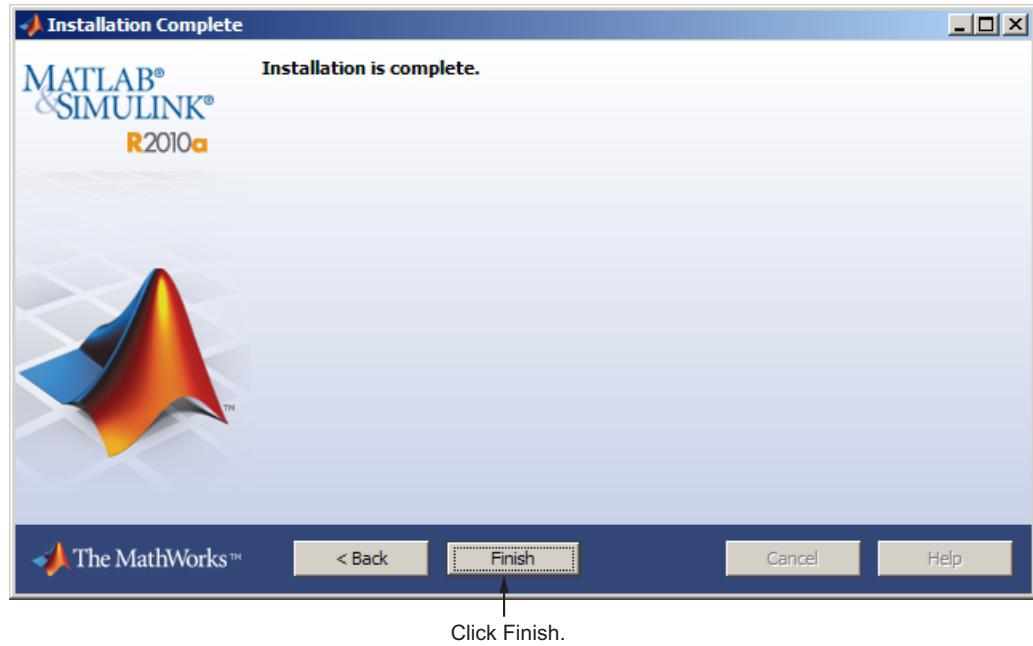
- ・ 製品の設定情報 – 一部の製品では追加の設定が必要になります。これらの製品をインストールした場合は、このダイアログ ボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。このコマンドは、システムのクリップボードにコピーして、インストールの完了後に使用することができます。
- ・ 使用可能な製品の更新 – ライセンスで指定されている製品が DVD に含まれておらず、現在インターネットに接続していないか、製品の更新をダウンロードしないように選択した場合は、このダイアログ ボックスに該当する製品の一覧が表示されます。これらの製品は、インストール完了後に MathWorks Web サイトからダウンロードできます。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



## ステップ 12: インストールの完了

MathWorks インストーラーが終了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。



### ネットワーク インストール後の作業

このセクションの内容…

“ライセンス マネージャーの起動と停止” (p.2-40)

“ライセンス マネージャーの監視と管理” (p.2-40)

“ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可” (p.2-43)

インストール後の作業について的一般情報は、“インストールの完了後” (p.1-49)を参照してください。

#### ライセンス マネージャーの起動と停止

ライセンス マネージャーをサービスとして設定した場合は、Windows の [サービス] コントロール パネルを使用して、ライセンス マネージャー サービスを起動および停止することができます。Windows の [スタート] メニューから、[設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。

また、`matlabroot\flexlm` フォルダーにもライセンス管理ツールが用意されています。これらのツールを使用すると、より適切な診断メッセージが提供されます。

#### ライセンス マネージャーの監視と管理

この節では、ライセンス マネージャーの監視と管理に使用できる、FLEXnet のライセンスによって提供されるいくつかのユーティリティについて説明します。これらユーティリティの詳細は、MATLAB のインストールに付属している PDF 形式の『*FLEXnet Licensing End User Manual*』 (`matlabroot\flexlm\LicenseAdministration.pdf`) を参照してください。

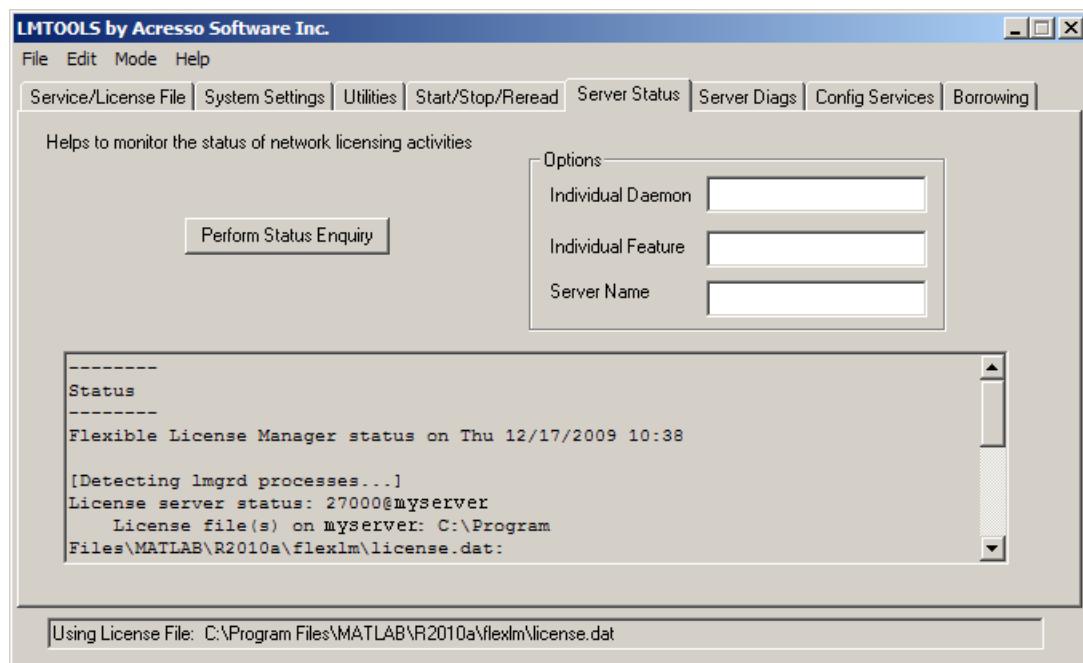
- ・ “LMTOOLS GUI の使用” (p.2-40)
- ・ “lmutil コマンド ライン ユーティリティの使用” (p.2-41)

#### LMTOOLS GUI の使用

FLEXnet ライセンスには、LMTOOLS というグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) が含まれています。LMTOOLS を使用すると、ライセンス マネージャーの状態の取得、ライセンス マネージャーのサービスとしての設定、ライセンス マネージャーの起動と停止に加え、その他の多くのライセンス管理タスクを実行することができます。

できます。以下の例では、LMTOOLS GUI を使用して、ライセンス マネージャーの現在の状態を確認する方法を示します。

- 1 `matlabroot\flexlm` フォルダーで `lmttools.exe` ファイルをダブルクリックして、LMTOOLS を起動します。
- 2 [Server Status] タブをクリックします。
- 3 [Perform Status Enquiry] ボタンをクリックします。LMTOOLS に `lmutil lmstat -a` コマンドを入力したときと同じ情報が表示されます。



### lmutil コマンド ライン ユーティリティの使用

Windows システムでは、FLEXnet ライセンスによって、すべてのライセンス管理ユーティリティが `lmutil.exe` という単一のコマンド ライン実行ファイルにまとめられています。インストーラーでは、すべてのサーバー インストールに対して `matlabroot\flexlm` フォルダーにこのユーティリティがコピーされます。`lmutil` ユーティリティの機能の一覧を表示するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開き、`matlabroot\flexlm` フォルダーに移動して次のように入力します。

**|mutil|**

次の表に、|mutil| で使用できる便利なツールをまとめます。

ユーティリティ	説明
lmdiag	ライセンス チェックアウトの問題を診断します。
lmdown	ライセンス サーバー ノードですべてのライセンス デーモン (lmgrd とすべてのベンダー デーモン) を停止します。
lmhostid	システムのホスト ID を報告します。
lmreread	ライセンス マネージャー デーモンで ライセンス ファイルの再読み込みを行い、新しいベンダー デーモンを起動します。  メモ: lmreread を使用してユーザー ベース ライセンス のライセンス ファイルを再処理する場合、関連する FLEXnet オプション ファイルにおける INCLUDE ステートメントへの変更は、15 分遅れで有効となります。
lmstat	すべてのネットワーク ライセンス アクティビティの状態を表示します。
lmswitchr	レポート ログ ファイルを切り替えます。
lmver	ライブラリまたはバイナリ ファイルのバージョンを確認します。

次の例では、ライセンス マネージャー の現在の状態を取得する方法を説明します。

DOS コマンド プロンプト ウィンドウを開き、lmstat ユーティリティを指定して |mutil| コマンドを入力します。

```
|mutil lmstat -a -c "C:\Program Files\MATLAB\R2010a\flexlm\license.dat"
```

ここでは、使用可能なライセンス の 詳細なリストを 取得するため に -a オプションを、 使用するライセンス ファイルの場所の指定に -c オプションを使用しています。 -c オプションは、|mutil|.exe で呼び出されるすべてのツールに対して指定しなければなりません。 インストールのパスがスペースを含む場合は、パスを引用符で囲みます。

出力されたステータス情報を確認します。

```
|mutil - Copyright (c) 1989-2008 Acresso Software Inc. All Rights Reserved.
```

```
Flexible License Manager status on Sun 12/17/2009 15:12
```

```
[Detecting lmgrd processes...]
```

```
License server status: 27000@customerj
```

```
License File(s) on customerj: C:\Program Files\MATLAB\R2010a\flexlm\license.dat:
```

```
customerj: license server UP (MASTER) v. 11.6.1
```

```
Vendor daemon status (on customerj):
```

```
MLM: UP v11.6.1
```

```
Feature usage info:
```

```
Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of Control_Toolbox: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of Identification_Toolbox: (Total of 5 licenses available).
```

## ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可

セキュリティ ファイアウォールで保護されているサーバー上でライセンス マネージャーを実行する場合、クライアント インストールがライセンス マネージャー デーモン、mlm.exe および lmgrd.exe と通信できるように、ファイアウォールでアクセスを許可しなければなりません。これらのデーモンの詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

## ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可

ファイアウォール プログラムで提供されているインターフェイスを使用して、ライセンス マネージャー デーモンに対してポート 27000 でのアクセスを許可します。これは、ライセンス マネージャーとの通信に使用される既定のポートです。このポート番号を変更した場合は、自分の環境で使用しているポート番号を指定します。ライセンス マネージャー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

### ベンダー デーモンへのアクセスの許可

ベンダー デーモンで使用されるポートは、動的に割り当てられます。ファイアウォールでベンダー デーモンへのアクセスを許可するには、この動的なポート番号の割り当てを使用する代わりに、ベンダー デーモンとの通信に使用するポートを指定しなければなりません。次に、ファイアウォールで割り当てたポート番号へのアクセスを許可します。

ベンダー デーモンのポート番号を指定するには、ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを編集して、DAEMON 行に port= 構文を追加します。ベンダー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

## 非対話モードのインストール（サイレント インストール）

このセクションの内容…

“非対話モードのインストールを使用する状況”(p.2-45)

“インストーラー初期化ファイルの使用”(p.2-45)

### 非対話モードのインストールを使用する状況

MATLAB ソフトウェアを多くのコンピューターにインストールする場合、各インストールで必要な情報が同じであれば、この情報をインストーラー初期化ファイルで設定して、MathWorks インストーラーを非対話モードで実行することができます。初期化ファイルでは、通常はインストーラーのダイアログ ボックスを使用して対話的に入力する情報が、インストーラーへと渡されます。非対話モードのインストール（サイレント インストールとも呼ばれます）では、時間を節約し、間違いを防ぐことができます。

### インストーラー初期化ファイルの使用

---

メモ 初期化ファイルを使用するには、ファイル インストール キーが必要です。

---

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順にしたがいます。

- 1 インストーラー初期化ファイルを作成します。

MathWorks では `installer.ini` という名前の初期化ファイルのテンプレートを提供しています。このファイルは MathWorks DVD の最上位フォルダーにあります。Windows エクスプローラーを使用して、このテンプレート ファイルのコピーを、任意の名前で任意のフォルダーに作成します。たとえば、次のように初期化ファイルを作成できます。

```
C:\temp\my_install.ini
```

- 2 任意のテキスト エディターを使用して初期化ファイルのコピーを開き、必要なインストール情報をすべて入力します。

初期化ファイルのテンプレートには、入力が必要なすべての情報のパラメータが含まれています。たとえば、製品をインストールする場所を指定するに

は、destination パラメーターの値にインストール フォルダーへの完全なパスを設定します。

```
destination=C:\Program Files\MATLAB\R2010a
```

名前、会社名、ファイル インストール キーなど、一部のパラメーターは必須です。初期化ファイルで必須フィールドに情報が指定されていないと、インストーラーは停止し、エラーがログに記録されます。次にあげる 2 つのパラメーターはオプションですが、設定されることが多いパラメーターです。

- visible= – 既定では、インストーラーをサイレント モードで実行する場合、対話的な応答を行う必要はありませんが、インストールの進行中にダイアログ ボックスが表示されます。サイレント インストール中にこれらのダイアログ ボックスを非表示にするには、visible パラメーターの値を false に設定します。
- outlog= – インストーラーでインストール状況を報告する出力ファイルを作成するには、outlog パラメーターの値として完全なパスを指定します。

初期化ファイルを使用して、ネットワーク構成内のクライアントにインストールを行う場合、以下の追加のパラメーターを設定することをお勧めします。

- createActivateShortcut= – このプロパティを false に設定すると、Windows の [スタート] メニューの [MATLAB] にソフトウェアのアクティベーションを行うためのショートカットは追加されません。既定では、このショートカットが [MATLAB] メニューに追加されます。
- createDeactivateShortcut= – このプロパティを false に設定すると、Windows の [スタート] メニューの [MATLAB] にソフトウェアのアクティベーションを停止するためのショートカットは追加されません。既定では、このショートカットが [MATLAB] メニューに追加されます。

3 ファイルへの変更を保存します。

4 コマンド ラインの引数として初期化ファイルを指定する -if フラグを使用して、インストーラー (setup.exe) を実行します。初期化ファイルの完全なパスを指定しなければなりません。たとえば、[スタート] メニューをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスに次のように入力します。

```
setup.exe -if C:\temp\my_install.ini
```

# トラブルシューティング

---

このトピックでは、Microsoft Windows オペレーティング システム搭載の PC に MathWorks ソフトウェアをインストールする際に発生する可能性のある、一般的な問題の解決に役立つ情報を提供します。

- ・ “インストール中の問題” (p.3-2)
- ・ “インストール後の問題” (p.3-6)

自分の問題に該当する説明が見つからない場合は、MathWorks 製品に付属の MATLAB の『リリース ノート』を参照してください。このドキュメントには、製品やインストールの手順に関する最新情報が掲載されています。インストールのトラブルシューティングに関する情報は、MathWorks Web サイトのサポート ページ ([www.mathworks.co.jp/support/](http://www.mathworks.co.jp/support/)) でもご利用いただけます。

## インストール中の問題

このセクションの内容…

“インストーラーが自動的に起動しない”(p.3-2)

“アクティベーション オプションへのアクセス”(p.3-2)

“製品の依存関係”(p.3-5)

メモ インストーラーが反応しなくなった場合は、システムで実行中のウイルス対策ソフトウェアをオフにして、インストーラーを再起動してください。

### インストーラーが自動的に起動しない

インストーラーは、MathWorks DVD をDVD ドライブに挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックすると自動的に起動します。

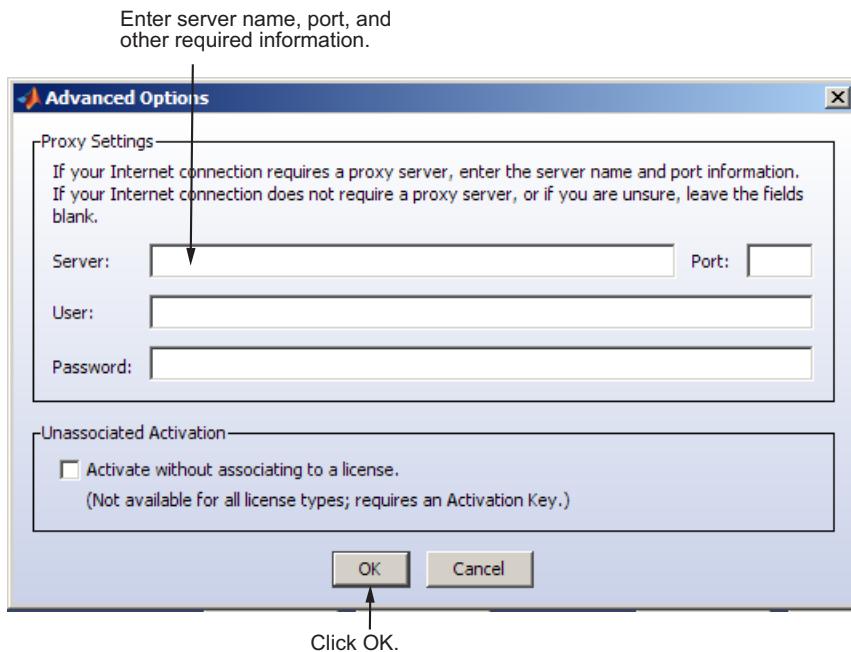
インストーラーが起動しない場合は、Microsoft Windows のエクスプローラー ウィンドウを開き、DVD ドライブを選択して、最上位フォルダーにある setup.exe プログラムをダブルクリックします。

### アクティベーション オプションへのアクセス

#### プロキシ サーバーへの接続設定の指定

インターネット接続にプロキシ サーバーが必要な場合、インストール プロセスの開始時、またはアクティベーション プロセスの開始時に、プロキシ サーバーのサーバー名、ポート、およびパスワードを入力することができます。MathWorks では、基本認証、要約認証、NTLM 認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。

インストール中にプロキシ情報を指定するには、インストーラーで最初に表示されるダイアログ ボックスの [接続設定] ボタンをクリックします。アクティベーション中にプロキシ情報を指定するには、アクティベーション アプリケーションで最初に表示されるダイアログ ボックスの [詳細オプション] ボタンをクリックします(非関連付アクティベーションの詳細は、“MathWorks アカウントがない場合のアクティベーション”(p.3-3)を参照してください。)



### MathWorks アカウントがない場合のアクティベーション

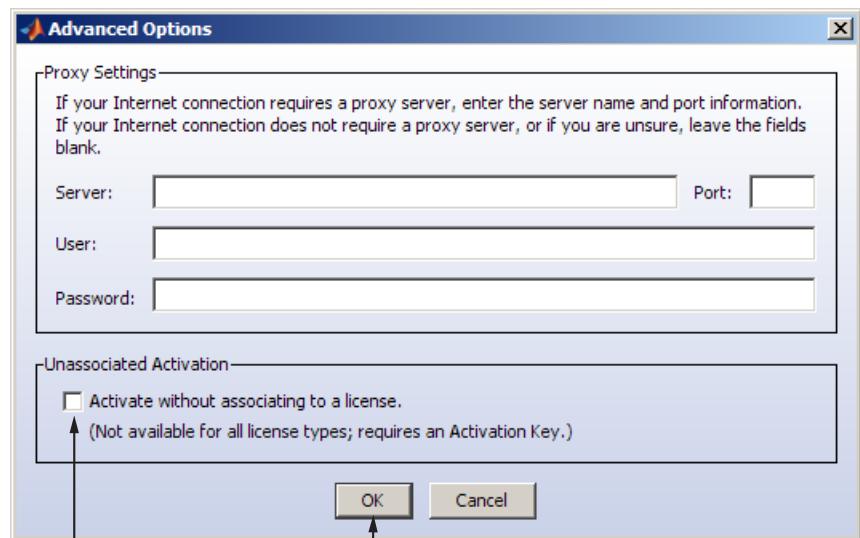
MathWorks アカウントがあると便利ですが、MathWorks アカウントなしでも MathWorks ソフトウェアをインストールして実行できます。たとえば、環境によっては、特定のユーザーがセキュリティ上の理由でアカウントを作成できないことがあります。

MathWorks アカウントの情報を提供せずにアクティベーションを行うには、以下の手順にしたがいます。

- 1 インストールするライセンスのファイル インストール キーを取得します。ライセンス管理者は、このキーを MathWorks ライセンス センターから入手することができます。
- 2 MathWorks インストーラーを起動します。DVD を DVD ドライブに挿入すると、インストーラーは自動的に起動します。
- 3 [インターネットを使ってインストール] オプションか、または[インターネットを使わずにインストール] オプションのいずれかを選択することができます。いずれの場合

合も、ファイル インストール キーを指定できます。詳細は、章 1、"標準インストールとアクティベーションの手順" を参照してください。

- 4 インストールが終了し、インストーラーに [インストールの完了] ダイアログボックスが表示されたら、[MATLAB のアクティベーション] オプションを選択した状態で、[次へ] をクリックします。
- 5 [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスで、以下の操作を行います。
  - ・ [インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う] を選択します。非関連付アクティベーションを行うには、インターネットを使用する必要があります。
  - ・ [詳細オプション] をクリックします。[詳細オプション] ダイアログ ボックスで [ライセンスに関連付けずにアクティベーションを行います] オプションを選択し、[OK] をクリックします。



- ・ [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスに戻ったら、[次へ] をクリックします。

- 6 [アクティベーションキー] ダイアログ ボックスで、アクティベーション キーを入力し、[次へ] をクリックします。アカウントにログインしていないので、アクティベーション キーを入力してライセンスを識別する必要があります。

---

メモ 非関連付アクティベーションで利用可能なアクティベーションの種類は、[コンピュータ指定] のみです。

---

- 7 [アクティベーション] をクリックします。

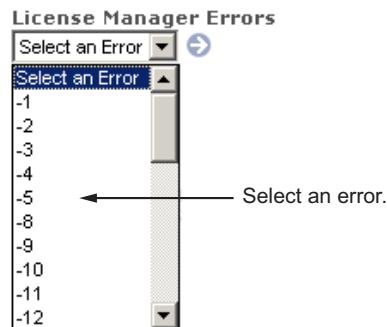
## 製品の依存関係

[製品選択] ダイアログ ボックスで [次へ] をクリックすると、インストールに選択した製品の一部が、選択しなかった他の製品に依存していることを警告するメッセージが表示されることがあります。メッセージを閉じてインストールを続行するには、[OK] をクリックします。カスタム インストールで製品の選択を変更する場合は、[キャンセル] をクリックします。

## インストール後の問題

インストールが正常に完了した後、MATLAB ソフトウェアの起動に問題が生じる場合があります。これらの問題の多くは、MathWorks 製品で使用される FLEXnet ライセンス マネージャーが原因となっています。問題が発生すると、ライセンス マネージャーによって画面のウィンドウにエラー メッセージが表示され、このメッセージが `matlabroot\flexlm` フォルダーの `lmlog.txt` という FLEXnet ログ ファイルに書き込まれます。エラー メッセージを確認します。エラー メッセージでは問題解決の手がかりになる情報が提供されています。ライセンス マネージャーのログ ファイルの表示は、“ライセンス マネージャーの監視と管理”(p.2-40)を参照してください。

エラー メッセージに関する詳細な診断情報は、MathWorks Web サイト ([www.mathworks.co.jp](http://www.mathworks.co.jp)) で [Support] をクリックしてください。「Support」ページには検索機能があり、エラー メッセージのエラー番号でサポート データベースを検索できます。また、[ライセンス マネージャーのエラー] メニューからエラー番号を選択することもできます。



ライセンス マネージャーのエラー メッセージの詳細は、  
`matlabroot\flexlm\LicenseAdministration.pdf` にある PDF 形式の  
『FLEXnet ライセンス エンド ユーザー マニュアル』も参照してください。

## ライセンス ファイルについて

ライセンス ファイルとは特殊な形式の ASCII テキストファイルで、実行するライセンスのある各製品の暗号化されたパスコードが記載されています。各製品のパスコードは、該当する製品で使用可能なライセンス キーの数を指定します。ライセンス マネージャーによって、各製品に関連付けられているライセンス キーの使用状況に応じて、その製品へのアクセスを許可するか拒否するかが決定されます。

次の図は、ライセンス ファイルのサンプルを示しています。各 INCREMENT 行では、製品、製品に対して使用可能なキーの数、およびその他の情報が指定されます(ライセンス ファイル内の INCREMENT 行には、この例に示されているすべての要素が含まれるとは限りません)。バックスラッシュまたは円記号(¥)は、その行が次の行に続くことを示します。

シャープ記号 (#) で始まる行はコメント行です。MathWorks インストーラーでは、インストール中にライセンス ファイルを処理する際に、これらのコメント行の情報(ライセンス サーバーのホストID またはインターネット アドレス)が使用されます。

```
# BEGIN-----cut here-----CUT HERE-----BEGIN
# MATLAB license passcode file.
# LicenseNo: 12345           HostID: INTERNET=144.212.101.43
INCREMENT TMW_Archive MLM 18 01-sep-2010 0 ¥
BC9DE773A77D15AF8 VENDOR_STRING=83 HOSTID=DEMO SN=12345
INCREMENT MATLAB MLM 18 01-sep-2010 1 ¥
4C9D3348561BE9E3B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT SIMULINK MLM 18 01-sep-2010 1 ¥
1CD148466EF58DF8B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT Signal_Toolbox MLM 18 01-sep-2010 1 ¥
6CF74B458BA143DC3 USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
# END-----cut here-----CUT HERE-----END
```

## ライセンス ファイルの検索パス

MATLAB を起動するとライセンス ファイルが読み込まれ、製品のライセンス情報が確認されます。MATLAB では、次にあげる場所で特定の順番にライセンス ファイルが検索されます。ライセンス ファイルが見つかると、検索は停止します。

- 1 MATLAB のスタートアップ コマンド行で、-c 引数を使用して指定されたライセンス ファイル。検索を行うパスの一覧を指定できます。-c オプションを使用すると、環境変数の検索を明示的に禁止することになります。-c オプションを使用する場合は、次のことに注意してください。
  - ・ ライセンス ファイルへのパスがスペースを含む場合は、パス名を引用符で囲みます。
  - ・ 複数のライセンス ファイルを指定する場合は、ライセンス ファイルの一覧全体を引用符で囲みます。

- 2 MATLAB コマンドでライセンス ファイルが指定されていない場合、MATLAB では次の表に示す 2 つの環境変数が検索されます。まず、ベンダーに特定の環境変数である MLM\_LICENSE\_FILE が検索されます。

環境変数	目的
MLM_LICENSE_FILE	ライセンス ファイルの場所を指定しますが、MathWorks の製品のみを対象とします (MathWorks 製品のみを対象とするので推奨)。
LM_LICENSE_FILE	このサーバーで FLEXnet ライセンスを使用するすべてのアプリケーションのライセンス ファイルの場所を指定します。

- 3 環境変数を使用して指定されたライセンス ファイルが見つからない場合は、プログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダーが検索されます。ライセンスが個々のユーザーにロックされている場合は、アクティベーション アプリケーションによってライセンス ファイルがユーザー プロファイルのフォルダーに配置されます。
- 4 ライセンス ファイルが環境変数で指定されておらず、ユーザー プロファイルでも見つからない場合、MATLAB インストールの ¥licenses フォルダーで license.dat という名前のファイルや、拡張子 .lic を持つすべてのファイルが検索されます。